

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
1	地元産にこだわった野菜・茶とその乾燥微粉末加工品の生産・販売事業	現在の取引先である高齢者介護施設の食へのニーズや天候不順等による収穫量の不安定さを解消する為には、食材の乾燥微粉末の商品化がもっとも適しており、これにより地元野菜にこだわった「安全・安心・安定」生産体制の構築を推進する。 野菜を乾燥微粉末加工して、付加価値を付けて販売するとともに、この新たな供給体系により青果を含めた新たな販売ルートを開拓することで、所得の向上と農業経営の安定化を図る。	株式会社秋の月	—	—	福岡県	朝倉市	平成23年5月31日
2	地域特産の柿等の果実、野菜類を利用したジュース、冷凍、ドライ加工品の開発及び直接販売事業	果実と野菜の加工商品（ジュース、冷凍野菜、ドライフルーツ、ジャム）の開発、生産を行うとともに、直売所での販売、インターネットを利用した通信販売など、生果も含めて新たな販売ルートを構築する事によって経営の多角化、農業経営の安定を図る。	株式会社朝倉農園	—	—	福岡県	朝倉市	平成23年5月31日
3	なたね食用油の加工販売及びその副産物等を利用した資源循環型農業	自ら生産するなたねを用いて、なたね油（サラダ油）を開発し、また、ドレッシング・なたね油かすを製造する。なたね油（サラダ油）及びドレッシングは、学校給食、道の駅等へ販売する他、ネット販売を行い販路を拡大する。なたね油かすは、直売を行う。これらの取組により、付加価値を高めることで、所得の向上を図る。	農事組合法人大春の里	—	—	福岡県	うきは市	平成23年5月31日
4	福岡県の特産品であるいちじく及び柿を利用した果実の加工・販売事業	既存の農場内に加工・販売所を新設し、いちじく及び柿の青果販売を行うとともに、自ら生産したいちじく及び柿の果実を使用したジャム、ピューレ、ジュレ、乾燥（粉末）果実の加工・販売を行う。 また、加工したいちじく及び柿を菓子製造小売業者に業務用一次加工品として納入するなど、新たな販路拡大をしていくことにより、経営を多角化し経営の安定改善を図る。	株式会社農業都市デザインシステム研究所	—	—	福岡県	久留米市	平成23年5月31日
5	自社生産青葱を利用した新商品の開発及び販路開拓事業	市場のニーズは手間のかからないカット野菜が大きな割合を占めるようになってきている。そこで、自社でカットを行い販売すれば収益性の高い作物となる。また、収穫したネギの廃棄量をゼロに近づける事も出来る。 カットネギの商品開発を行うとともに、新たな販売ルートを開拓することにより、付加価値を取り込み経営の多角化・高度化を図ることを目標とする。	株式会社春口農園	—	—	福岡県	八女市	平成23年5月31日
6	いちじく（とよみつひめ等）を活用し、原料そのものを発酵させる飲用酢の開発と販路開拓	いちじくを原料とした飲用酢については、果実を米酢等に漬け込んで作る商品が既に発売されているが、管内で生産するいちじくを原料として、静置発酵法にこだわって「飲むいちじく酢」の開発・商品化を進める。 そして、消費者の新たな需要を開拓し、販売ルートを構築することによって、いちじく栽培の振興を図り、農業経営に付加価値を取り組むことで農業経営の改善並びに安定化を図る。	福岡大城農業協同組合	—	株式会社庄分酢	福岡県	三潁郡大木町	平成23年5月31日
7	自ら生産した焼きのりと米を利用した「のり巻きおにぎり」の加工・販売事業	自分で生産した海苔と米を原料に使用した「のり巻きおにぎり」を生産・販売するとともに有明海の珍味を使用したおにぎり具材の開発と新たな販路を開拓することによって地産地消と所得の安定を目指す。なお、水稻の作付け面積についても、増やしていく。	山口 豊彦	—	—	福岡県	大川市	平成23年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
8	自社のオリジナルブランド「金星佐賀豚」を利用した加工品と精肉の直接販売事業	養豚の規模拡大と豚肉の加工、商品開発、製造と共にその新たな販売ルートを構築することによって経営の多角化、高度化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで農業経営の改善を図り雇用の創出と地域の活性化に取り組む。	有限会社永渕ファームリンク	—	—	佐賀県	藤津郡太良町	平成23年5月31日
9	地域の特産品である「煮干しいりこ」を利用した商品の加工・消費拡大・販売事業	生産量日本で品質の高い煮干しいりこをパウダー等に加工し、JAと提携し無洗米にコーティングした「いりこ米」及びいりこダシ、いりこドレッシング等の商品を製造して、煮干し全体の付加価値を上げ、さらに加工用機械等の稼働率を向上させることにより、経営の安定化と漁業者の所得向上を目指していく。	九十九島漁業協同組合	—	—	長崎県	佐世保市	平成23年5月31日
10	ネギ類のカット加工による販売事業	中食・外食等への販売ルートを新たに構築し、ネギ類の付加価値を高めた安定した販売を実現する。そのため、生産規模を拡大し5年後に8ha、年400トン以上のネギの生産を行う。生産地には、西海市内の遊休農地を活用する。また、栽培において使用する肥料や堆肥には、地域で排出される食品残渣や畜産排泄物などを自社で発酵し、堆肥・肥料化して使用する。ネギの栽培担当者として、新たに6～8名程度の雇用を行う。	株式会社大地のいのち	—	—	長崎県	西海市	平成23年5月31日
11	オリジナルブランド「ASO MILK」と地域農産物を利用した商品開発及び販売事業	自社生産の生乳の加工分野、並びに商品力の充実を図った上で、阿蘇地域の農産物を利用したジェラートや乳製品及び菓子など新たな商品開発や直接販売（販路拡大）を行う。さらに、新たに直売所の整備構想があり、現在の卸主体の販売方法から直売主体の販売方法へシフトする。その際にはインターネットを活用して、阿蘇地域の農産物や農産加工品のネット販売を行う。	有限会社阿部牧場	—	—	熊本県	阿蘇市	平成23年5月31日
12	牛乳を利用した乳製品（ヨーグルト、フレッシュチーズ、アイスクリーム）の加工販売事業	加工施設を新設することにより、乳製品に地域の農産物を混合し付加価値を高めて販売することにより、経営の多角化、高度化を図り酪農経営の改善を図る。	大藪 正勝	—	—	熊本県	合志市	平成23年5月31日
13	農水産物「南園の匠」を活用した新商品の開発と新たな販売事業	組合員が生産した農水産物の直販（カタログ販売）を通じて、地域ブランド「南園の匠」を構築することにより消費者への「食」の信頼と農業への理解の促進を行ってきた。農水産物の素材の組み合わせやシリーズ化などによる特徴ある商品開発を行い、その新たな商品（加工品）等の認知度を高め、新たな販路を開拓するためインターネット販売を活用し、組合員の経営改善を図る。	くまもと南園の匠協同組合	—	—	熊本県	熊本市	平成23年5月31日
14	さつまいも（紅はるか）の品種特性を活かした商品の加工・販売事業	さつまいも（紅はるか）の品種特性を活かして焼き芋ペーストや芋パイまんじゅうなどの商品開発・生産するとともに、その新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化・高度化をはかり、農業経営にさらなる付加価値を取り組むことで農業経営の改善を図る。	農業生産法人有限会社コウヤマ	—	—	熊本県	上益城郡益城町	平成23年5月31日
15	地域の特産品である自家製のたまご熊本県産小麦粉を利用した商品の加工・販売事業	こだわり自家製の卵と熊本県産の小麦粉を使った新商品の開発・生産をするとともに、お土産として喜ばれるお菓子を製造することにより、経営の多角化・高度化・安定化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の安定化を図る。	株式会社サン・ファーム	—	—	熊本県	熊本市	平成23年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
16	タイ、ヒラメの真空パック冷凍製品及び新しい冷凍技術を取り入れた都市部の消費者への直接販売	天然のタイ、ヒラメだけに頼るのではなく、アワビの養殖やタイ、ヒラメの3枚おろしの加工冷凍製品やユニの加工製品の開発に取り組み、独自の販路を拡大して収入の安定と増収を図る。	合同会社成光丸水産	—	—	熊本県	天草市	平成23年5月31日
17	シンデレラ太秋柿を使った商品の加工と販売事業	太秋柿を原料としたパウンドケーキなどの製造販売。 青果として富裕層をターゲットにした進物用シンデレラ太秋から、新規に会員販売に取り組み一般家庭向けの商品など品揃えに努め、その販売力を高めることによって農業経営の改善を図る。	(有)福馬果樹園	—	—	熊本県	上益城郡 益城町	平成23年5月31日
18	熊本県の品種ひのしずくを利用した商品開発・一次加工及びミニトマトの出荷体制の強化事業	現在、栽培を行っている熊本県のイチゴの品種「ひのしずく」とトマトを用いて、商品開発・一次加工を行い、トマトと「ひのしずく」の付加価値向上と認知度を高め顧客の確保を図る。 また、出荷場の拡大と冷蔵庫の導入により、品質の向上と安定した出荷が可能となることで農業経営の改善を図る。	農業生産法人 株式会社みなみ阿蘇	—	—	熊本県	阿蘇郡 南阿蘇村	平成23年5月31日
19	桑と繭を利用し日本古来からの伝統産業技術を活用した健康と環境に根ざした自然循環型食品加工品生産事業	これまでの桑の葉や実の食品加工品からさらに付加価値を付けるため、桑を活用し養蚕を行い、「まゆ」の生産を実施し、まゆの粉末や冬虫夏草(健康食品)を国、県、市と連携し開発・生産する。 併せて、新たな販売ルートの構築をニーズ調査に基づきすすめるとともに、経営の多角化・高度化並びに地域の活性化と課題となっている耕作放棄地解消を図る。	株式会社峯樹木園	—	—	熊本県	合志市	平成23年5月31日
20	地域の特産品であるポンカンなど柑橘を利用した商品の加工・販売事業	農業経営の安定化のため、廃棄又は捨て売りされている柑橘類の加工技術を確立し、生産から加工・流通・販売まで一貫した農業経営を目標とする。 そのため、ポンカン、デコボン等の柑橘類のジュース、ジャム、菓子及び芳香剤を商品開発・生産すると同時に、生果も含めて新たな販売ルート(直売所)を構築することによって新たな事業を創出し、農業に付加価値を付けることで農業経営の改善を図る。	オレンジ・シティ	—	—	大分県	大分市	平成23年5月31日
21	宮崎県産地鶏である「みやざき地頭鶏」を利用した新グルメ商品の製造・販売事業	自社が自ら飼育している鶏、「みやざき地頭鶏」を商品化し売り上げ増大を図る。新商品として「みやざき地頭鶏 炭火焼(常温タイプ)」「みやざき地頭鶏 塩こうじ(麦)炭火焼き」、「みやざき地頭鶏 ステーキ」、「みやざき地頭鶏 からあげ」を開発・商品化する。それら、新しい商品群に最適化した広告・宣伝および販売チャンネルを設計・構築することにより、経営の多角化・安定化を通して会社経営の改善を図る。	合資会社石坂村地鶏牧場	—	—	宮崎県	宮崎市	平成23年5月31日
22	弊社特許卵、炭火焼き鳥を行商リヤカーにより対面販売を行う。	自社製品の特許卵、炭火焼き鳥等を行商営業(行商リヤカー)により直接消費者へ届けることにより、販路の拡大と自社ブランドのPR効果による収益の増加を図る。 人口密集地(東京より)に拠点をつくり、新事業による雇用創出5名を新規採用する計画。	農事組合法人香川ランチ	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町	平成23年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
23	宮崎県の代表的な農業である養豚を肉豚で販売するほか、新たに自社で精肉・加工し、移動販売車により精肉・ハンバーガーを販売する事業	収益向上を図るため、自家精肉を用いたハンバーガーの新商品の開発やその計画、生産に取り組むとともに、新たな移動販売車両による行商(直売)及びインターネット販売による販路の拡大を行う。自家生産、加工、直売による真の地産地消の実現を目指す。	農業生産法人 有限会社協同ファーム	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町	平成23年5月31日
24	地域特産物である野菜類等の高付加価値型加工品の製造及び展示直売所、地域レストラン新設事業	加工施設機能の拡大、展示直売機能及びレストラン機能を新設することで、経営の多角化を図るとともに、雇用創出が実現し被雇用者に多様な就労の場を提供する。 また、自社産青果を活用した新商品を開発し地場産品として積極的に販路拡大に努めることで、宮崎の農業を全国に広く周知できるほか、施設の一部を福祉作業所等に提供し障害者就労の機会を増やすことに貢献できるなど、農業法人としてCSR(社会的責任)を果たすことができる。 さらに、上述した目標を実現することで、これまで農作業及び青果出荷面で実現してきたアンボンタン構想(IT等を活用し、消費者には安全で本物を提供しつつ、農作業現場では、GAP等の品質を保持しつつ、農作業労働の軽減(簡単単純化する)を図る)を、二次加工及び地域レストランにまで拡大することを目指す。	農業生産法人 有限会社新福青果	—	—	宮崎県	都城市	平成23年5月31日
25	バナナ生産と販売事業および新たな家庭菜園用苗販売	新たな生産品目として、平成23年からバナナを生産を行うとともに、平成23年には販売(直売も含む)を開始する。 また、家庭菜園向け野菜等苗の市場出荷等の新たな販売ルートを構築するとともに経営安定化を図る。	有限会社ジェイエイ ファームみやざき中央	—	—	宮崎県	宮崎市	平成23年5月31日
26	農作物の付加価値向上のための産直市場の開設と加工品の開発事業	栗、いちじく等70アール果樹作農業を行い、平成26年度から収穫予定であり、それらの青果販売・加工品の商品化を図る。 また、野菜(ニンジン、キャベツ等)栽培も開始したばかりで、6月には収穫予定、その野菜を当社が新設する農家市場にて販売する。 地域の農業者と共に、販売ノウハウの習得と市場調査を行い、それを農畜産物の生産と加工商品の開発に活かすことで付加価値の向上を図る流れをつくりあげる。	農業生産法人 ファーマーズ マンマ 株式会社	—	—	宮崎県	都城市	平成23年5月31日
27	新ショウガの芽と種なし日向夏を利用した商品の加工・販売	新ショウガは100gにバックして調整出荷する際に10g～20gの出荷できない芽の部分が出る。そのまま販売しても安値しかつかないうえ、日持ちしない問題がある。その芽を甘酢漬けに加工することにより問題の解消につなげ、付加価値を付けて販売できる。農業経営の多角化と安定化を図る。	福田 安剛	—	—	宮崎県	宮崎市	平成23年5月31日
28	生姜新商品開発及び販売事業	自社が栽培しているショウガを原料に、ショウガ調味液等の商品開発及び新たな販売先やルートを構築して、経営の多角化・高度化を図り農業経営の安定化と産地作りに貢献する。	アネット有限会社	—	—	鹿児島県	鹿屋市	平成23年5月31日
29	清流で育ったニジマスの加工・販売事業	清流で育ったニジマスのふりかけ、お茶漬、燻製などを商品開発・生産するとともに、ニジマス君(仮称)のキャラクターを開発し、自家保有林の木などを利用してキーホルダ等を製造する。 また、インターネット等を活用してその新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、淡水魚養殖業経営に付加価値をとりこむことで、経営の改善を図る。	清流ニジマスの里 奥花 瀬 代表 福山 敏史	—	—	鹿児島県	肝属郡 錦江町	平成23年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
30	地域の特産品である安納いもを利用した商品の加工・販売事業	種子島の特産物である安納芋の一次加工による商品化と、それをベースに2次加工による観光土産品や贈答用の商品化を目指し、さらには流通・販売までを担うことで、地域に存在する多様な諸産業間の連関効果を高めていく取り組みを進めていく。また、地域の自然豊かな農産物の特性を活かした第一次産業、一次産品の付加価値を高める第二次産業、都市や市場とのネットワークを提供する第三次産業が有機的に結合しながら多角的に発展していくという「農業の第六次産業化」を目指していく。	種子島共同ファーム株式会社	—	—	鹿児島県	西之表市	平成23年5月31日
31	霧島産にんにく栽培による遊休農地の有効活用と霧島黒にんにくの製造販売及び黒にんにくを原料とした新たな加工食品、健康食品の開発製造販売	自ら生産したにんにくを活用して、黒にんにくのサプリメント、皮茶、マヨネーズを開発する。また、にんにくの芽のドライフーズ、にんにくペーストを製造する。新商品の販売については、代理店を通じた小売や自社のインターネット販売により行う。これらの取り組みにより地域活性化の貢献と農業経営の改善を図る。	株式会社ナガミネ	—	—	鹿児島県	霧島市	平成23年5月31日
32	南大隅の温暖な気候を生かすマンゴーとブドウ等を利用した加工事業とインターネット販売事業	農業(ブドウ+マンゴー+ブルーベリー観光農園と秋カボチャ)と三次産業(飲食店)合わせ経営を行っているが、加工業を加えることで経営の幅ができて、更なる集客が見込める。販売については、観光農園、直売所・スーパー出荷及び農協出荷しているが、総合的に単価を上げて行くにはブランドの確立が必要である。そこで、広報活動も加えリピーターの取り囲みもできるインターネット販売にも取り組んでいき、更なる所得の向上、経営の安定を図っていく。	濱田 隆介	—	—	鹿児島県	肝属郡錦江町	平成23年5月31日
33	ミニトマトの新たな栽培技術の導入と新規需要に向けた新商品開発・販売の取組	ミニトマトの新たな栽培システムを導入し、高品質なミニトマトを効率的に生産することで、従来の栽培方法によるミニトマトとの差別化を図り、高付加価値化と新規需要の拡大を目指す。 また、この新たな栽培方法による増産を機に、健康志向の高まりから消費が伸びている「トマト酢」と「ピーナツもやしのトマト酢マリネ」の新製品の開発を行い、新たな需要の拡大を図る。	出萌株式会社	—	—	福岡県	福岡市	平成23年10月31日
34	栽培方法にこだわった自作農産物を使用した米粉パン等の製造・販売	自作の米・小麦を委託加工により製粉し、米粉パンの製造を本格化する。また、さまざまな用途向けに米粉加工品を生産・販売し、農業経営の改善を図る。	坂田保馬	—	—	福岡県	直方市	平成23年10月31日
35	柳川産の野菜・果物を丸ごと使った惣菜・菓子の開発・販売促進	選果落ち等により資源として活かされていないナス・オクラ・アスパラガス・トマト・博多蕪菜の規格外品を活用し、各品目の色や風味等の特徴を活かした加工品群(漬物、惣菜、ジャム・フルーツソース、菓子等)を開発し、市場評価と販路開拓を行う。	柳川農業協同組合	—	—	福岡県	柳川市	平成23年10月31日
36	食用花を利用したドライエディブルフラワーの商品加工・販売促進事業	ポットフラワーで「エディブルフラワー(食用花)」を栽培し、食用花としての出荷を目指す一方で、これをさらに乾燥させて色と香りを日持ちさせる「ドライエディブルフラワー」の商品開発を推進し、新たな販売ルートの構築を行い、経営の多角化・高度化を図り農業経営の改善を図る。	有限会社 オニヅカバイオシステム	—	—	福岡県	朝倉市	平成23年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
37	アルギットニラを活用した用途別加工品の開発・販売促進事業	アルギットニラの加工機械設備を導入して調理用途別の一次加工品の製造を行い、冷凍保存設備を導入することで夏季と冬季における需要と供給のアンマッチを解消する。 さらに、ニラを使用した新商品(ニラ入りラー油)を開発することで新たな需要を掘り起こし、売上の増加や収益性の改善を図る。	農業生産法人 株式会社筑前もろおか	—	—	福岡県	朝倉郡 筑前町	平成23年10月31日
38	キノコを贅沢に使った惣菜商品の加工・販売活動	販売用包材に納めるためにカット整形する過程で発生する未利用資源のキノコをふんだんに取り入れた加工商品の企画・開発、販売を推進することにより、消費者が手に取りやすく、そのまま食べて美味しい商材を提供していく。 そして、新たな販売活動により、加工品の一般消費者向けの販売を拡大する一方で業務用商品の販売ルートの開拓を図る。また、加工品販売とあわせて青果での未利用資源の業務用販売の拡大を図る。	農事組合法人 モア・ハウス	—	—	福岡県	三潁郡 大木町	平成23年10月31日
39	「飼料米育ちの鶏」の鮮度と旨味を生かす加工商品の開発と販売	飼料米育ちの鶏の旨味を生かす肉、骨、卵、臓物を中心に保存性のある加工品の開発を行う。 特に骨のスープ・出汁を生かす保存性のある汁物商品、新鮮な臓物や卵を生かす惣菜製品など、これまで県内では商品化があまり進んでいない加工品ラインナップの実現を図り、消費者向けの販売促進により事業経営の安定化を図る。	城井ふる里村有限会社	—	—	福岡県	築上郡 築上町	平成23年10月31日
40	県認証の特別栽培による玉葱を使った加工品の開発・販売	玉葱の作付け拡大に取り組み、一次加工としてのカット野菜や外皮の粉末加工の開発・販売を行う。また、県認証の特別栽培や海水玉葱など新たな付加価値を付けた生産にも取り組み、新規の市場を開拓し、農業経営の改善を図る。	株式会社あぐり有明	—	—	佐賀県	杵島郡 白石町	平成23年10月31日
41	有機栽培による柑橘類を利用した加工品の開発・販売事業	自社及び近隣の農家が生産する柑橘類を冷凍加工(洗浄・乾燥・急速冷凍・氷膜処理・通常冷凍)し、付加価値を付けた商品を開発・生産する。 具体的には、柑橘類を冷凍加工処理し一定期間保管したうえで、夏場(6月～9月)の需要に対応した販売を展開し、地域の直売所や販売店、地元の学校給食や生協等とタイアップした販売を行い、地域全体の所得向上と活性化を目指す。	佐藤農場株式会社	—	—	佐賀県	鹿島市	平成23年10月31日
42	雲仙こぶ高菜を利用した商品の加工・販売事業	長崎県雲仙市の特産物である「雲仙こぶ高菜」を加工した新商品「雲仙こぶ高菜入りヘルシーからあげ」の生産及び既存の加工品を増産し、新たに整備する加工工場兼直売施設での販売や百貨店、スーパー等への販路拡大を行ない、雇用の拡大と所得の向上を図る。	農事組合法人 守山女性部加工組合	—	—	長崎県	雲仙市	平成23年10月31日
43	地域の特産品であるトマト(ミニトマト)とハーブを利用した商品の加工・販売事業	ミニトマトをドライトマトに加工し、赤色と黄色の二色を開発したいと考えている。ハーブは自社農場で栽培し、料理に最適なハーブを厳選したオリジナルブレンドのハーブソルトを開発する。 この取り組みによって、百貨店や洋菓子店など今までにない新たな販売ルートを構築し、経営の多角化・高度化を図り、農業経営の改善を図る。	農業生産法人 株式会社 スマイルmama	—	—	熊本県	八代市	平成23年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
44	未利用洋ランを使ったボトルフラワーの開発と販路開拓	洋ラン生産過程において発生する規格外の花を活用して、最新の花の加工技術でもあるボトルフラワーによる商品開発を行う。オリジナル性を高めるためにガラス彫刻機を設置し、ブランド化を図るとともに地域の安定した雇用を創出する。	有限会社宮川洋蘭	—	—	熊本県	宇城市	平成23年10月31日
45	こんにゃくを利用した複合営農経営と、体にやさしい食品の開発・加工および販売事業	大分県日田市で新規に確保する圃場において、イノシシやシカ等の忌避作物であるこんにゃく等を作付け、それを原料とした加工品や調理品の製造を新たに開始し、契約レストラン等へ販売する。こんにゃくの持つ健康と美肌への効用を活かして消費量増加を図る。	農業生産法人 株式会社 デリシャスクリエイト	—	—	大分県	日田市	平成23年10月31日
46	野菜定期宅配サービス「宮崎四季便り」	顧客の絞り込みを行い、他社とは一線を画した、自社独自のネット通販サービスを新設することにより、対象顧客との安定した関係作りを目標とした会員制通販サイトを構築する。	株式会社百姓隊	—	—	宮崎県	宮崎市	平成23年10月31日
47	新規作付け及び裏作栽培による新規作物の生産と農産物の直接販売事業	たまねぎ、キャベツ、じゃがいも、にんじん等の14種類の農作物を、同地区の農家の方々とともに新たに生産し、直売所への農産物等の出荷管理、農産物等の全国への発送なども行っていくことにより、当社と農家の方々の所得向上・経営改善につながる。	農業生産法人 株式会社ぼつくる農園	—	—	宮崎県	宮崎市	平成23年10月31日
48	自家生産の新鮮な生乳を使ったチーズ及びヨーグルト商品の加工と販売事業	生乳の風味と食感を持ったチーズとヨーグルトの開発を行い、直売店での販売等に加え、自社のホームページ等のネット・チャネルを開拓する。口コミによる販路開拓を行いながらギフト製品の開発と同時に大手流通業者等へのセールスを行い売上増加と収益向上を図る。 ギフト等の贈答品を希望する顧客が多いものと思われるため、生乳を使った「フレッシュなチーズ」「ヨーグルト」を開発する。	中西廣	—	—	宮崎県	都城市	平成23年10月31日
49	地域の特産物である促成キュウリを利用した商品の加工・販売事業	自社で生産したキュウリとそれを活用し製造した「オイキムチ」を新たに整備する販売所で販売する。 また、韓国に向けて新商品の輸出を行う。 これらの取組により、生産利益率の向上と地域での利用促進を図る。	日本信頼農業株式会社	—	—	宮崎県	都城市	平成23年10月31日
50	都城でこん(大根)のパック保存による通年販売の実現と加工品の開発・販売	収穫が終わる時期の大根をパックし、最大3ヶ月から5ヶ月の長期間貯蔵することにより、青果用大根の通年販売を実現し高い収益性を確保するとともに、青果用大根の副産物である規格外品や大根葉を活かした加工品の開発・商品化を実現することで、農業経営の効率化及び安定化を図る。 また、非収穫期の業務を確保することにより、雇用の創出及び安定化を図る。	農業生産法人 有限会社ファームヤマト	—	—	宮崎県	都城市	平成23年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
51	自社定置網で獲れた鮮魚類を利用した新商品の開発・販売	自社定置網で獲れた地元の鮮魚類を自社加工場にて、新商品(珍味類・煮付け商品・焼き物商品等)の開発を行う。鮮度感にこだわった高次元加工品の開発製造を目指す。 また、既存の加工品に新たな加工品(煮付け商品等)と地元農産物等を利用した郷土駅弁の商品開発を行い、インターネットを含み販路の多角化を展開する。	赤水漁業合資会社	—	—	宮崎県	延岡市	平成23年10月31日
52	自社生産の農産素材を使用した加工食品の開発と、加工、宿泊、交流を目的としたグリーンツーリズム施設の開設	採卵用として飼育している烏骨鶏の鶏肉を使用した「レトルトカレー」と、合鴨米を原料とした朝食向けの「シリアル食品」を開発して、加工、宿泊、交流を目的としたグリーンツーリズム拠点を設営し、新商品販売の拠点として活用すると共に、新商品については、新たな販売ルートを開発して、収益の増加を図る。	富満哲夫	—	—	宮崎県	小林市	平成23年10月31日
53	自社生産した野菜等の素材を活かした加工食品の開発・販売事業	自社で生産した野菜を加工するための施設整備を行い、漬物(高菜、白菜、大根)を柱に、食の安全・安心を意識した製品の開発・製造を行う。 原材料生産から加工・販売まで自社で一貫して行える体制を構築することで、製造する加工品への付加価値の付与、規格外農産物の活用等による効率化と農業経営の安定を図る。	サンアグリフーズ株式会社	—	—	宮崎県	児湯郡都農町	平成23年10月31日
54	食品リサイクルによる環境型自社農場の黒豚を利用した加工・販売事業	自社牧場産の黒豚の挽き肉を使った業務用商品を開発し、飲食店への卸販売の他、催事等での直売をすることによって生産から食卓までの一貫販売を構築し、農業経営の改善を図る。 また、豚の耳や皮・毛など流通量が少ない部位に付加価値をつけて、鹿児島県の新しい特産品として販売展開していくことで、鹿児島県の畜産業と経済活性化に貢献する。	有限会社ノガミ産業	—	—	鹿児島県	鹿児島市	平成23年10月31日
55	福岡県産いちご「あまおう」を使ったコスメティック商品の開発・販売事業	JA福岡市が生産したいちご「あまおう」を使用して、コスメティック商品を開発するとともに、新たな販売ルートを構築し、広く一般消費者を対象に新たな「博多じょうもんさん」ブランドを確立させることにより付加価値を取り込み、農業経営の改善を図る。	福岡市農業協同組合	—	—	福岡県	福岡市	平成23年12月16日
56	地域特産品の柿を利用した加工素材商品の製造・販売	柿の資源を有効に活かして、柿ピューレを製品開発するとともに、焼き菓子、ジャム、ジュースなどに活用していく。また、乾燥施設を利用して、柿の葉を使った商品づくりを清涼飲料水メーカーや石けん加工事業者と進めていく。柿の加工品販売と合わせて、直売所で加工品と青果を組み合わせたギフト商品の店頭販売や通販事業を促進する。	筑前あさくら農業協同組合	—	—	福岡県	朝倉市	平成23年12月16日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
57	久住高原スパークリングワイン開発事業	大分県竹田市久住町の広大な自然環境の中で生まれた高品質な国産ワインをもとに、女性を中心に幅広く人気のあるスパークリングワインを新たに製造し、自社ワイナリー等で販売を行う。新商品は飲みきりサイズのハーフボトル(360ml)とし、新規顧客の獲得を行う。	有限会社 久住ワイナリー	—	—	大分県	竹田市	平成23年12月16日
58	「地産地消」「ココだけ」「街の交流場」をコンセプトにした、地域特産品を主体とするファーマーズマーケット運営事業	奥松農園は自ら生産したミニトマトを使って、ドライトマトを含む地産の食材を使った惣菜などの加工品を開発・生産する。また、自ら直売所を設立し、近くの農家や県内農業生産法人から宮崎県全域の農産特産品も出展し、品揃えをすることにより、消費者に常に新しい商品、新しい発見を提供し、できるだけ多くの観客を動員する。	有限会社奥松農園	—	—	宮崎県	宮崎市	平成24年1月10日
59	新たな凍結手法による高品質な活き〆車えび凍結品の販路開拓	車えびを従来の「活き状態」での特殊で規模の小さいマーケットを対象に販売するのではなく、新たな凍結加工技術を導入して、「活き車えび」と遜色のない「高品質凍結車えび」を生産するとともに、その使い勝手のよさから可能となる流通システムを構築することにより、これまで車えびを利用できなかったホテル、レストラン、料理店などへの販路を拡大することを目標とする。	株式会社 拓水	—	—	福岡県	福岡市	平成24年2月29日
60	自家生産の牛肉を利用した食肉加工品の販売及びレストラン経営事業	既設の精肉等直売所(堀ちゃん牧場)では、多くの固定客を確保することができているが、顧客にとってより利便性の高い場所に直売所兼レストランを新設し、従来の精肉に加えハンバーグ、コロッケ等の食肉加工品を販売するとともに、牛肉料理等を提供するレストランを運営することで更なる経営の改善を目指す。	堀ちゃん牧場 堀田和秀	—	—	福岡県	福岡市	平成24年2月29日
61	農薬不使用の米及び雑穀米を活用した米麺、手作り甘酒セット品の開発・販売	農薬、化学肥料を使用しないで栽培した米を使用して、日本の伝統的調味料であり最近人気が出てきた「塩こうじ」や「手作り味噌」も自宅で簡単に作ることができる米麺を商品化して販売する。 また、米麺に玄米、古代米(赤米、黒米、緑米)、押し麦、もちきび、アマランサスなどを加えた甘酒手作りセットを商品化して販売することで、自家栽培している農産物の付加価値の向上と農業経営の改善を図る。	田中 邦彦	—	—	福岡県	久留米市	平成24年2月29日
62	こだわり農産物(減農薬及び有機肥料栽培)のインターネットによる受注宅配事業及び自家製ジャムの製造・販売	現在、観光農園において減農薬及び有機肥料栽培による野菜・果実を販売して好評を得ているが、顧客の利便性向上のためにインターネットを利用した受注宅配事業を導入して顧客の購入機会を増やす。 また、新たに「いちじく」及び「いちご」を用いたジャムの製造・販売も行うことで、収益の増大と農業経営の改善を図る。	横溝 文男	—	—	福岡県	久留米市	平成24年2月29日
63	「はかた地どり」の新メニューを提供する料理専門店の新店舗展開	地鶏肉特定JASの認定を受けている「はかた地どり」を活用し、顧客中心ターゲットを30代～50代の女性に設定した新料理メニューの開発と高品質な接客サービスを提供することで、「はかた地どり」の知名度・ブランド力の向上を図るとともに売上の拡大と収益性の改善を目指す。	農事組合法人 福栄組合	—	—	福岡県	久留米市	平成24年2月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
64	自社で生産した農産物・麴を利用したみその製造・販売事業	自社生産の農作物(米・麦・大豆)と麴を利用して、「手作りみそ」の製造・販売を行うとともに、「手作りみそセット」(材料素材とレシピ)の販売を行う。 みそは、製造に一定の熟成期間が必要になるが、商品のバリエーションを多彩にできるメリットがある。手作りにこだわった高付加価値みそを製造販売するとともに販路開拓を行うことで所得の底上げを目指す。	有限会社 福岡ファーム	—	—	福岡県	筑紫野市	平成24年2月29日
65	新鮮なトマトの旨味を生かした商品づくりと販売促進	鮮度状態が品質に影響するトマト加工の生産体制を築き、高鮮度の素材を生かした使いやすく保存性のある商品づくりを進め、地域内外の商工事業者と販売店との協力体制のもと、市場ニーズに照らした商品群の開発を行う。 そしてJAにじ本体のトマト加工の生産体制の整備とJAにじ直営の農産物直売所での対消費者PR等により、産地での農産加工商品の流通促進を推進する。	にじ農業協同組合	—	—	福岡県	うきは市	平成24年2月29日
66	高倉びわの「種」を活用した「高倉びわ種の焙煎茶」の製造と販売	「高倉びわ」のブランド化としての取り組みの一つとして「高倉びわの葉茶」は定着化してきているが、規格外品で、廃棄しているびわの種を原料とした「高倉びわ種の焙煎茶」として商品化をする。これを機会に、自ら経営する「やっぱあ〜岡垣」のホームページでの商品を充実させ、販売量を拡大し地域農業の活性化を目標とする。	早苗 泰博	—	—	福岡県	遠賀郡 岡垣町	平成24年2月29日
67	鶏卵・野菜の直売と鶏肉・鶏卵を使用した加工品の製造・販売及び飲食店事業	新たに設置する直売所において自社生産の鶏卵と野菜を販売するとともに、直売所と併設したレストランも設置し、鶏卵・鶏肉を使用したメニューを開発・提供する。さらに、出し巻き卵をメインとした弁当類も併せて開発・生産・販売する。 また、加工設備も整備し、真空パックの煮卵や鶏肉ハンバーグといった日持ちのする加工食品を開発・生産し直売所内にて販売する。	有限会社 みのり農場	—	—	佐賀県	唐津市	平成24年2月29日
68	壱岐産養殖アワビを利用した煮貝など高付加価値化商品の加工・販売事業	アワビの自家養殖を拡大して、新たなアワビ加工品を開発し、販売ルートの拡充及び販売拠点の構築を行い、経営の付加価値を高め、経営改善を図る。 また、アワビの輸出向け商品を開発し、需要が見込める中国を中心に輸出にも取り組んでいく。	株式会社 若宮水産	—	—	長崎県	壱岐市	平成24年2月29日
69	椎茸の風味・食感を活かしたスープ及びお菓子などの加工・販売事業	椎茸を増産し、椎茸を加工した新商品開発を進める。また、現在、未利用となっている椎茸茎部と規格外等のため廃棄となる地元野菜を有効に活用してスープを開発し、新たな販売拠点、販売ルートを構築して、農業経営に付加価値を取り込み、農業経営の改善を図る。	農事組合法人 サンエスファーム	—	—	長崎県	南島原市	平成24年2月29日
70	カンバリ種トマト(塩トマト)を原料とするドライトマトの製造・販売事業	自ら生産しているトマトを、加工施設を備えし野菜乾燥機を使用したドライトマトを開発・生産することによって、付加価値を取り込み農業経営の改善を図る。ドライトマトは、ひび割れトマトも原料として使用できるので廃棄が回避でき、収益の向上を図ることができる。	井手 謙一	—	—	熊本県	熊本市	平成24年2月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
71	鶏卵と鶏肉(親鶏)を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産する鶏卵と親鳥鶏肉を使用した炭火焼、マコネーズを開発・生産する。関東のマーケットを産地直送として卵及び加工品の販売を強化する。また、熊本県の輸出促進に呼応して、香港の高級スーパーへ生食用卵の輸出に取り組む。さらに自社ホームページの改善を図りインターネット販売を強化する。	有限会社 那須ファーム	—	—	熊本県	宇城市	平成24年2月29日
72	農園の特色である、ぶどう・桃・梨等を活かしたフルーツパイ等の加工・販売事業	生産の主要品目である、桃・梨・ブドウ及び小麦を使ったフルーツパイ等を新商品として開発・生産するとともに、新たな販売ルート構築することによって、経営の多角化や高度化を一層高め農業経営の改善を図る。	有限会社 高司農園	—	—	熊本県	合志市	平成24年2月29日
73	環境保全型農法によるハーブ・ブルーベリーの新たな乾燥による品質向上と新商品の開発・販売	ハーブ・ブルーベリーの多品目化と増産に取り組み、遠赤外線乾燥機の導入により高品質の乾燥物を生産する。それにより、新しいドライハーブティーの開発や国内でも珍しい自園型ドライブルーベリーの新たな商品開発・生産を可能にする。 また、ネット販売(会員通信販売)構築を行うことで、農業経営の安定改善を図る。	あつぶるみんとハーブ農園 代表 梅木正一	—	—	熊本県	阿蘇郡 南小国町	平成24年2月29日
74	自社牧場生産のジャージー牛乳を利用した乳製品(バター、生クリーム、クロテッドクリーム、スキムミルク、アイスクリーム)の加工、販売事業	ジャージー牛乳のクリーム搾取事業に取り組み、クリーム製品(バター、クロテッド、生クリーム、副産物のスキムミルク)の商品開発、生産を行う。また、それらを活用した、アイスクリームの製造を行い、新たな販路開拓を行う事により、農業経営の安定化を図る。	有限会社山のいぶき	—	—	熊本県	阿蘇郡 南小国町	平成24年2月29日
75	トマトを利用した加工品と野菜スイーツの開発・販売事業	トマトを利用した加工品の製造・販売を行うとともに、促進事業者である洋菓子店と共同で野菜スイーツの開発・製造販売を行う。具体的には「トマト入りシュークリーム」とし、双方の直販店で販売する。その効果として2名の新規雇用創出と売上の向上を図る。	有限会社 マルカ農園	—	YASAI DU M ONDE (渡辺庸介)	大分県	日田市	平成24年2月29日
76	地元産根菜類を使用した味付け惣菜加工・販売事業	大分県産の竹の子や里芋等の根菜類を原材料とした味付け惣菜加工を新たに行い、小売店へ直接販売を行う。具体的な味付け惣菜加工は、根菜類のレトルトシュリンクパウチとし、原材料の生産及び製造過程から製品までのトレーサビリティ(生産履歴)の確認ができる安心が確保された商品として売上増を図る。	農事組合法人 JAPANクローバー	—	—	大分県	豊後高田市	平成24年2月29日
77	地域特産品であるカボスの加工・直接販売事業	完熟カボス果汁を使った調味酢を商品開発・製造するとともに、完熟カボスを含めた青果の新たな販売ルートの構築を図り、経営の安定化を図る。	あねさん工房 株式会社	—	—	大分県	豊後大野市	平成24年2月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
78	栽培期間中農薬不使用の自家生産小麦と天然由来の素材を使用した「せんべい」の開発・販売	栽培期間中に農薬を使用しないで栽培した安心・安全な小麦粉と、その他調味料もすべて天然由来の素材を使用した新商品（せんべい）の製造をする取り組み。ギフト商品としての開発を目指し、高付加価値のギフト専用の販路開拓を行う。	井野 義啓	—	—	宮崎県	宮崎市	平成24年2月29日
79	米粉を利用した「米粉うどん」「米粉ラーメン」「米粉パスタ」の開発、販売	加工施設を整備し、自ら生産する米を粉末化して「米粉うどん」「米粉ラーメン」「米粉パスタ」を製造販売する。これにより新たな事業を創出し、経営に新たな付加価値を取り込むことで、経営の改善を図る。	松田 宗史	—	—	宮崎県	延岡市	平成24年2月29日
80	新しいタイプのゆず果汁の開発と、ゆずを素材とした新商品開発	新設備「ゆず搾汁ライン」と「急速凍結冷凍設備」を導入し、冷凍庫も整備することで、鮮度の高い果汁を生産する。また、鮮度の高いゆず果汁を素材として「ゆずジュース」「柚子ボン酢ドレッシング」の新商品開発・生産を行う。販路については、現在、ゆずや果のお菓子を中心とした二次加工品を販売しているコンビニや従来の業務用卸チャネルを中心に開拓する。	農業生産法人 有限会社 すき特産	—	—	宮崎県	小林市	平成24年2月29日
81	地域資源イチゴの通年出荷を可能にする冷凍苗の直売およびイチゴペーストの加工・販売	自社が研究したイチゴの特殊培地冷凍苗の技術を利用し、国産のイチゴが品薄となる夏場の出荷に合わせ定植を行うことで、イチゴの通年栽培が可能となることから、この冷凍苗の販路開拓を行う。 また、新設する加工施設はクリーンブースを用いた製造ラインを導入。冷凍苗で生産したイチゴをこの製造ラインで加工することで、より付加価値の高い加工品を製造し、販路の開拓を行う。	株式会社食健農園	—	—	宮崎県	日向市	平成24年2月29日
82	地域の特産品である“へべす”とミニトマトを利用した加工及び農園カフェを活用した直接販売事業	日向市の特産品である「へべす」とミニトマトを利用し、へべすジェラートの委託製造及び、へべすレモネード、へべすジンジャー、へべすジャム、へべすの焼き菓子、ミニトマトのハヤシライス、ミニトマトのピザの製造を行う。 新商品及びへべすとミニトマトの生果を、古民家を改築した農園カフェ、直売所において消費者へ直接販売する。 この事業を行うことで農業経営に付加価値を取り入れ農業経営の改善を図る。	黒木 洋人	—	—	宮崎県	日向市	平成24年2月29日
83	中山間地の集落活性化を目指す「きくらげ」の生産・加工販売事業	自社で生産した「あらげきくらげ」「白きくらげ」の青果出荷と「あらげきくらげ」を活用した加工品（乾燥）を製造しスーパー、ラーメンチェーン店へ卸販売を行う。 これらの取組みにより、地域の特産品づくりと農業経営の改善を図る。	株式会社 百姓真幸屋	—	—	宮崎県	えびの市	平成24年2月29日
84	トロピカルプランツの特化した商品開発、及び、Web販売などの新しい販路開拓	トロピカルプランツの新種導入や接ぎ木の自社栽培技術を活用して品揃えの拡大を行い、インターネットを利用して消費者へ直接販売する取り組み。 HP等で各商品の紹介や栽培方法、また愛好者向けの交流手段の確立など、ビギナーからセミプロまで幅広い顧客層をフォローできるシステムを構築する。	有限会社 東海ナーセリー	—	株式会社 東海	宮崎県	児湯郡 川南町	平成24年2月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
85	かごしま黒豚と米粉を使用した高付加価値の新商品(餃子・肉まん)の開発・販売事業	自社で生産したかごしま黒豚と米粉を使用した高付加価値な商品(餃子・肉まん)の開発を行い、製造と販売を一体的に行うことによって、養豚業の経営の改善を図る。	株式会社 薩摩八重ファーム	—	—	鹿児島県	薩摩川内市	平成24年2月29日
86	構成員(採卵鶏農家)等から出された鶏肉を活用した新商品(焼き鳥他のレトルト商品・缶詰・燻製品・手羽煮・スープ・ハム・ソーセージ)を加工・販売する事業	会社構成員(採卵鶏農家)等から出される鶏肉の特徴(食感・味に優れる)を生かし、今までになかった常温保存できるレトルト食品に加工することで、首都圏他の様々な販売先へアピールでき、新たな販売先の開拓による売上増を目指して構成員の農業経営改善を図る。 また、今回、常温での保存性が高い缶詰・燻製品・手羽煮・スープ・ハム及びソーセージを新商品に加え、顧客の需要に対応できるようにする。 なお、新工場ではイスラム教国向けのハラール食品の製造も新たに開始する。	株式会社 エヌチキン	—	—	鹿児島県	南九州市	平成24年2月29日
87	「最南端育ちの健康豚」の鮮度と旨味を生かした加工商品の開発・販売事業	肥育に適した山間地域にある農場で育った旨味成分が豊富な健康豚を使った調味加工肉や、新鮮な骨・臓物を使った総菜等の加工品の製造、販売に取り組む。	農事組合法人 岬養豚	—	—	鹿児島県	肝属郡 南大隅町	平成24年2月29日
88	業務用「米粉」の新商品開発及び加工施設(米粉工房)を利用した直売所販売事業	組員が生産する米粉用米を委託加工し、委託加工先の片山製粉と用途別業務用「米粉」の開発と直売所やネットでの販売を目的とした多様な「米粉」商品群の開発・生産・販売を行う。	北九州 農業協同組合	—	—	福岡県	北九州市	平成24年5月31日
89	女性による都市農業の6次産業化による地産地消システムの確立 —都市と農村の交流を土台とした生鮮野菜の加工・販売事業—	女性による都市農業の確立を実現するために、新たに野菜の水耕栽培施設を導入し、新鮮で安全・安心な農産物の生産力を強化すると同時に、既設農産物直売所「ぶどう畑」との一体的な販売戦略により、生鮮野菜としてだけでなく、農産物を効果的・効率的に使った加工品を製造・販売することで、経営の拡大と安定を目指し、都市における高いレベルの地産地消を確立する。	合同会社 みな月	—	—	福岡県	福岡市	平成24年5月31日
90	にんにくの機能性を生かした加工食品の新規開発と自社生産・販路拡大事業	「にんにく」の生産規模拡大を図るとともに、「にんにく」を活用した加工品の開発と生産を行うことで、付加価値の創造(利益改善)と販売促進立案(販路開拓)が出来る体制を構築し、農業経営の改善を図る。	株式会社 松尾農園グループ	—	—	福岡県	八女市	平成24年5月31日
91	ブルーベリー観光農園の開設と加工品の開発・販売	鉢植えのブルーベリー栽培ハウスを既存の加工品販売所と隣接する農地に移動させ、青果販売と加工品販売を一体化した観光農園を開設することで集客力を高め直売比率を高めるとともに、加工品の品数を増やすことでブルーベリーの付加価値を高め、更なる収益の向上を目指す。	福田俊雄	—	—	福岡県	小郡市	平成24年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
92	養殖牡蠣の輸出事業及び牡蠣加工品の開発と販売事業	養殖した牡蠣を生食用牡蠣として海外へ輸出する。そのために輸出に対応できる高品質な牡蠣を大量生産できるように養殖技術の高度化を図る。 また、新たに規格外品となった牡蠣を活用した加工品[牡蠣の燻製]の開発と生産・販売も行う。以上の事業を行う事で売上の拡大と経営の安定化を図る。	株式会社 アクアグローバルフーズ	—	—	福岡県	糸島市	平成24年5月31日
93	大豆をまるごと活用した業務用加工食品及び飲料の開発と販売事業	大豆を搾ってできる豆乳を使用した従来大豆飲料ではなく、新しい加工技術を使用して大豆をまるごと活用した大豆加工食品及び飲料を生産することによって、大豆の新たな用途開発による高付加価値化を図り、農業経営の多角化を目指す。	有限会社 花立山農業研究所	—	—	福岡県	朝倉郡筑前町	平成24年5月31日
94	大木町の特産品であるきのこ類を用いた加工食品の開発及び販売事業	夏季の生産量を増加させ、保存性の高いきのこ加工食品に加工する事により新たな事業を創出し、農業経営に付加価値をとりこむことで施設の稼働率を向上させ、コスト競争力の向上と農業経営の拡大を実現する。	農事組合法人 ドリームマッシュ	—	—	福岡県	三潁郡大木町	平成24年5月31日
95	三瀬オリジナル米粉麺製品の商品開発による中山間地米農家の活性化事業	地域で生産される新規需要米を自ら製粉し、米粉及び米粉麺の各種加工品を開発・製造し、近隣の直売所やスーパー・生協等をはじめインターネットを活用した販売を行う。	有限会社 アサヒ・アグリ佐賀	—	—	佐賀県	佐賀市	平成24年5月31日
96	つくね芋を利用した加工品の製造・販売事業	種子用つくね芋生産において発生する規格外品(肥大品)を有効活用した冷凍・パック詰め商品を開発・製造し、新たな販売ルートを構築し農業経営の改善を図る。	松尾 健一	—	—	佐賀県	佐賀市	平成24年5月31日
97	自家生産した米を利用した米粉加工品の製造・販売事業	特別栽培米による米粉を使用したロールケーキ、カステラ、焼き菓子の商品開発・製造を行い、ホテル・ブライダル関連企業を中心とした販促を展開し、経営の多角化・高度化に取り組む。	古賀商店合同会社	—	—	佐賀県	佐賀市	平成24年5月31日
98	地域の農産物を利用した植物性乳酸菌入り漬物の加工販売事業	自社生産及び契約農家が生産したきゅうり・大根を使用し、既存の浅漬けを中心とした商品とは別に、植物性乳酸菌入りのきゅうりビール漬け及び大根漬けの商品開発・製造に取り組み、既存の販売先や新たな販路開拓も行い、農業経営の改善を図る。	有限会社 松浦竹田ファーム	—	—	佐賀県	唐津市	平成24年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
99	『幻の高来そば』復活生産とソバ生麺・玄そばへの付加価値加工及び販売事業	高来町内で細々と栽培されていた『幻の高来そば』を自社において生産拡大を行い、玄そばでの販売やソバ生麺加工により付加価値を高め、消費者への直売、近隣のそば屋へ販売していく。 また、そば打ち体験などの地元住民の体験学習を盛り込み、地域産品として成長発展させ、地域活性化を図る。	有限会社 たかき	—	—	長崎県	諫早市	平成24年5月31日
100	そばに地元の産品を加えた加工品の製造・販売事業	そばに地元の野菜や鮮魚を混ぜた商品を開発・製造し、自店舗販売とインターネット販売により全国に販売していくことで、農業経営に付加価値を取り込み、農業経営の改善を図る。	株式会社 とんとん	—	—	長崎県	東彼杵郡 川棚町	平成24年5月31日
101	うま味と糖度が高いパプリカを利用したパプリカソースの製造・販売事業	パプリカを用いたパプリカソースを商品開発・生産するとともに、生果も含めた新たな販売ルートを構築することによって、新たな事業を創出し、農業経営に付加価値をとりこむことで、農業経営の改善を図る。	株式会社 緒方農園	—	—	熊本県	熊本市	平成24年5月31日
102	うずら卵を活用した食品加工品の製造販売事業	うずら卵の普及、うずら卵の食文化の発展を目指して、自社が生産するうずら卵を利用した付加価値の高い多様な商品を開発する。それに際し、既存の販売経路の活用とそれぞれの商品に適した新たな販売経路を構築する。それにより、売上高、利益率を向上させ農業経営の向上を図る。	有限会社 池端うずら園	—	—	熊本県	玉名市	平成24年5月31日
103	自社生産の豚肉を原料としたハムやソーセージ等の加工・ネット直売事業	希少種の豚にミネラル配合の飼料を与えた自社生産の豚肉を原料としたハム、ソーセージや生ハム及び味付け肉の開発・生産を行う。 また、精肉や加工品のインターネットによる直売も開始する。本計画により農業経営に付加価値を取り込み農業経営の安定化を図る。	株式会社 ベルクミート	—	—	熊本県	菊池市	平成24年5月31日
104	自社生産かぐや姫たまごと平飼いたまごの販売・加工事業	更なるたまごの付加価値向上とそのたまごを使用した加工品の新商品開発・生産するとともに、その新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値をとりこむことで、農業経営の改善を図る。	株式会社 緒方エッグファーム	—	—	熊本県	合志市	平成24年5月31日
105	希少価値がある食用ホオズキを利用した、ジャムとゼリーの加工・直接販売事業	食用ホオズキを原料としたジャムとゼリーの商品開発し生産するとともに生果も含めた新たな販売ルートを構築することによって、新たな事業を創設し農業経営に付加価値をとりこむことで農業経営の改善を図る。	上田岩雄	—	—	熊本県	玉名郡 和水町	平成24年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
106	自社牧場生産であるジャージー牛乳を利用した商品開発加工(ヨーグルト、牛乳、プリン、アイスクリーム)及び、直接販売事業	自家牧場生産のジャージー牛乳を使用した新たな商品開発(自社製造のヨーグルト、牛乳、プリン、アイスクリーム)を行い、付加価値をつけ、新たな販路開拓を行うことにより地域の人材雇用にも取り組み、経営の多角化、高度化を図り酪農経営の改善を図る。	梅田 喜久男	—	—	熊本県	阿蘇郡小国町	平成24年5月31日
107	自社栽培の生バジルを使用したバジル加工品の新商品開発・販売事業	自ら生産したバジルを利用してバジルペーストやバジルドレッシングなどバジル加工品の商品開発・生産するとともに、生葉も含めた新たな販売ルート構築することによって、新たな事業を創出し、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	有限会社 阿蘇健康農園	—	—	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	平成24年5月31日
108	地域の特産物であるイチゴ、ミニトマト、芋、かぼちゃ、米を利用した加工販売事業	地域の農産物をペースト及びピューレ・ジュース、乾燥・粉末するなど一次加工を行う。この一次加工された原料を菓子メーカー等に販売。さらに一次加工された原料を活かしたパン、焼き菓子、餅製品を開発・製造。農産物直売所を整備し自社販売力強化と卸売り販売ルートの強化および新規開拓をする。あわせてインターネットを利用した販路拡大にも取り組み、経営の多角化と高度化を図る。	有限会社 木之内農園	—	—	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	平成24年5月31日
109	新たな特産品である「天草緑竹」(たけのこ)を利用した商品の加工・販売事業	農業や化学肥料を使用せずに生産した緑竹を使い、緑竹の味噌漬けを新たに開発、販売する。 また、野菜鮮度保持袋(Pプラスバック)を利用して生の保存期間を長くすることにより卸販売、委託販売、インターネット販売等販路拡大を行う。	農事組合法人 天草緑竹生産組合	—	—	熊本県	天草市	平成24年5月31日
110	JAあしきた特産物のデコボン・サラダ玉葱を活用した商品開発及び通販オペレーターシステムを使った販売事業	あしきた特産デコボンで多様な商品開発と生産を行うとともに、青果と加工品をセット販売する等、新たな販売ルート構築することによって、新たな事業を創出し、農業経営に付加価値を取り込み、農業経営の改善を図る。 また、事業の効率化の為、加工施設と「通販オペレーターシステム」を有した配送センターを併設する等、新たな農産加工場を建設する。	あしきた 農業協同組合	—	—	熊本県	葦北郡芦北町	平成24年5月31日
111	ドライ加工技術を使った余剰および規格外ぶどうのドライフーズ製造と販売事業	ブドウ栽培事業および出荷量の拡大を行うにあたり、大量に発生する規格外品を使用したドライフーズ(様々な「干しぶどう」)を開発製造し、販売を行うことで利益構造の改革と経営の安定化を図る。	株式会社ドリームファーマーズ	—	—	大分県	宇佐市	平成24年5月31日
112	宮崎県産鶏「とねどり」を利用した加工食品の開発とその販売事業	独自飼育法により品質差別化した宮崎県産鶏「とねどり」を素材にした新商品「レトルトカレー」「ローストチキン」を開発。新商品の県内外スーパー・ホテルなど新たな販路拡大により、飼養規模の増加、農業経営の安定を図る。	刀根 大太郎	—	有限会社 平和食品工業	宮崎県	宮崎市	平成24年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
113	塩麴マヨネーズの開発・生産・販路開拓及び塩麴ドレッシングのPB生産	水耕栽培によるレタス類・水菜・ルッコラの「カット野菜」、醸造技術による塩麴をベースにした新商品「塩麴ルッコラマヨネーズ」・「塩麴ルッコラドレッシング」の加工品開発。既存販売ルートに加え、PBによる販路の拡大を図る。	農業生産法人 株式会社 エムエスバイオ	—	—	宮崎県	都城市	平成24年5月31日
114	菊芋の健康栄養素を活かしたフレーバーティの開発	菊芋の健康栄養成分であるイヌリンを活かして、「日常的に気軽に楽しめる健康的な”第三のお茶”飲料」を目指す。日本茶インストラクター白尾尚美氏と連携・監修により、生産した菊芋をベースにして、宮崎産限定の紅茶や緑茶とブレンドした独自のフレーバーティ(茶)を新商品開発し直接販売を行う。	松川 宗由	—	—	宮崎県	都城市	平成24年5月31日
115	自社の菌床椎茸と飼育鶏を利用した商品の生産・加工・販売事業	自社の菌床椎茸を素材とした「佃煮」、また自社の飼育鶏と椎茸を素材とした「餃子の具」の加工品開発。既存の販路に加え、県内外の大手スーパーや直売所への販路拡大を図る。	株式会社 KDアグリ	—	—	宮崎県	都城市	平成24年5月31日
116	自社生産のニンニクや生姜を利用した加工食品の開発と販売	ニンニク加工品の脱臭新ニンニクペースト・匂いのないまるかじりニンニクと生姜加工品の生姜ペースト特別加工品を開発・生産するとともに、促進事業者と連携して原料と製品輸送の効率化と販路開拓を行う事により経営の改善を図る	有限会社 太陽ファーム	—	株式会社 マキタ運輸	宮崎県	都城市	平成24年5月31日
117	観音池ポークを使ったタレ付きソフトとんバーグの開発と販路拡大	エコフィードを使用して育てた観音池ポークを利用した商品開発と賞味期限の長い商品を開発して販路拡大を図る。	有限会社 観音池ポーク	—	—	宮崎県	都城市	平成24年5月31日
118	「みやざき地頭鶏」を利用した参鶏湯(サムゲタン)、スープ等の加工・販売事業	みやざき地頭鶏を素材にした新加工品を開発販売し、経営の多角化と高度化を実現し、経営の改革を図る。	株式会社 リンクドプロビンス	—	—	宮崎県	えびの市	平成24年5月31日
119	自社ブランド豚「あじ豚」を使用した加工品の開発・販売及びブランド強化事業	当社銘柄「あじ豚」を使用したハンバーグパテや生タイプソーセージ、焼酎もろみ漬けなどの新商品を開発するとともに、促進事業者と連携した消費地での店舗展開や通信販売により新たな販路を開拓する。	有限会社 宮崎第一ファーム	—	株式会社 ミートスタイル	宮崎県	児湯郡 川南町	平成24年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
120	自社で栽培したオリーブを用いた新商品の加工・販売事業	新しい農産品としてオリーブを栽培し高品質なオリーブオイルを製造する。更に地域の特産品であるゆずを使用した新しいゆずオリーブを開発し販売する	合同会社 大隅オリーブ会	—	—	鹿児島県	曾於市	平成24年5月31日
121	ブリザーブドフラワー技術を活用した一般消費者向け商品の企画開発・製造・直販事業	自ら生産した花卉を活用して、ブリザーブド加工した一般消費者向け商品を製造する。新商品の販売については、取引先を通じた小売の他、直売所を設置して直売やインターネット販売を行う。これらの取り組みにより経営の改善を図る。	有限会社 南原農園	—	—	鹿児島県	薩摩郡 さつま町	平成24年5月31日
122	一口サイズ「やわらかい黒糖」の製造及び新規購買層開拓による販売促進事業	従来の黒糖にはない、餅の様な柔らかさを特徴とした「むち黒糖」の表面をドライ加工しソフトタイプのキャラメル形状の黒糖の形成加工を目指す。一口サイズの小パック化することで携帯性、低価格化、ビロー包装することで衛生面の向上を図ることによって、購買層の拡大による販路・売上拡大を目指す。	兼久農産物 加工組合	—	—	鹿児島県	大島郡 天城町	平成24年5月31日
123	古代米を使った濁酒と柚子ペースト及び各種ドレッシングの製造・販売	自ら生産する古代米・柚子・ブルーベリー・バジルを使った、濁酒・ペースト・ドレッシングの商品開発・製造を行い、農家民宿との複合経営の改善を図る。	藤瀬 吉徳	—	—	佐賀県	佐賀市	平成24年6月29日
124	自ら生産したもち米と野菜で作る新たな餅製品・うるち米の無洗米真空包装商品・副産物（米ぬか、粃殻）を使った有機肥料の開発と通年販売事業	餅に季節野菜を混ぜ込んだ「野菜入り餅」を商品開発するとともに、真空パック包装設備を導入し、餅やうるち精米の無洗米真空包装商品の開発及び、副産物（米ぬか、粃殻）を用いた有機肥料の製造を行い、高付加価値化した製品を一年通してコンスタントに生産・販売を行うことで農業経営の改善を図ります。	農事組合法人 e-FARM久留米	—	—	福岡県	久留米市	平成24年10月31日
125	ラディッシュの色と食味を活かした特徴のある漬物の加工販売	自社でラディッシュの漬物を商品開発・生産することで、青果を含めた付加価値の創造と販売促進ができる体制を構築し、農業経営の改善を図ります。	株式会社 カラーリングファーム	—	—	福岡県	久留米市	平成24年10月31日
126	冬採りマンゴーの栽培と加工品の開発・販売	先行の大規模事業者との差別化のため、マンゴーの一部を冬期に収穫できるよう栽培し、希少なマンゴーとして直接販売を行うことで農業経営の改善を図ります。また、加工品としてドレッシングとドライフルーツの商品化を行い、売上の向上を目指します。	株式会社 88ファーム	—	—	福岡県	久留米市	平成24年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
127	こだわりの自社生産柑橘類を利用した加工品の製造・販売事業	冷凍ジュース、飲みきりサイズのスパウトジュースを商品開発・生産するとともに、新たな販売ルートの構築や絞りたてのおいしさを提供する移動販売を取り入れ、農業経営の多角化、高度化を更に進め農業経営の改善を図る。	合同会社 田島柑橘園 & 加工所	—	—	佐賀県	藤津郡 太良町	平成24年10月31日
128	長崎県の特産物であるビワの種を利用した商品の加工・販売事業	自社生産しているビワの種をパウダー加工し、ビワの葉や他の生産物と組み合わせた商品を開発し、販売していく。新たに加工兼直売施設を整備し、簡易な加工体験を組み入れて、観光客等向けに販売を行い、経営改善を図っていく。	社会福祉法人 出島福祉村	—	—	長崎県	長崎市	平成24年10月31日
129	米を飼料として飼育した「米豚」を使用した商品の加工・販売事業	米を飼料として飼育した「米豚(ライス・ミート)」及び自家生産の米により製造した「米粉」を利用した、米粉とんかつ及び「米豚(ライス・ミート)」諫美豚(精肉)、ソーセージ、ハム及びハンバーグの商品開発を進め、新たな加工場、生産施設及び販売拠点を構築することで、農業経営に付加価値を取り込み、農業経営の改善を図る。	株式会社 土井農場	—	—	長崎県	諫早市	平成24年10月31日
130	規格外のレタス、ジャガイモ、カボチャを利用した商品の加工・販売事業	現在、未利用となっている規格外のレタス、ジャガイモ、カボチャを活用し、カット加工や燻製加工等した商品を製造、販売して、生産性と付加価値を高め、農業経営の改善を図る。	株式会社 太陽野菜	—	—	長崎県	雲仙市	平成24年10月31日
131	自社生産養殖魚のハマチ、タイ等を原魚としたフィレ、ロイン加工等開発、販売事業	自社生産養殖魚をドレス、フィレ、ロイン加工し、購買者のニーズにあった高付加価値商品を開発していく。生産から加工、販売までの一貫体制とコールドチェーンを整備することで、高品質・高鮮度の商品提供を可能とし、他社との差別化を行い、経営改善を図っていく。	有馬屋水産 株式会社	—	—	長崎県	南島原市	平成24年10月31日
132	自家生産米の米糲を利用した加工食品の開発・製造・販売	自社で生産した米を用いて「米糲」「食べる生甘酒」を製造し、インターネット販売と販売所での直売を行う。これらの取組により、農業経営に付加価値をつけ、収益性の向上を図る。	株式会社 すぎもと農産	—	—	宮崎県	小林市	平成24年10月31日
133	自家農場で肥育した和牛(赤身牛肉)の販売と、赤身牛肉を素材とした加工食品の開発、販売	新しい肥育方法の導入と独自の配合飼料により高品質の赤身牛肉を生産し、「精肉」の販売及び付加価値を高めた「赤身肉を素材にした加工食品」の開発を行い、新たな販売販路を開拓して経営の改善を図る。	森木清美	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町	平成24年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
134	人参「向陽2号」・さつま芋「黄金千貫」を使用したドレッシングの製造・販売	人参「向陽2号」・さつま芋「黄金千貫」を使用したドレッシングの製造・販売による経営の安定化・地域農業の活性化	株式会社 久木田農園	—	—	鹿児島県	霧島市	平成24年10月31日
135	さつま芋「紅はるか」を活用した回転焼き・たい焼きの製造・販売事業	さつま芋「紅はるか」を活用した回転焼き・たい焼きの製造・販売をすることにより、地域農業の活性化を図る。	有限会社 福山特殊農産	—	—	鹿児島県	霧島市	平成24年10月31日
136	地域資源の「発酵飼料」を活用した自家産卵及び地域特産品を利用した、より付加価値の高いスイーツ類の商品開発及び販売事業	地域資源を利用した「発酵飼料」を活用した自家産卵と奄美の特産品等をコラボさせたより付加価値の高いスイーツ類(カステラ、ブッセ、マンゴーロール、ダブルシュー、チーズケーキ)を開発し、販売を拡大する。また、自社インターネットの開業を行い、ネットによる直販を行うほか、関東中心のデパートにて需要を開拓し、販路拡大を目指す。	株式会社 みなみくんの卵	—	—	鹿児島県	奄美市	平成24年10月31日
137	奄美大島におけるまぐろハンバーグほかまぐろ、かつお加工品の開発と販売	自らが漁獲したまぐろ・かつおの加工品(ハンバーグ、餃子、シュウマイ)を開発、販売する。	株式会社 脇田総合	—	—	鹿児島県	奄美市	平成24年10月31日
138	自社製造した有機肥料で生産している胡麻と菜種を自家焙煎・圧搾・精製・瓶詰し販売する事業	自社で生産している胡麻と菜種を加工精油して胡麻油や菜種油を販売し6次産業化に取り組む。販売についてはネット等による販売も展開する。	クリーンベースちゃん 株式会社	—	—	鹿児島県	南九州市	平成24年10月31日
139	茶葉の萎凋(いちよう)工程と茶葉発酵工程を加えた新たな製法による紅茶を加工販売する事業	自ら生産している茶葉を用いて、新たな風味と味を楽しめる紅茶を製造する。販売については、首都圏の販売先に売り込み、売上増を目指し農業経営の改善と安定化を図る。	株式会社 知覧心茶堂	—	—	鹿児島県	南九州市	平成24年10月31日
140	有機栽培で収穫した「生茶」を使ったフレーバー紅茶の加工製造と直販事業	自ら有機栽培した生茶を使い、紅茶へのフレーバー加工した新商品を製造し、生産品の付加価値を高めるとともに、ウェブを活用した新たな販売方法や百貨店や飲食店等や直接取引するなど販路の多角化を図ることにより経営の改善を図る。	株式会社 屋久島白川茶園	—	—	鹿児島県	熊毛郡 屋久島町	平成24年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
141	沖永良部島の特産品であるキクラゲの加工・販売事業	自ら生産したキクラゲの生キクラゲの加工品および粉末加工した乾燥キクラゲを使ったサプリメントを開発・生産するとともに、それらの新たな販売ルートを開拓することによって、経営の多角化と付加価値向上を実現し、経営の改善と安定化を図ると同時に雇用の拡大を通して地元経済の活性化に貢献する。	沖永良部きのこ株式会社	—	—	鹿児島県	大島郡和泊町	平成24年10月31日
142	大隅半島で生産された野菜を乾燥・粉末にし、それを利用した商品開発と販路拡大	自社及び近隣で生産した野菜を一次加工(カット・乾燥・粉末)し、商品開発(芋麹味噌・ごぼうあられ・健康食品の原料等)を行い、新たな消費市場の構築を図る。	株式会社オキス	—	—	鹿児島県	鹿屋市	平成24年10月31日
143	薩摩鴨の鴨肉及び卵・鴨ガラを活用した商品の開発・加工と販売ルートの構築	特別飼育により付加価値の高い鴨の生産を行い、生産した鴨を原料とした商品開発を行うとともに新たな販売ルートを構築し、経営の多角化・高度化を図る。	日本有機株式会社	—	—	鹿児島県	曾於市	平成24年10月31日
144	自家生産のジュース等を発酵させて作る「フルーツ酢」の開発と販売	自家生産した温州みかん等で製造した無添加のジュース等を発酵させ、「フルーツ酢」を製造し、販売する。在庫の商品を活用することで、収益性を上げ経営改善を図っていく。	近藤重雄	—	—	長崎県	平戸市	平成24年11月30日
145	まき網漁業の主要漁獲物である「あじ」「さば」「ぶり」を美味しく加工し販売する事業	まき網漁業で大量に水揚げされ、主に餌料として低価格で取引されている小型の「あじ」「さば」「ぶり」を主体に、高度な加工技術を用いて、美味しく、食べやすい高付加価値商品を開発し、国民に安定的に供給することを目指すとともに漁業経営の改善を図る。	日本遠洋旋網漁業協同組合	—	—	福岡県	福岡市	平成25年2月28日
146	いちご観光農園の開設といちご加工品の製造販売事業	いちご高設栽培ハウスを増設していちご観光農園を開設することで直売比率を高め、より多くの人に、より新鮮ないちごを、より美味しく賞味いただきたいと思います。 さらに、いちごの加工品を製造・販売することで付加価値を取り込み、青果とあわせて周年での販売を可能とし、売上拡大で農業経営の改善を図ります。	白木 克弥	—	—	福岡県	小郡市	平成25年2月28日
147	イタリア野菜を使ったイタリアレストラン及びイタリア野菜の加工・販売事業	自家栽培したイタリア野菜を材料としたイタリアンレストランの運営とドライフードやトマトソース、ピクルスの加工販売を行うことで、これまで廃棄していた野菜の付加価値向上と利益率の向上を目指し、農業経営の安定を図る。	カラナンテシルビオ	—	—	福岡県	福津市	平成25年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
148	果樹農家の新鮮な果物を生かすジェラート製造・販売事業	既存の青果販売事業に加えて、新たに当園の青果を生かしたジェラートの加工・販売を行う事業の創設を図り、手元にある季節折々の新鮮な青果の有効利用を図るとともに、カフェスペースの開設による対消費者向けの店頭販売と通年での宅配販売を進め、経営の改善を図る。	ファゼンダかじわら合同会社	—	—	福岡県	うきは市	平成25年2月28日
149	観光直売農園でのジャム・アイスクリーム・パンの製造販売と交流スペースを活用した果実販売事業	農園の果実を使用した商品開発として、ジャム及び果実入りソフトクリーム及びジャムパンの開発製造販売を行う。加工品を製造することによって、生果とのセット商品、贈答用商品の展開を推進し、経営の多角化、高度化を図る。また、加工販売施設では体験講座等のイベント等も実施し、ワークスペースとしての有効活用を行い、観光農園としての付加価値を高めて農業経営の改善を図る。	うきは果樹の村やまんだん合同会社	—	—	福岡県	うきは市	平成25年2月28日
150	こだわりの栽培方法で生産したねぎの食味を活かした手作りドレッシングの製造販売事業	ねぎの青果出荷品の価格低下に伴い、加工品の製造販売にさらに注力した経営に取り組む。既存のドレッシングに加え、新商品の開発販売による売上増を図るとともに、需要の安定が見込めるホテル、レストラン、料亭等の業務用としても販路拡大を行い、販売数量を伸ばしていくことで農業経営の改善を図る。	朝倉物産株式会社	—	—	福岡県	朝倉市	平成25年2月28日
151	自家配合飼料で飼育した豚の精肉加工品の製造・販売事業	自家配合飼料の配合比率を変えることで、用途に応じた豚(豚肉)の肥育生産を行い、取引先の要望に対応した新たな販路開拓を目指します。また、豚精肉や惣菜加工品及び精肉加工品の販売推進を一体的に進めることで、飼育豚のブランド構築を図り、養豚経営に付加価値を取り入れて経営の改善と安定化を目指します。	株式会社 雷山イデア牧場	—	—	福岡県	糸島市	平成25年2月28日
152	自家栽培のもち米と地元の農産物を使ったもち加工品の加工・販売事業	自家栽培したもち米と地元の食材を使ったもち加工品の新商品開発及び販路拡大を行い、地元の安全・安心な食を消費者に届けると共に、高付加価値化と売上増加による所得の向上を図る。	西 重俊	—	—	福岡県	糸島市	平成25年2月28日
153	女性グループ(上畑の杜)の構成員が、自ら地元で生産した米・野菜・果物を活かした新商品の開発と加工・販売	構成員が生産する米・野菜・果物・筍を漬物・ジャム・弁当・米粉パンに加工・販売することで農業経営の改善を図る。また、新商品の販売については、上畑の郷かあちゃん会・株式会社グラノ24K・株式会社やっぱあ〜岡垣と連携し販売を強化する。	農事組合法人 上畑の杜	—	—	福岡県	遠賀郡 岡垣町	平成25年2月28日
154	ブルーベリーの加工(ジャム、パン、アイスクリーム)・直接販売事業	ブルーベリーを使った、ブルーベリージャム、ブルーベリージャムパン及びブルーベリーをトッピングしたアイスクリームの商品開発と販売を行なう。また、JAの合併に伴う新たな取引先の増加に対応した加工品目の強化による売上高の増加と、農業経営の付加価値化及び経営効率(配送)を図る。	有限会社 工房よしかわ	—	—	福岡県	築上郡 築上町	平成25年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
155	地域の特産品である柿を利用した一次加工品(ペースト)の製造販売事業	富有柿や干し柿を利用したペーストを商品開発・生産しさらに付加価値を高め、既存の直売所だけでなく新たな販路を開拓することで、組合員の農業経営及び直売所の経営改善と成長を図る。	株式会社 そよかぜ館	—	—	佐賀県	佐賀市	平成25年2月28日
156	完熟トマト、ブルーベリー、ほうれん草を利用した加工品の製造販売事業	自家製竹チップ堆肥で生産しているトマトを利用した加工品(ジュース・ピューレ・ケチャップ・ジャム)、ブルーベリーを利用した加工品(ジャム・ソース)及びほうれん草を利用したスープを商品開発・生産することで新たな事業を創出し、農業経営に付加価値を取りこむことで、農業経営の改善を図る。	合同会社 つよし君のお野菜畑	—	—	佐賀県	佐賀市	平成25年2月28日
157	健康志向の時代にあった昆布を利用した食品の加工・販売事業	自社で養殖した昆布を活用し、健康志向に合う付加価値のある加工食品を開発し、自ら整備する販売・料理提供施設での販売、近隣の直売所・量販店への販売やインターネットによる販売を行い、経営の改善を図る。	有限会社 二協開発	—	—	長崎県	壱岐市	平成25年2月28日
158	地域特産の柑橘類を利用した加工・直接販売事業	地域の特産品である柑橘類のジュースや摘果した青みかんを活用した乾燥粉末やペーストを新たに商品開発・生産するとともに、生果を含めた新たな販売ルートを構築することによって、新たな事業を創出し、農業経営に付加価値を取り組むことで農業経営の改善を図る。	ウシジマ青果 有限会社	—	—	熊本県	熊本市	平成25年2月28日
159	地域の特産品であるトマトとイチゴを利用した加工販売事業	トマト・イチゴを利用した商品開発・生産を行い、新たな加工販売の体制を構築することで、新たな事業を創出し、農業経営の付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	ソウヨウファーム株式会社	—	—	熊本県	熊本市	平成25年2月28日
160	菊池の特産品である椎茸をスライスや、角切りにした干椎茸及び粉末椎茸の直接販売事業	原木椎茸をスライスあるいは角切りにした干椎茸と粉末椎茸を生産・販売することにより消費者ニーズに応え、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	村上 保夫	—	—	熊本県	菊池市	平成25年2月28日
161	山都の竹資源利活用による竹林整備の取り組みと乳酸発酵竹粉等の製造販売	乳酸発酵竹粉を使用した床土及び抑草目的の竹ペレットとして関連商品を開発・生産するとともに、農地還元する有機稲作と一体化させて利用普及を推進しながら販売ルートを構築することで、新たな事業を創出し、農産物の付加価値を高め、農業経営の改善を図る。	野口 慎吾	—	株式会社グリーンネット・エンジニアリング	熊本県	上益城郡 山都町	平成25年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
162	有機JAS認定農産物のトマト、柑橘及び野菜等のミックスジュースの商品開発と販売	有機JAS農産物である、トマト・柑橘類・野菜を100%使用した有機JASミックスジュース等の新たな商品を開発するとともに、新たな販路を開拓することによって農業経営に付加価値を取り込み農業経営の改善を図る。	有限会社 肥後あゆみの会	—	—	熊本県	宇城市	平成25年2月28日
163	畑台地での安全・安心農産物の生産と伝承技術を再興した加工食品製造販売事業	西原村の荒廃する畑台地とふるさとの伝統的な農産加工品の再興をめざすため、環境保全型農業に取り組み、安全・安心なダイコン、カンショと原木シイタケを加工用原料として、漬物や乾物等の加工品を製造するとともに、今日の高齢化や健康志向に応じた、食文化の提供を行いながら農業経営の改善を図る。	株式会社 まるいちや	—	—	熊本県	阿蘇郡 西原村	平成25年2月28日
164	自社有機栽培の野菜・和・洋ハーブを粉末化した加工品の商品開発・販売事業	自社生産の和・洋ハーブを乾燥粉末に加工し、これを利用したサブリ感覚で飲む飲料、調味料、食品素材及び、新たに乾燥野菜を開発・製造するとともに、販売ルートを構築することによって農業経営の改善を図る。	株式会社 阿蘇ハーブファクトリー	—	—	熊本県	阿蘇郡 南阿蘇村	平成25年2月28日
165	熊本県人吉産のキクラゲを使用したキクラゲの加工品の開発及び販路の開拓事業	キクラゲ加工品の商品開発、生産するとともに生果も含めた新たな販売ルートを構築することによって、新たな事業を創出し農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	農事組合法人 人吉きのこ生産組合	—	—	熊本県	人吉市	平成25年2月28日
166	自ら生産した野菜を使用した粉末化商品の一般市販用としての商品開発・販売事業	ほうれん草や小松菜などの野菜を粉末化し、一般市販用(消費者)へ販売する。衛生面の向上のため乾燥・殺菌・粉末加工については委託を行う。また、一般消費者向けにそれらを用いたレシピの開発も行う。	矢神 勇	—	—	熊本県	球磨郡 あさぎり町	平成25年2月28日
167	オカワカメ、こどもピーマンなどハウス野菜の乾燥加工・販売事業	自ら栽培するオカワカメ・こどもピーマン・スナッブえんどうの余剰生産品や規格外品を使って乾燥野菜の開発・生産・販売を行う。	有限会社 橋本産業	—	—	大分県	中津市	平成25年2月28日
168	ブラウンスイス種の生乳を利用したオリジナルブランド商品の加工・販売事業	自ら飼養するブラウンスイス種の乳牛の生乳のみを使った、牛乳及び乳製品の開発・生産・販売を行う。 従来のホルスタイン種に比べ付加価値(高脂肪分・高タンパク質・低糖質)の高い牛乳や乳製品(チーズ・ヨーグルト・アイスクリーム)を開発販売することにより、経営体質の改善を図る。	有限会社 アイ・アイ・ディ	—	—	大分県	日田市	平成25年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
169	佐伯市で養殖されるブリの特殊な処理をした冷凍加工商品の製造と販売事業	自ら養殖したブリを特殊な加工処理(超冷薫加工)し、付加価値の創出により新たな販路開拓を行う。 年間通期で販売できる体制を構築することで、ブリの需要・消費・取引が年末などに片寄ることを是正し、新たな販路との相乗効果で取引単価の値崩れを防止することで養殖業経営の安定と改善を図る。	有限会社 富高水産	—	—	大分県	佐伯市	平成25年2月28日
170	椎茸、キクラゲ水煮の開発・販売	自ら栽培する原木椎茸及び菌床キクラゲを使った水煮を開発・販売する。 サラダ用にそのまま使える簡便性を付加し、新たな需要を開拓するとともに、加工することによる付加価値を付け、農業経営の改善を図る。	村上 和也	—	—	大分県	豊後高田市	平成25年2月28日
171	梅と柑橘を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産した柑橘類を使った加工品を開発・製造し、新たな販売ルートで販売を進める。 具体的には、梅干(白干・紫蘇)・乾燥梅や、梅及び柑橘を使ったジャムの開発・製造を行う。 これらの梅や柑橘類の加工品を開発・生産・販売を行うことにより、付加価値を上げ農業経営の改善・安定化を図る。	有限会社 森農園	—	—	大分県	杵築市	平成25年2月28日
172	大分県の特産物であるかぼす・トマトを利用した商品の加工・販売事業	自ら栽培した「かぼす」「トマト」を使用した「かぼす果汁」「かぼすゼリー」及び「トマトゼリー」の商品開発・生産・販売を行うことで、農業経営に付加価値を取り込み農業経営の改善を図る。	株式会社 ハマノ果香園	—	—	大分県	国東市	平成25年2月28日
173	自家登録品種である自然薯の特徴を活かした加工食品の開発とその販売事業	自家生産自然薯の「変色しづらい」特性を生かした「冷凍とろろ」、菓子用「自然薯とろろ」、「むかごご飯」等の加工品を開発し、既存販売先への商品提案に加え、スーパー等への直売やインターネット通販の新規販路拡大により経営の改善を図る。	岡元 孝仁	—	—	宮崎県	都城市	平成25年2月28日
174	地域特産品菌床椎茸を利用した加工食品の開発と販売事業の展開	自社と地場の原木を利用し自社でオガくずから製造し菌床を製造する。自然の風や温度変化を効率的に活用し、「環境にやさしい椎茸づくり」を行い、肉厚で良質の椎茸を生産する。優れた食感を有する素材を活かして、新たに「椎茸餃子」及び「椎茸スナック」の開発を行い、生椎茸とともにも販路拡大を目指す。	農事組合法人 ECOマッシュ	—	—	宮崎県	都城市	平成25年2月28日
175	自社生産杉の製廃材を利用した割箸の開発と環境影響評価(LCA)に対応した販売体制の確立	自社生産杉(飢肥杉)製廃材を使用して低価格の割箸を開発・生産する。自社既存販路(住宅メーカーなど)だけではなく、大手外食チェーンや流通向けを開拓することにより林業経営の更なる多角化を図る。 販路の開拓にあたっては、使用済み割箸の回収まで行い自社のバイオマスボイラー用燃料とすることにより、環境影響評価(LCA)に対応したサプライチェーンを構築・訴求する。	吉田産業株式会社	—	—	宮崎県	日南市	平成25年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
176	自社牧場で生産される牛肉の新鮮で色持ちの良い新商品「なかにし和牛」の開発・加工・販売事業	自社生産和牛を自社にて精肉処理し、先端技術の急速冷凍処理を行い、自社ブランド「なかにし和牛」(肉色・品質の長期保持、低ドリップ)として開発を行う。販売については、卸売業者を通じてレストラン、業務用商材、ギフト商材として販路拡大を図る。また、新設する直売所において、消費者への直接販売を行う。	株式会社 西ノ原牧場	—	—	宮崎県	小林市	平成25年2月28日
177	自ら収穫した未利用魚ウツボを活用した調理製品の製造と直売事業	自己所有の漁船によって漁獲されたキダカ(ウツボ)を、自社の加工場において骨取り三枚折り加工し、タタキ、天ぷら及び湯引き等に加工した新商品を業務用として製造し直接販売する。また、漁業後継者の育成と技術承継も図る。	河口 修	—	—	鹿児島県	西之表市	平成25年2月28日
178	自社農園で生産したぶどう、リンゴ、金柑を活用した加工・販売事業	自ら経営している観光農園で生産したぶどう、リンゴ、金柑を活用して、ジュース、シャーベット、ジャム等を製造して、観光農園内で直売する。このことにより、地域農業の活性化と雇用促進を図る。	株式会社 さくら農園	—	—	鹿児島県	霧島市	平成25年2月28日
179	有機栽培で収穫した「霧島茶」を粉末に加工製造し直販を行う事業	有機栽培した生茶を使い、自家工場で粉末茶を製造し、粉末茶を使った新製品の開発を行い、菓子製造業者への卸売りや百貨店催事による販売、自社店舗販売など販路の多角化を進めることにより経営の改善を図る。	ヘンタ製茶 有限会社	—	—	鹿児島県	霧島市	平成25年2月28日
180	JAS認定「自社農園」のピーマン・パプリカを使用した自家製野菜「黒酢ピクルス」とみかんを使用したステーキ用「みかんソース」の製造・販売	JAS認定「自社農園」のピーマン・パプリカを使用した自家製野菜「黒酢ピクルス」とみかんを使用したステーキ用「みかんソース」の製造・販売をすることによって、経営の多角化を図る。	福山黒酢 株式会社	—	—	鹿児島県	霧島市	平成25年2月28日
181	お茶の栽培から製茶、販売茶開発、直販の一貫生産販売体制を構築する事業	自社ブランド茶の商品開発や、顧客開拓、ブランド茶販売等直販店を出店し、販売強化することにより、お茶の栽培から販売まで一貫体制の販売戦略を構築し、売上増大を図り、安定した経営を目指す。	有限会社 下窪勲製茶	—	—	鹿児島県	南九州市	平成25年2月28日
182	養殖ブリ及び養殖ブリの未利用部分や低価格魚を利用した、調理加工商品開発、販売事業	養殖ブリ及び養殖ブリの頭、中骨等未利用部分や漁船漁業で漁獲された低価格魚を利用した調理加工商品を開発し、消費者のニーズに合った高付加価値商品として新しい販売チャンネルを創出する。この事業は「東町漁協地区産地協議会」を中心に推進し、漁協の取組みとして原魚の買い取り価格上昇により組合員の所得向上を図る。	東町漁業協同組合	—	—	鹿児島県	出水郡 長島町	平成25年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
183	自ら収穫する屋久島特産のガジュツ(紫ウコン)の製品製造と直売事業	生産しているウコンを飲みやすくするためタブレットの形状にした新商品を開発し、また、自社で製品化した新商品と合わせて直売事業を展開することにより、農業経営の安定化と売上収益確保によって農業及び関連所得の向上を図る。	牧 優作郎	—	—	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	平成25年2月28日
184	糖度18度のかぼちゃとかぼちゃ花ハチミツを使った加工商品の開発・販売事業	自社で生産した糖度18度のかぼちゃと、かぼちゃの花から採集したハチミツを使用した加工品(アイスクリーム、ジャム)とスライスかぼちゃ、かぼちゃペーストの開発・製造、販売により収益の向上を図る。	株式会社西ノ原商事	—	—	鹿児島県	鹿屋市	平成25年2月28日
185	糖度50度「紅はるか」焼き芋と「辺塚だいたい」を使ったスイーツの加工・販売事業	遠赤外線焼き芋機により糖度が50度になる「紅はるか」焼き芋に、地域産業資源である「辺塚だいたい」を使い、砂糖使用を低減させた加工品(アイスクリーム、焼き菓子、充填菓子)を開発・製造・販売する事により収益の向上を図る。	有限会社南橋商事	—	—	鹿児島県	鹿屋市	平成25年2月28日
186	ヘルシー志向の時代にあった健康素材である鹿を利用した加工食品及び雑貨原料の製造・販売事業	自社で飼育した鹿を利用して、鹿肉ハンバーグ・鹿肉スープ・鹿肉雑炊・鹿角顆粒・鹿皮の加工用なめし皮(毛無)の開発、鹿肉ソーセージ・鹿肉ソーセージホットドッグ・鹿肉ハンバーガー・鹿皮の加工用なめし皮(毛付き)を製造する。販売は、百貨店や商社への販売やインターネット販売を行う。また、なめし皮は、工芸用資材として自ら販売する。これらの取組により、農業経営に付加価値を取り込み、経営の改善を図る。	株式会社ディア・カンパニー	—	—	長崎県	南島原市	平成25年3月29日
187	自らが生産した蜂蜜と蜜蝋を使った製品の製造販売と、体験工房を設置する多角的事業	蜂蜜を使用したスイーツと蜂蜜の生産過程で出る蜜蝋を有効活用したワックスを製造し、販売する。また、ふれあいの場として、体験工房を設け、消費者へ養蜂業の理解を図り、所得の向上を目指す。	有限会社西澤養蜂場	—	—	宮崎県	宮崎市	平成25年3月29日
188	自家栽培の果実を活用した加工品の開発と農園カフェ等での販売事業	自家農園で生産した柿、桃、イチジク、イチゴを利用したジャム・パウダー(乾燥粉末)の製造し、自家農園カフェ、直売所で販売する。また、農園カフェの新メニューとして、ジャム・パウダーを活用した焼き菓子、ソフトクリーム、パフェを提供することで経営の多角化を図り、農業経営の改善を図る。	稲葉 秀俊	—	—	福岡県	朝倉市	平成25年5月31日
189	自社生産ネギを使用したカットネギ生産販売事業の展開による付加価値向上事業の展開	「カットネギの生産販売事業」に取り組み、飲食店仕入れ部門会社や加工食品製造会社へ卸販売による売上増と収益性改善を図るとともに地域の雇用拡大に貢献することを目的とする。 また、経営改善の取り組みとして、生産性向上により2.3t/反以上の収量確保、生産規模を約30haに拡大し、売上の向上を図るとともに自社生産ネギの付加価値向上による売上増を進める。	株式会社弥富農園			福岡県	糸島市	平成25年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
190	自作の有機栽培野菜を使ったレストランの開業による農業経営の改善と後継者の育成	「安心・安全な食を提供する」ことをコンセプトとして、自ら生産した有機栽培野菜(トマト、キャベツ等)の素材の味を生かしたランチや夕食メニューを提供するレストランを開業し、継続的な農業経営の基盤を構築する。	吉原 直義	—	—	福岡県	北九州市	平成25年5月31日
191	地域に親しまれた“みりん干し”の技術を活かした(さわら・鯛)干物といかめしの新商品開発と販売	「芦屋みりん天日干し」の技術を活かした、自前の漁獲物(さわら・鯛・いか)の、「天日干し味付けさわら」「天日干し味付け鯛」、「いかめし」の加工販売をすることで漁業経営の改善を図る。	中西 智昭	—	—	福岡県	遠賀郡芦屋町	平成25年5月31日
192	こだわりの自社生産伊万里ねぎを使用した加工品の製造販売事業	自社で生産した伊万里ねぎを使用し、加工施設を充実させ生産と品質管理を高め、加工品(ドレッシング、乾燥ねぎパウダー、ねぎペースト)を商品開発・製造し、新たな販売ルートを構築し、経営の多角化・高度化をさらに進め、農業経営に付加価値を取り込むことで農業経営の改善を図り雇用の創出と地域の活性化に取り組む。	有限会社 伊万里グリーンファーム	—	—	佐賀県	伊万里市	平成25年5月31日
193	白石の特産品である蓮根、玉葱を利用した一次、二次加工品の製造販売	自社構成員、連携先及び契約農家で生産した玉葱、蓮根を原料としたチップ、パウダー、レトルト、等の商品開発販売をするとともに、白石、蓮根玉葱の知名度を図る、地元の商工会と連携し、学校給食、介護食など新たな販売ルートを構築する。	有限会社 マルハ園芸	—	—	佐賀県	杵島郡白石町	平成25年5月31日
194	自社生産の柑橘類を利活用した新商品開発及び直接販売事業	自社で生産したじゃばらを使用した加工品(ジュース・オイル)や、みかんのスイーツ(ゼリー)の商品開発・製造に取組むとともに、各種柑橘類の青果についても、ブランディングを構築した直接販売に取組み、より大きな付加価値を創造することで、農業経営全体の改善と安定化を図る	有限会社 かねひろ	—	—	佐賀県	藤津郡太良町	平成25年5月31日
195	当社のブランド品である「太陽卵」を使って行う加工食品の開発と販売拡張のための事業	自社で飼育生産した自社ブランドの太陽卵を原料とし、需要者のニーズに合わせて「液卵」を自社で製造・販売していく。需要者の細かいニーズに合わせた液卵を製造することにより差別化を行い、経営改善を図る。	株式会社 落水正商店	—	—	長崎県	雲仙市	平成25年5月31日
196	自家生産の馬鈴薯、さつまいもを使用したボイル食品の開発・加工・販売事業	自社栽培した規格外品や市場価格が低い時期の馬鈴薯、新たに栽培を始めたさつま芋のボイル食品を開発し、地元量販店等への販売とインターネット販売を行う。これにより、農業経営の生産性と付加価値を高め、農業経営の改善を図る。	株式会社 マルニ	—	—	長崎県	雲仙市	平成25年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
197	こだわりの豚肉(プリンセスポーク)を原料としたハンバーグのブランド化・販売事業	有限会社前田牧場が生産するプリンセスポークを原料としたハンバーグを開発・商品化し、既存の販路に加えネット販売等を展開することにより、加工品を強化し新たな付加価値を取り込むことで養豚経営の安定化を図る。	有限会社 前田牧場	—	—	熊本県	熊本市	平成25年5月31日
198	農家直産筍を使用した商品の加工・販売事業	組合員が生産する筍を用いて、鹿本農業協同組合で現在製造しているたけのこ水煮缶を新たに千切り・微塵切り等に加工製造することで、付加価値を高め、ファーマーズマーケット等販売ルートを開拓していく。また真空パックの小分けを行う事で一般消費者へ直接販売が可能となり、経営の多角化・改善を図る。	鹿本農業協同組合	—	—	熊本県	山鹿市	平成25年5月31日
199	地域の特産品である水田ゴボウと栗を利用した商品開発・販売事業	組合員が生産する水田ゴボウ、栗を用いて、水田ゴボウ茶及び水田ゴボウチップス、栗の甘露煮及び栗きんとんの商品開発を行い、付加価値を付け、既存直売所・インショップ及びネット販売を行い農業経営の安定化を図る。	菊池地域農業協同組合	—	—	熊本県	菊池市	平成25年5月31日
200	筍と竹の商品開発(焼き筍、ダイエタリーファイバー、竹表皮、竹チップ)及び販路開拓事業	自らが生産する筍及び竹を用いて、焼き筍とそれを材料とした味噌漬けとドライフーズの味噌汁及び筍ダイエタリーフーズの開発を行う。また、孟宗竹の表皮と竹チップの商品化を行う。青果も含めてこれらの商品の販売ルートを卸業者と連携開拓し、林業経営に付加価値を取り込み経営の安定化を図る。	難関突破プロジェクト 合同会社	—	—	熊本県	玉名郡 南関町	平成25年5月31日
201	自社生産の豚肉を原料としたウインナー・ソーセージ等の加工品の製造・販売事業	自社生産のブランド豚肉と三元豚を原料としたウインナー・ソーセージ等の加工品の開発を行う。また、インターネット等、新たな販売ルートの構築と事業を創出し、付加価値をとりこむことで、農業経営の安定化を図る。	有限会社 ファームヨシダ	—	—	熊本県	菊池郡 大津町	平成25年5月31日
202	玉緑茶のペーストを使った商品、ドレッシングの開発販売	自らが生産する緑茶を用いて、「緑茶ペースト」を開発し業容用として提供するとともに、「緑茶ペースト」を活用した“食べるお茶”として「緑茶ドレッシング」を開発し、既存店舗の他、加工委託先と連携し新たな販売スペースを確保する。若者にもカジュアルな商品アイテムを増やすことで若い世代の新規顧客獲得を目指し、新商品をきっかけとして当社のお茶の販売増加に繋げること、売上高や付加価値を向上させ、農業経営の改善を図る。	富澤 一行	—	—	熊本県	上益城郡 益城町	平成25年5月31日
203	菜の花米由来の黒酢と八代産トマトを利用したトマトビネガーの商品開発・販売事業	構成員が所有する菜の花畑を利用し収穫された米を使った黒酢と八代産トマトを使ったトマトペーストによりトマトビネガーの商品開発を行い、農業経営に付加価値を取り込むとともにブランド力と農業収益の向上を図る。	やつしろ菜の花ファーム987	—	—	熊本県	八代市	平成25年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
204	北インド原産の西洋ワサビノキ科の木である「モリンガ」を利用した商品の加工・販売	構成員が生産したモリンガの葉、葉茎を乾燥させ、モリンガの生葉抽出液により固形化し添加物の含まれていない100%モリンガ錠剤の商品開発・販路開拓、万年茸の菌を使ったモリンガ発酵茶の商品開発・販路開拓を行い、経営の多角化・高度化により農業経営の改善を図る。	株式会社 彩農園	—	—	熊本県	天草市	平成25年5月31日
205	丸太の熱処理新技術を利用した高強度の球磨産構造用製材品の加工・販売事業	自社所有の山林より、球磨地域産出の杉、桧を丸太のまま燻煙熱処理し、芯去り製材を可能にして大経丸太を有効活用する高品質・高規格の住宅用構造製材品の開発を行い、林業経営の改善を図る。	九州横井林業 株式会社	—	—	熊本県	球磨郡 湯前町	平成25年5月31日
206	新たな製炭技術の開発による半白炭(はんぱくたん)の商品開発と量産体制づくり事業	自社所有の山林より木材を切り出し、戦中・戦後に行われ、今は途絶えてしまった半白炭(はんぱくたん)の生産技術確立し、製造を行うことにより白炭に比べ安全で安価な炭を業務用として販売し、林業経営の改善を図る。	株式会社 尾鷹林業	—	—	熊本県	球磨郡 あさぎり町	平成25年5月31日
207	熱処理をしていない天草産柑橘類の果肉を使用した「生果実ゼリー」の開発と販売事業	自社で生産した天草産の温州みかん(興津早生)、晩柑(あまくさ晩柑)を使った果肉入りゼリーを新商品として製造する。ゼリーについては熱処理をしていない生の果肉を使い、香料や保存料などを使用しないフレッシュ感のある高品質の商品を作る。また、直売や卸売販売など、従来の販売方法に加えて新たな販売方法(催事販売)を行うことにより農業経営の改善を図る。	株式会社 山下果樹園	—	—	熊本県	天草郡 苓北町	平成25年5月31日
208	カタクチイワシおよびナマコを活用した加工・直接販売事業	自ら漁獲した「カタクチイワシ」や「ナマコ」を活用した商品開発・加工・販売を行う。 カタクチイワシを活魚から煮干しにすることで付加価値を付け、業務用として販売するとともに、イワシ漁端境期の新事業として、海外向け干しナマコの販売を行うことにより、経営の改善を図る。	龍光水産	—	—	大分県	津久見市	平成25年5月31日
209	黒にんにくペーストの開発・販売事業	自ら栽培する「にんにく」を利用した黒にんにくペーストの開発・加工・販売を行う。 黒にんにく加工の際発生する規格外を使用し、ペースト商品を開発・販売することで収益の改善を図る。	渡邊 義博	—	—	大分県	竹田市	平成25年5月31日
210	自家生産する牛乳およびブルーベリーを利用した新商品の開発・販売事業	自ら飼養する「ホルスタイン種、ジャージー種の生乳」を利用したヨーグルトクリーム、自ら栽培した「ブルーベリー」を利用したブルーベリーソースの開発・製造を行い、業務用販売を中心に直売等を行う。	農業生産法人 有限会社 九重牧場	—	—	大分県	玖珠郡 九重町	平成25年5月31日

九州農政局

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
211	ブルーベリーとブルーベリー葉エキスを末を利用した加工商品開発及び販売事業	自社生産したブルーベリーの果実と葉を活用し、付加価値を付けた新商品(ブルーベリー酢、ペクチンゼリー)を開発する。 ネット販売、スーパーへの委託販売、既存の会員制度を活用した直接販売を行い経営の安定化を図る。	株式会社 宮崎ブルーベリーガーデン	—	—	宮崎県	宮崎市	平成25年5月31日
212	きらり農場高木で生産した農産物を利用した加工品の開発及び販売事業	農事組合で生産した農産物を使用して、郷土料理を含めた加工食品の開発・製造を行う。 また、新たに食品加工兼直売施設を開設するとともに販路の開拓を行う。 このことにより、農業経営の改善と地域の雇用創出を図る。	農事組合法人 きらり農場高木	—	—	宮崎県	都城市	平成25年5月31日
213	宮崎県特産黒毛和牛肉(サイトー牛)を素材とした加工食品の開発、販売	自社飼育の黒毛和牛(サイトー牛)を原料としてサイトー牛精肉、ハンバーグ、メンチカツ、ローストビーフ、牛すじ煮込みを開発製造し、ネット販売やスーパーへの販路開拓により経営の安定化を図る。	株式会社 サイトーファーム	—	—	宮崎県	西都市	平成25年5月31日
214	自社生産した大根及び甘藷を使用した加工品の開発と、ICタグを利用した青果加工品の販売	自社生産した大根と甘藷を使用して、「せんぎり大根」及び「甘藷ほし芋」の商品開発を行う。 また、ICタグ発送方式を採用し、生産履歴を販売先や消費者に伝達することで、安心・安全のニーズに応えた販売を展開するこのことにより、農業経営の改善を図る。	株式会社 KKYファーム	—	—	宮崎県	児湯郡 木城町	平成25年5月31日
215	地域特産のマンゴー等の果実を使用した加工食品の開発、加工及び販売事業	自家生産の「時の雫」マンゴーとブルーベリーを原料とした加工品(ジャム、ピューレ、ドレッシング、アイスクリーム)を開発販売し、農業経営の高付加価値化と安定化を実現する。	木村 幸司	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町	平成25年5月31日
216	自家生産のみかんと梅を利用した加工品の開発と販売事業	自家産農産物(みかん・梅)と宮崎産の牛乳を用いて、ソフトクリームとみかんの生搾りジュースを開発販売し、農産物の付加価値を高め所得向上と経営安定化を目指す。	黒木 国彦	—	—	宮崎県	児湯郡 都農町	平成25年5月31日
217	鹿児島県における第三の黒「黒さつま鶏」を使った炭火焼、燻製の加工・販売事業	自ら生産したブランド地鶏「黒さつま鶏」を活用した炭火焼、燻製の新商品の開発・製造を行い、商社経由で販売展開することで売上拡大を図るとともに、経営の多角化、高度化を図る。	株式会社 NSファーム	—	—	鹿児島県	鹿児島市	平成25年5月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
218	薩摩西郷梅及び関連食材を活用しての付加価値の高い梅加工品の開発事業	自らと組合員が生産した梅を活用して高付加価値製品の加工販売を行うことにより、梅干の原料供給産地という下請け構造からの脱却を図り、組合員並びに当組合の収益向上を具現化するとともに、地元の直売所等で販売する事により地域特産品の地産地消の拡大、地域振興、雇用の増大等の社会的貢献に寄与する。	農事組合法人 薩摩西郷梅生産組合	—	—	鹿児島県	薩摩郡 さつま町	平成25年5月31日
219	自社農園の菊芋・さつまいも・しょうがを利用した介護用食品の商品開発・販売事業	自社で生産した菊芋・さつまいも・しょうがを介護用食品の素材としてペーストや乾燥チップ、粉末に加工・開発し付加価値を高め、高齢者施設や障害者施設等に販売することで、経営の多角化・高度化を図り経営の改善を図る。	株式会社 ひまわり農苑	—	—	鹿児島県	鹿屋市	平成25年5月31日
220	自社で大型に育てたカンパチ・ブリのブランド化と加工新商品の開発、海外輸出を展開する事業	自社で大型に育てたカンパチ・ブリを使った新商品の開発に加工業者と共同で取り組む。併せて飲食店・量販店との直接取引を行い、海外への輸出展開により経営改善を目指す。	有限会社 小浜水産	—	—	鹿児島県	垂水市	平成25年5月31日
221	自社ブランド「やごろう豚」を使ったハム・ソーセージ・ベーコンの開発・販売事業	新たにクリーン設備を備えた加工施設を建設し、自社で飼育した良質な豚肉「やごろう豚」を原料にハム・ソーセージ・ベーコンの製造を行い、道の駅内の直営精肉店や直営レストランでの販売やネット通販等を行うことで経営基盤強化を図る。	有限会社 大成畜産	—	—	鹿児島県	曾於市	平成25年5月31日
222	地域特産「い草」の栽培面積拡大と無染土・緑茶染めによる「い草」製品の製造・販売事業	自社で生産した「い草」を使用した「無染土方式（泥染めを行わない）＋緑茶染め」の新商品（カーペット、ラグ、畳表など）を開発し、卸売、小売店直売、インターネット販売を行う。「い草」は福岡県筑後地域の特産品であり、弊社がリーダー役となって「い草」栽培を牽引し、「い草栽培」の復興、地域の活性化を目指す。	株式会社 トーション	—	—	福岡県	大川市	平成25年6月28日
223	五島の特産品である椿油を使用した食品、及び化粧品の加工・販売事業	五島の特産品である椿油を使用した食品及び化粧品の製造する。自社での椿の栽培から加工、販売までを一貫体制で行うことで、加工品の収益性と独自性を高め、農業経営の向上と地域の活性化を図る。	合資会社 バンブー	—	—	長崎県	五島市	平成25年6月28日
224	自社栽培した葡萄、桃と地元特産の椿を利用したワインの製造・販売事業	自社栽培した葡萄、桃と地元特産の椿を利用したワインの製造・販売を行い農業経営の改善を図る。またすべてを地元で作ることで、地域産品として成長発展させ、地元の「島ワイン」としての特産品を目指し地域活性化を図る。	株式会社 五島ワイナリー	—	—	長崎県	五島市	平成25年6月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
225	新技術によるブランド鰻の加工販売事業	シラス資源の逼迫により、通常のウナギ養殖がコスト高となる中、これまで有効に活用されていなかった未成熟なウナギを一定の条件下で再肥育することにより、成熟したウナギとして出荷する加工販売事業。	西日本水産株式会社	—	—	福岡県	福岡市	平成25年10月8日 (ファンド)
226	野菜・果物を利用したレストラン及び加工・直売事業	構成員及び連携生産者が生産した果実・野菜を提供する農家レストランの開業、果実(ぶどう)・野菜(いちご)を利用した新商品(ドレッシング)の製造及び直売を行い、地域を訪れる観光客を増やし、地域の活性化に貢献する。	株式会社 樹蘭	—	—	福岡県	久留米市	平成25年10月31日
227	自ら栽培した果実・野菜を利用した加工食品の開発・製造・販売事業	自ら生産したミカン・レモンを利用したジュース、梅・野菜を利用したドレッシング・ソースの開発及び漬物を製造し、自営直売所及び道の駅等で販売し、経営の多角化を図り、農業経営の改善を目指す。	岩佐 洋一	—	—	福岡県	宗像市	平成25年10月31日
228	自社生産「一貴山豚」の精肉・加工品・惣菜の直売及びビュッフェレストラン事業	自ら生産した豚を利用し、精肉・加工品(ソーセージ・味噌漬け等)・惣菜(とんかつ・串カツ等)の開発・生産を行い、直売所で販売する。また、豚肉を利用したビュッフェレストランを開業し、経営の多角化・高度化を図り、付加価値を取り込むことにより養豚経営の改善を図る。	株式会社 瀬戸ファーム	—	—	福岡県	糸島市	平成25年10月31日
229	自社生産の豚を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産した豚を利用し、精肉・加工品(焼き豚・豚足煮物等)の製造・委託販売を行う。新商品の販売は、委託先の販路を活用する。これらの取り組みにより、経営に付加価値を取り込み、経営の改善を図る。	有限会社 浦ファーム	—	—	福岡県	糸島市	平成25年10月31日
230	高島フルーティトマト加工販売事業	自社で栽培したトマトを斬新なパッケージにより「高島フルーティトマト」の小包装での卸販売していく。低糖度のトマトについては、ジュレ、ピューレを開発、自ら製造し販売していく。これらによる付加価値を経営に取り組み農業経営の改善を図る。	崎永海運 株式会社	—	—	長崎県	長崎市	平成25年10月31日
231	地元島原で栽培した生姜、人参等の野菜を使用したスイーツ等の加工・販売事業	自ら生産した生姜や野菜(人参・ほうれん草等)の規格外を利用して、子供から大人までおいしく食べれる新たな菓子(マカロン・シフォンケーキ等)、加工食品(シロップ等)の製造を進め、直売所やインターネット販売を行い農業経営に付加価値を取り込み農業経営改善を図る。	松本 政彦	—	—	長崎県	島原市	平成25年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
232	栽培にこだわったベビーリーフ・ベビーレタスとトマトを利用した商品の加工・販売事業	自ら及び連携先が生産したベビーリーフ・ベビーレタスを洗浄したサラダ、トマトをカットしたサラダの製造を行う。既存の販売ルートを活用するとともに手軽に食することができる商品の利便性を活かして、コンビニエンスストア等新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値をとりこむことで、農業経営の改善を図る。	有限会社 ベジタブル・ユー	—	—	熊本県	熊本市	平成25年10月31日
233	「灯籠蜜いも」(サツマイモ)を利用した芋ペーストの商品開発・販売事業	自ら生産したサツマイモを原料にサツマイモペーストを商品開発・卸販売し、青果出荷できない商品の有効利用を図り、商品に付加価値をつけることで、農業経営の改善・安定を図る。	株式会社 アグリファーム未来	—	—	熊本県	山鹿市	平成25年10月31日
234	還元塩ミネラル農法で出来た米の副産物である米ぬかを利用した商品の加工・販売事業	自らこだわりの栽培方法で生産した米の副産物である米ぬかの栄養分を手軽に摂取できるよう、米ぬかふりかけと米ぬかせんべいの加工品の開発を行い、卸販売や直売所、ネット販売により新たな販売ルートを構築することにより、経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値をとりこむことで、農業経営の改善を図る。	平本 秀秋	—	—	熊本県	山鹿市	平成25年10月31日
235	地元大津町の特産品である甘藷を利用したさつまいもシロップの商品開発・販売事業	自ら生産するさつまいもを原料にさつまいもシロップを製造するとともに、百貨店等への新たな販売ルートを構築することにより経営の多角化を目指し、同時に農閑期においても収益を確保することで経営の安定化を図る。	なかせ農園	—	—	熊本県	菊池郡 大津町	平成25年10月31日
236	地域特産の甘藷を利用した商品の開発と販売事業	自ら生産する甘藷を原料に干し芋、甘藷ペースト、冷凍芋を製造し、製菓業等へ卸販売や直売等の新たな販売先を開拓することで、農作物の付加価値を上げ農業経営の改善を図る。また、甘藷の貯蔵施設を確保し安定した加工原料確保により農業経営の安定を図る。	農事組合法人 下巢畑農産	—	—	熊本県	阿蘇郡 小国町	平成25年10月31日
237	熊本県の特産品である「あか牛」を放牧型粗飼料多給飼育方法で飼育した「阿蘇うぶやま上田尻の草うし」の商品加工・販売事業	自ら放牧型粗飼料多給飼育方法で飼育した「あか牛」の肉を原料に「あか牛ハンバーグ」及び「あか牛肉味噌」を製造するとともに、新たにレストランを併用した直営販売所を新設することにより、経営の多角化、高度化を図り農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	井 博明	—	—	熊本県	阿蘇郡 産山村	平成25年10月31日
238	水耕養殖装置を用いた砂ゼロアサリの加工商品開発事業	当社独自で開発した砂を使用しない水耕養殖装置を使い、生産した砂を含まないアサリによる「砂ゼロアサリのむき身パック」や「砂ゼロアサリのレンジ対応酒蒸パック」の新商品開発を行う。また、新商品の販売については地元物産館等へ販売し、水産経営の改善を図る。	合同会社 FU/バイオカルチャー	—	—	熊本県	上天草市	平成25年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
239	特産品であるパール柑とあまぐさ晩柑を利用した商品の加工・販売事業	自らが生産したパール柑及びあまぐさ晩柑を使用し上天草農林水産物ブランド推進協議会等の協力を仰ぎながらパール柑のむき身及びパール柑ピールの砂糖漬け、あまぐさ晩柑ピールの砂糖漬けなどの新商品を製造する。 また、新商品の販売については地元物産館や県内卸売業者へ販売を行う。 これらの取組により、農産物の付加価値を高め農業経営の多角化・安定化を図る。	水野 武晴	—	—	熊本県	上天草市	平成25年10月31日
240	フグ刺し(急速冷凍)及びトラフグ(アラ)の唐揚げの商品開発・販売事業	自社で養殖したトラフグを使い、真空包装機及び3D冷凍機の導入によって低価格で大量に一年中産地から食卓に提供できるフグ刺し(急速冷凍)とトラフグ(アラ)の唐揚げの新商品を製造し、卸販売・ネット販売に取り組むことにより水産経営の改善を図る。	株式会社 小川水産	—	—	熊本県	天草市	平成25年10月31日
241	地域の特産品である車海老の販路拡大に向けた商品開発・加工事業	自社で養殖した車海老を使用し車海老の刺身(急速冷凍)及び簡単に調理できる車海老惣菜品の新商品を製造する。 また新商品の販売については、インターネットやカタログによる直送販売やホテル・旅館などへの直接販売など新たな需要の拡大を行う。 これらの取組により、水産経営の改善を図る。	有限会社 友榮水産	—	—	熊本県	天草市	平成25年10月31日
242	白豚の新規導入および黒豚と白豚の直売販路構築と加工品の開発事業	自ら飼育する黒豚および白豚を使用した精肉の加工・販売、惣菜(とんかつ・ハンバーグ・メンチカツ)の製造・販売を行う。 販売については、消費者を対象とした自社店舗での直売を行い、ホテル・旅館・レストラン・農産物直売所での業務用ルート・小売ルートへの産直流通の販路開拓にも取り組むことで、養豚経営の安定と改善を図る。	株式会社 梶原畜産	—	—	大分県	中津市	平成25年10月31日
243	大分県特産の原木椎茸を使用した加工食品の開発・製造・販売事業	自ら生産する原木椎茸を使用した、味付け調理と冷凍加工した商品や、味付けレトルト加工した商品の、製造・販売を行う。 世界農業遺産に登録された国東半島の椎茸を活用することにより、商品に付加価値を付け、業務用や消費者に直接販売を行い、収益構造の改善と農業経営の安定化を図る。	株式会社 国東ファーム	—	—	大分県	国東市	平成25年10月31日
244	廃鶏を活用した惣菜の加工・販売事業	自ら飼育する鶏を活用した「鶏めしの素」「親子丼の素」「鶏そぼろ」及び「やきとり」の新商品の開発・製造を行い、既存のルートでの販売に加え、消費者への直接販売やインターネット販売を行うことにより経営の改善を行う。 具体的には、従来、廃鶏として処理していた鶏の有効活用のため、新たに加工商品を開発・製造・販売することで収益の改善を図る。	有限会社 大分ファーム	—	—	大分県	速見郡 日出町	平成25年10月31日
245	自社牧場生産牛肉(パイン牛)のドライエイジング加工と生食用加工品の開発及び販売	自社で生産し、商標登録も行っているパイン牛について、自社の食肉加工施設を改装整備し、その腿肉の部位を利用したドライエイジングビーフ(乾燥熟成肉)と生食用牛肉を製造する。 新商品の販売については、自社グループレストランで販売する他、自社HPでネット販売を行い、販路拡大を図る。 これらの取組により、枝肉全体の3割を占める腿肉に付加価値を高め、自社の経営改善と雇用の拡大を目指す。	株式会社 岡崎牧場	—	—	宮崎県	宮崎市	平成25年10月31日 (ファンド)

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
246	鉢植えマンゴーの高糖度果実を素材としたスイーツの開発と販売	自社で生産した鉢植えマンゴーの高糖度果実の規格外品を素材として、代表者の長年の食品加工経験を活かしたスイーツ類(焼き菓子・プリン・ドライフルーツ)を製造し、従来からの顧客や関東・関西のレストラン等に販売することにより、農業経営に付加価値を付けて農業経営の改善を図る。	有限会社 八祥	—	—	宮崎県	宮崎市	平成25年10月31日
247	自家生産ブルーベリーを利用した高級洋菓子等の加工・販売事業	自家農園で生産したブルーベリーを活用し、OEM委託製造により付加価値をつけたブルーベリーマカロンやロールケーキを開発して県の物産館、ホテル、空港等の土産売り場への販路拡大を図る。また、農園に休憩所を整備して自ら製造するソフトクリームとジュースの販売を行う。このことにより農業経営の財政的基盤の強化と安定化を図る。	大前 幸祐	—	—	宮崎県	都城市	平成25年10月31日
248	環境にこだわって肥育した自社ブランド牛(EMO牛)を使用した新商品の開発・販売事業	自社銘柄「EMO牛」を使用して、ドライエージングビーフや牛肉ハム・ソーセージ等の商品を製造する。 また、枝肉の冷蔵保管機能を備えた施設を整備して、大手ハムメーカー・商社・通信販売事業者等のニーズに即した供給体制を確立することで独自の販売ルートを開拓する。 新たなビジネスモデルを構築することによって、農業経営の改善と雇用の創出を図る。	有限会社 有田牧畜産業	—	—	宮崎県	西都市	平成25年10月31日
249	IQF(個別急速冷凍)による冷凍ほうれんそうを利用した商品の加工・販売事業	自社とJA組合員が生産したほうれんそうをIQFフリーザーで瞬間凍結し、冷凍野菜を製造して、宮崎県産の農畜産物とミックスした加工食品(カレー・シチュー)を製造する。自社の取引先のチャネルを活用した販路開拓により安定した経営をめざし、農業経営の改善を図る。	株式会社 ジェイエフーズみやざき	—	—	宮崎県	西都市	平成25年10月31日
250	地域の特産であるブルーベリー葉及び日本山人参を用いた健康食品の加工及び販売事業	自家生産したブルーベリー葉と日本山人参、この二つの素材を組み合わせたブレンド茶等の商品開発・生産を行い、健康食品会社やレストラン向けに新たな販売ルートを構築することによって経営の多角化・高度化を図り農業経営に付加価値を付け農業経営の改善を図る。	スローライフトゥ株式会社	—	—	宮崎県	延岡市	平成25年10月31日
251	自家農産物(柿・桃・葡萄・金柑)を利用したソフトクリームおよび一次加工品の販売	自家生産した果実(柿・桃・葡萄・金柑)を利用したソフトクリーム原料を開発し、イベント等での製造販売を行う。また、業務用の一次加工品(ピューレ)を製造し加工業者等への販売や、果実(柿・葡萄・金柑)の輸出を行うことで新たな販売ルートを構築し、農業経営の改善を図る。	田口 秀希	—	—	宮崎県	延岡市	平成25年10月31日
252	自社生産した若鶏を利用した加工・販売事業	自社生産の若鶏を利用した加工品を開発・製造し、自社店舗での販売や卸販売することにより、農業経営に新たな付加価値を取り込んでいく。テレビショッピングを利用して、商品の全国発信を行う。	株式会社 英栄	—	—	宮崎県	東臼杵郡 門川町	平成25年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
253	自社産有機茶を利用した釜炒り製法による新商品の開発・販売事業	自社産有機茶を利用した茶葉を用いて烏龍茶・紅茶やハーブ・薬草等とのブレンド茶の商品を製造するとともに、健康食品会社への新たな販売ルートを構築し、農業経営に新たな付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。 また、促進事業者と共同で、自社生産のお茶やハーブ・薬草等を利用した商品のかりんとう、せんべいの開発に取り組む。	株式会社 宮崎茶房	—	株式会社 バーバクラブ	宮崎県	西臼杵郡 五ヶ瀬町	平成25年10月31日
254	地域の特産品、安納芋・馬鈴薯を活用した商品開発及び販路開拓事業	構成員が生産した安納芋、馬鈴薯を用いて、ペーストやドレッシング、ポタージュの新商品の製造を行い、業務用に小売・卸売の新たな販路を構築することによって、農業経営に付加価値をとりこみ経営改善を図る。	株式会社 あんのう	—	—	鹿児島県	西之表市	平成25年10月31日
255	自家農産物(マンゴー、野菜)を活用したジェラート・焼き菓子類の開発販売	自ら生産したマンゴー、野菜(トマト、かぼちゃ)を活用したジェラート、ジェラートケーキ、マフィン、シフォンケーキの新商品を製造する。また、既存の専門店に加えて、移動販売用の車両を導入した移動販売により、需要開拓、販路開拓・安定化を図る。	泉 祐次郎	—	—	鹿児島県	奄美市	平成25年10月31日
256	地域特産のさつまいもを利用した芋蜜の新商品の開発・製造及び販売事業	自ら生産したさつまいもを活用して、さつまいもだけで造る芋蜜「あめんどろ唐芋シロップ」の新商品を製造する。販売については、卸売により新たな顧客の開拓を行い、経営の多角化・高度化による農業経営の改善・安定を図る。	株式会社 唐芋農場	—	—	鹿児島県	南九州市	平成25年10月31日
257	自ら収穫する屋久島特産のパッションフルーツ製品の製造と直売事業	自ら生産したパッションフルーツを用いたジャム、ジュースを製造する。加工施設を整備して経営の多角化・高度化を図り、販売については小売と直販・ギフト販売を行い、農業経営の安定化と売上収益確保によって農業経営の改善を図る。	中原 洋秋	—	—	鹿児島県	熊毛郡 屋久島町	平成25年10月31日
258	自社養殖のカンパチ、タイ、シマアジやフグを使った加工商品開発と販売事業	自社で養殖しているカンパチ、タイ、シマアジをカット加工し真空パックに、フグは身欠きや皮、白子に加工する。また、残渣処理していたカンパチの「あら」や「かま」も加工商品として製造販売する。加工施設、販売所を新築し、自ら製造販売を行うことで経営の多角化・高度化及び安定化を図る。	有限会社 さと丸水産	—	—	鹿児島県	垂水市	平成25年10月31日
259	全国規模による通年型野菜供給体制確立事業(レタス)	各生産者が自ら生産したレタスを、実需者と産地リレーによる連携供給契約を結び、安定した供給体制を構築することで、リスクの減少、価格の安定、収益の向上を図り、農業経営の安定を目指す。	株式会社グリーン ファーム絆	甘利明稔・株式会社内田農園・株式会社H.A.S.E.	—	長崎県	雲仙市	平成25年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
260	全国規模による通年型野菜供給体制確立事業(キャベツ)	各生産者が自ら生産したキャベツを、実需者と産地リレーによる連携供給契約を結び、安定した供給体制を構築することで、リスクの減少、価格の安定、収益の向上を図り、農業経営の安定を目指す。	有限会社大崎農園	有限会社新福青果・株式会社芝原・甘利明稔・山口隆治・有限会社Y&H・株式会社佐藤農場・佐藤美好・有限会社粕田商事・株式会社南国スタイル	—	鹿児島県	曾於郡大崎町	平成25年10月31日
261	地域の特産品である奄美大島産真珠を利用した加工・販売事業	自らが養殖した奄美特産のマベ真珠を用いて独自のデザインによるアクセサリを開発・生産し、自社の直売所で販売する。 生産・販売にあたっては、新たに加工場兼直売所を整備し、奄美でしか手に入らない当社固有のオリジナル商品を展開することにより、マベ真珠の付加価値を高め、真珠養殖経営の改善を図る。	奄美サウスシー&マベパール株式会社	—	—	鹿児島県	大島郡瀬戸内町	平成25年11月29日
262	有機栽培した単一品種焙煎茶を利用した商品の製造・販売及び日本茶カフェ事業	自ら生産する茶を利用して、単一品種焙煎茶及びフレーバーティを製造し、また、ほうじ茶シフォンケーキ・緑茶まんじゅう・お茶クッキーを開発する。新商品は、直売・ネット販売を行うとともに、新たに整備する日本茶カフェで提供する。これらの取組により、茶加工品の新たな販売提供方法を構築し、多角化経営を行い、所得の向上と雇用の拡大を図る。	株式会社新川製茶	—	—	福岡県	うきは市	平成26年2月28日
263	地域の特産品であるブナシメジ及びエリンギを利用した冷凍加工品の販売事業	自ら生産するブナシメジ・エリンギを利用して、冷凍加工品を開発する。新商品の販売は、学校給食・惣菜メーカー等の既存取引先を活用し、需要期における販路拡大を図る。これらの取組により、生産性・付加価値を高め、収益の向上を図る。	農事組合法人きのこ工房	—	—	福岡県	三潁郡大木町	平成26年2月28日
264	地域の農産物から製造した野菜加工品、畜肉、果実加工品、乳製品等を組み合わせた新商品の製造販売	構成員が生産した農畜産物(大根、イチゴ、米、生乳、牛肉等)を加工し、消費者のニーズに合わせた新商品(カット野菜、ピューレ、チーズ、ドライエーjing肉等)の開発、製造を行う。新商品については、製菓・製パン業者、ホテル・レストラン、インターネットでの販売に取り組むことで、農畜産業者の経営の安定化と収益向上を目指す。	株式会社マース	—	—	熊本県	上益城郡益城町	平成26年2月28日 (ファンド)
265	自ら生産した蜂蜜と地域の青果物を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産した蜂蜜及び八代・宇城地域で生産された青果物を利用して蜂蜜とまどジュース、蜂蜜いちごジャム及びうめ・かりん・しょうがの蜂蜜漬けを新商品として製造し、卸へ販売することにより経営の多角化・高度化を図り、収益の向上を目指す。	株式会社蜂の郷にしおか	—	—	熊本県	八代市	平成26年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
266	地域の特産品である天草大王(鶏)のハラル認証商品化へむけた加工・販売事業	天草地区で組合員が生産したブランド地鶏である天草大王を精肉処理し、イスラム圏の人をターゲットにハラル認証食材として、在留外国人や訪日外国人向けレストランへの販売、香港やマレーシア等への輸出に連携する業者と取り組むことにより農業経営の改善・安定化を図る。	農事組合法人天草大王生産販売組合	—	—	熊本県	天草市	平成26年2月28日
267	天草市で養殖した自社ブランド鯛「みやび鯛」を利用した切り身加工・販売事業	自らが養殖したブランド養殖鯛のうち、低価格で取引されるキズものを切り身に加工し、既存の販路である魚市場を中心に卸売を行う。この取組により、商品の付加価値を高め、養殖経営の改善を図る。	株式会社坂田水産	—	—	熊本県	天草市	平成26年2月28日
268	天草市で養殖したクロマグロ、ブリ、マアジを利用した加工品の製造・販売事業	自らが養殖したクロマグロ、ブリ、マアジを用いて、タレ漬けやフライ、あら煮などを製造し、卸販売するほか、直売所やインターネット販売を行い、所得の向上と雇用の拡大を図る。	福吉魚類株式会社	—	—	熊本県	天草市	平成26年2月28日
269	規格外いちごを利用した商品の加工・販売事業	自ら生産するいちごの規格外品を用いたドライいちご、ピューレ、冷凍キューブの新商品開発と鮮度保持効果のあるMA包装した生鮮品を製造・開発し、業務用を主体に販売を行う。廃棄処分している規格外いちごを活用して商品化し、新たな販売先を開拓することで、農産物の付加価値を高め、経営の多角化を図り、農業経営の改善を目指す。	若杉 直弘	—	—	大分県	大分市	平成26年2月28日
270	大麦若葉、べにふうき茶、桑の葉を使った青汁の開発・販売事業	構成員が生産する大麦若葉、べにふうき茶、桑の葉を原料とした新商品を開発し、業務用への卸売りや消費者へ直接販売を行い、経営の多角化、高度化を図る。具体的には大麦若葉を主原料にべにふうき茶、桑の葉を微粉末化し、ブレンドしたスティック袋入りの青汁を、100%杵築産の商品として、付加価値を高め、更なる販路の拡大に取り組む。	農事組合法人きつき茶生産組合	—	—	大分県	杵築市	平成26年2月28日
271	自社生産した多肉植物の特徴を活かした新たな販売ルートの構築	自社生産した多肉植物の特徴(種類が豊富で日持ちが良い)を活かし、自社でホームページを開設してインターネット販売に取り組み、販路拡大を図る。このことにより経営の多角化、農業経営の安定化を目指す。	有限会社原田園芸	—	—	宮崎県	宮崎市	平成26年2月28日
272	自ら生産する高糖度の鉢植えマンゴーフルーツの加工品製造と販売事業	自ら生産したマンゴーフルーツを使用してドライフルーツ及びピューレ製品を製造する。既存取引先(卸売・個人客)を通じて顧客を開拓し、新たな販路を構築することによって、経営の安定化と所得の確保を図る。	中嶋 文子	—	—	宮崎県	宮崎市	平成26年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
273	自社栽培の椎茸を使用した加工食品の製造と販売事業	自社生産した原木椎茸の風味を活かした新商品(椎茸パウダー・椎茸ドレッシング等)を開発・製造し、既存の取引先(卸売業者)や関連会社のインターネットショップを活用した新たな販売ルートを構築することにより、農業経営の改善を図る。	株式会社 自然の都	—	—	宮崎県	都城市	平成26年2月28日
274	自社生産した食用「きじ」を利用した加工・販売事業	自社生産したきじ肉を加工した新商品(きじ肉焼き肉用・きじ炭火焼き等)を開発・製造し、付加価値を高めるとともに、自社でホームページを開設してインターネット販売を行い、販売量を拡大することにより、農業経営の改善を図る。	宮崎県雄生産事業合同会社	—	—	宮崎県	都城市	平成26年2月28日
275	宮崎県ブランド登録のみやざき地頭鶏を使用した加工食品の開発と販売事業の展開	自社生産するみやざき地頭鶏を素材として、鶏料理のサブメニュー(地鶏たたき、地鶏ガラスープ)を開発・製造し、既存の取引先(卸売業者)やインターネット販売の活用により新たな販売ルートを構築し、事業の多角化による経営の安定化を図る。	株式会社 地頭鶏ランド日南	—	—	宮崎県	日南市	平成26年2月28日
276	樹上で完熟したミニトマトを原料とする加工品の製造・販売事業	自ら生産する樹上で完熟したミニトマトを原料として、無添加・無着色の加工食品(ジャム、ケチャップ、ドライトマト、トマトソース)を開発製造する。また、ネットショップを開設し、新たな販路を開拓することで所得の向上を目指す。	小川 道博	—	—	宮崎県	小林市	平成26年2月28日
277	地域の特産品「さつまいも」を利用した新商品の開発・加工・販売事業	自ら生産するさつまいもを用いて、新含気包装による焼き芋を開発し、OEMIにより製造する。また、規格外品を利用してフライドスイートポテトを製造する。自社でホームページを開設してインターネット販売に取り組み、販路拡大を図る。このことにより経営の多角化、農業経営の改善を図る。	株式会社 くしまアオイファーム	—	—	宮崎県	串間市	平成26年2月28日
278	薪室仕上げした原木栽培の乾椎茸を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産・加工した乾椎茸の風味を生かしながら、そのまま調理することができる新商品(ペースト状・椎茸ステーキ等)を開発・製造するとともに、インターネット販売により新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化を図り、所得の向上と雇用の拡大を目指す。	邊木園 浩子	—	—	宮崎県	西諸県郡 高原町	平成26年2月28日
279	茶葉、大麦若葉の農作物を利用した乾燥粉末の加工・販売事業	自社生産の茶、大麦若葉を乾燥粉末にすることで、新たな商品の開発、製造を行い、農産物に付加価値をつけて既存の取引業者(食品製造会社)に販売し、農業経営の改善を目指す。さらには地域雇用の拡大を図る。	六車農園株式会社	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町	平成26年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
280	自家生産した「ゆず」と「かぼす」の果皮を利用した菓子の加工・販売	自ら生産したゆず、かぼすの果皮を利用したピールと、種なしゆずのシロップ漬けを製造する。既存の直売所や食品卸の販売ルートを活用するとともに、新たな食品卸会社への販路開拓を行い、農業経営の改善を目指す。	甲斐 正重	—	—	宮崎県	西臼杵郡日之影町	平成26年2月28日
281	自社養殖している地域ブランドのブリ(ぶり大将)やハマチを使った商品加工と販売事業	自社養殖している地域ブランドのブリ(ぶり大将)やハマチを原料として、新設する加工場において、フィレ・ロインの真空パック商品に加工し、販売する。また、薫製した塩ブリの製品化や残渣としていたブリの「あら」や「かま」を使った新商品の製造や販売も行い、収益の改善を図る。	有限会社森山水産	—	—	鹿児島県	垂水市	平成26年2月28日
282	玄米を利用したパン、玄米ペースト及び玄米ペースト麺の加工及び販売事業	新規需要米を活用した玄米ペーストを用いたパン及び麺の商品開発・製造と販路開拓(生協・学校給食・病院給食等)を図り、新規需要米の消費拡大のみならず、利活用増進、加工品の製造・販売による雇用創出と農業者の所得向上を図る。	株式会社熊本玄米研究所	—	—	熊本県	菊池郡大津町	平成26年3月3日(ファンド)
283	地元産野菜を中心とする加工食品(惣菜)の製造販売事業	百貨店や量販店、コンビニエンスストア等での販売を通じて得た顧客ニーズにマッチする新商品(ピーナッツもやしキムチ・緑豆もやしキムチ・大豆もやしキムチ)の開発・製造を行うとともに、出萌(株)の既存販売先への販路拡大および新たな販路拡大によって経営の高度化を図り、農業経営の発展を図る。	いずも食品加工株式会社	—	—	福岡県	糸島市	平成26年4月11日(ファンド)
284	鹿児島県における農畜産物の加工・販売事業	鹿児島県の地鶏である「黒さつま鶏」の生産・加工・販売の一貫体制を構築し、ブランド価値を向上させる。また、種鶏事業により地域農業者の発展にも貢献する。大都市圏への販路の開拓を図り、農業経営に付加価値をつけ、安定的な農業経営を行っていくことを目標とする。	株式会社カゴシマバンズ	—	—	鹿児島県	霧島市	平成26年4月11日(ファンド)
285	自社生産の野菜による業務用及び市販用カット野菜サラダの製造・販売事業	熊本県の生産者が青果卸会社と連携し、カット野菜・カット果物サラダ等の製造販売事業に進出することで、原材料の付加価値向上を目指す事業。	西日本フレッシュフーズ株式会社	—	—	熊本県	熊本市	平成26年5月9日(ファンド)
286	小松菜、ねぎ、ほうれん草を利用した商品の加工・販売事業	自社分と連携農家の小松菜、ねぎ、ほうれん草を100%原料とした、冷凍ほうれん草、冷凍小松菜、冷凍ねぎ、乾燥ねぎ、小松菜ペースト、ほうれん草ペースト、小松菜パウダー、ほうれん草パウダーをコープグループと連携して商品開発・製造をするとともに、既存の販売先に加え自社直売所やインターネット販売など青果物と加工品の新たな販売ルート構築により、経営の多角化を図り、所得の向上と雇用の拡大を図る。	株式会社アマノ園芸	—	—	佐賀県	唐津市	平成26年5月30日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
287	自家養蜂の蜂蜜を利用した、新商品の加工・販売事業	自ら生産した蜂蜜を用いて、蜂蜜チョコレート・蜂蜜ドライフルーツの開発、漬け込み蜂蜜(キンカン・梅・カリン)の製造を行い、既存の直営店と通信販売を行う。また、販売管理システムの再構築に取り組み、販路拡大と顧客管理を実現させ、所得の向上と雇用の拡大を図る。	株式会社 杉養蜂園	—	—	熊本県	熊本市	平成26年5月30日
288	黒毛和牛を利用した焼肉レストランと精肉加工品の販売事業	構成員が生産した牛肉・米・野菜(キャベツ・レタス・ジャガイモ等)を用いて、新たに精肉直売所を併設した焼肉レストランを開業し、焼肉用牛肉・サラダ・野菜煮物・ご飯などを提供する。また、ハンバーグ・肉団子・メンチカツを製造し提供することで、付加価値を高め、経営の多角化・高度化により農業経営の改善を図る。	株式会社 石井牧場	—	—	熊本県	菊池市	平成26年5月30日
289	熊本県産地鶏「天草大王」を原料とした生ハム、クールチキン、肉饅頭、地鶏鍋の開発・販売事業	自ら生産する天草大王(地鶏)を用いて、生ハム・クールチキン(蒸し鶏)・肉饅頭・地鶏鍋の開発を行い、現在の取引先である複数の卸売りに加え通信販売などの販路開拓を図る。これらの取り組みにより、経営の多角化、高度化を図り、付加価値を取り込む事によって経営の改善を図る。	あそ大王ファーム株式会社	—	—	熊本県	菊池郡 大津町	平成26年5月30日
290	害獣である猪の肉を使ったジビエ惣菜の商品開発・販売事業	天草地域の山林等で、害獣である猪を自ら捕獲し、新商品として猪肉を使った串、コロッケ、つくねを製造し、物産館やレストランなどへの卸売り販売を行うことにより経営の改善を図る。	宗政興産株式会社	—	—	熊本県	上天草市	平成26年5月30日
291	地域特産品の渋柿を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産した渋柿を利用し、自ら保有する乾燥機を活用して中間水分状態まで乾燥した菓子的干し柿を製造し、地元デパート・道の駅へ地域の特産品として販売することにより、経営の改善を図る。	大久保 政則	—	—	大分県	大分市	平成26年5月30日
292	組合員が漁獲・収穫した水産物を利用した新商品の開発・販売事業	組合員が漁獲・収穫した、水産物(宮崎カンパチ・ビンチョウマグロ・カツオ等)を用いた新たな水産加工品(ブロック・フィレ加工、コロッケ・カツ・炭火焼き等)の開発・委託製造を行うとともに新たな販売ルートの構築(直売所・インターネット販売)により組合員の所得向上、漁村における雇用の創出と地域活性化を図る。	宮崎県漁業協同組合 連合会	—	—	宮崎県	宮崎市	平成26年5月30日
293	新しい貯蔵技術を活用した日向夏を含む柑橘類のインターネット販売による販路拡大事業	自ら生産した日向夏・ポンカンを新たにインターネット販売することにより販路を拡大し、農業経営における経営の安定と所得向上に繋げる。さらに新しい貯蔵技術を活用して日向夏の販売時期を遅らせることにより高付加価値化を図る。	外山 修	—	—	宮崎県	日南市	平成26年5月30日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
294	赤しそ、高菜、ネギを利用した加工品の製造・販売事業	自社で生産した赤しそを使用した赤しそ(もみしそ)、赤しそジュース・赤しそ色素抽出液、赤しその裏作として栽培するネギ・高菜を使用し、ネギのカット野菜、高菜の浅漬けを製造する。新商品は、卸売り・インターネット販売を行い、販路拡大を図る。これらの取組により農業経営の安定化と売上収益確保を図る。	株式会社 南風ベジファーム	—	—	鹿児島県	南さつま市	平成26年5月30日
295	自家生産した金柑を活用した、金柑ジャム・金柑飴の加工・直接販売事業	自ら生産する金柑の規格外品を用いて、「金柑ジャム」、「金柑飴」の加工品を開発し、近隣の道の駅・空港・駅・インターネット等で販売を行う。これらの取組により収益向上を図る。	板敷 淳	—	—	鹿児島県	南さつま市	平成26年5月30日
296	鹿児島県産甘藷を利用した「干し芋」の製造と販売事業	農協組合員の生産した甘藷を原料に、従来の天日干しによらない特殊製法(低温加熱蒸気減圧乾燥機による食品加工)で「干し芋」を製造・卸販売することで販売額の向上と生産量の拡大を図り、組合員である生産者の所得向上をめざす。	あおぞら農業協同組合	—	—	鹿児島県	志布志市	平成26年5月30日
297	自家産生乳と農産物を混ぜ込んだジェラート製造及び販売事業	自社産生乳を用いてジェラート(ミルク、抹茶、苺、チョコ)を自社加工施設にて製造する。新商品については、従来の取引先グループの病院や飲食店等への卸販売、カタログを活用した通信販売を行うとともに、移動販売車を活用して、各種イベントや観光地等において直接販売を行う。 このことにより、経営の多角化及び高度化を図り、酪農経営に付加価値を付け、所得の向上と雇用の拡大及び経営の安定を図る。 この事業は、地元商工会、地域生産者及び観光事業者等と連携し、各地で開催されるイベントや観光地等に参加することにより、地域活性化等を促す計画。	株式会社 塚島ファーム	—	—	佐賀県	鹿島市	平成26年10月31日
298	ながさき伝統野菜である「木引かぶ」を利用した商品加工及び販売事業	組合員が生産する「木引かぶ」を使用し「木引かぶ丸ごと漬」、「木引かぶ刻み漬」、「木引かぶドレッシング」を開発・製造する。新商品の販売については、百貨店での催事やマルシェでの対面販売を通じて新たな販売ルートを開拓し組合員の所得向上及び当組合の経営安定化を図る。	農事組合法人 ひらど新鮮市場	—	—	長崎県	平戸市	平成26年10月31日
299	真鯛頭部、ハマチ頭部およびとらふぐの加工販売事業	自ら養殖したハマチ、真鯛の頭部及びとらふぐを使い、焼き真鯛かぶと(煮つけ用素材)、ハマチ頭(サイコロカット)(煮つけ用素材)、真鯛かぶと煮(惣菜商品)、鍋用とらふぐ切身を商品開発、製造するとともに、商社や卸問屋の新たな販売ルートを構築することにより、経営の多角化を図り所得の向上と雇用の拡大を図る。 この事業は、販売先から新商品の要望を受け、飼料にしていた魚の頭部を加工活用し、付加価値を付ける計画。	有限会社 新海養魚	—	—	長崎県	五島市	平成26年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
300	桃太郎トマト・ミニトマトを利用した高付加価値のある商品の加工・販売事業	自ら生産したトマトを用いて、桃太郎トマトのケチャップ・桃太郎トマトのコンフィチュール・ミニトマトのコンポート・桃太郎トマトのドライトマトの製造を行う。新商品の販売は、スーパーや百貨店など青果と既存加工品（トマトジュース・トマトピューレ）の販売先に加え、マルシェや商談会に参加し新たな販路開拓を行う。また、地元飲食店・旅館に食材として販売を行う。この取組により、経営の多角化や新たな雇用の拡大を図る。 この事業は、廃棄している規格外品を加工活用することで、課題であった夏場の収入を確保する計画。	有限会社 蘇鉄園芸	—	—	熊本県	玉名市	平成26年10月31日
301	地域資源である林地を活用して栽培した「畑わさび」を使った、新商品の加工・販売事業	自社生産と連携先の「畑わさびを」利用し、茎・根の塩漬け、葉わさびマヨネーズ、葉わさび海苔、葉わさびドレッシングの新商品を開発する。業務提携先の流通・販売ネットワークを活用して販路開拓を行うことにより経営の安定と雇用の拡大を図る。 この事業は、わさびの需要が拡大しているなか、大量に廃棄されていた葉わさびを有効活用し、ひいては日田地方のわさびのブランド化を図っていく計画。	株式会社 つえエービー	—	—	大分県	日田市	平成26年10月31日
302	養殖するトラフグを活用した身欠フグ、フグ鍋セット、フグ一夜干し、干しヒレの開発・販売事業	自ら養殖するトラフグを利用し、身欠フグ、フグ鍋セット、フグ一夜干し、干しヒレの新商品の製造を行う。道の駅などを通じたギフト通販、行政機関などの職域販売及びネット通販を行うことにより、経営の改善を図る。 この事業は、トラフグ活魚の市場価格が下落し収益が見込まれないため、付加価値が高く、取引価格が安定している身欠フグ等の加工に取り組む計画。	有限会社 エイコー水産	—	—	大分県	佐伯市	平成26年10月31日
303	自ら生産する茶葉を活用したGABA茶、ブレンド緑茶、緑茶ペーストの開発・販売事業	自ら生産する緑茶のうち二番茶を用いてGABA茶、カボスやユズの葉を配合したブレンド緑茶、緑茶ペーストの商品開発・製造を行い、スーパーなど既存商品の販路を活用するほか、道の駅など土産品販売ルート及び菓子加工業者への直接販売などの販路開拓を図る。これらの取組により、経営の多角化を図る。 この事業は、毎年売れ残り安価な処分販売を行っていた二番茶を活用した、付加価値の高い新商品を開発する計画。	株式会社 高橋製茶	—	—	大分県	臼杵市	平成26年10月31日
304	自ら栽培した有機蕎麦を利用した加工品の開発・販売事業	自ら栽培する有機蕎麦を利用し、自社製粉した有機蕎麦粉、有機蕎麦の実の製造を行い、既存の販売先である製麺所に加え、道の駅や空港での店頭販売及びネット通販で販路開拓を図ること、経営の多角化により農業経営の改善を図る。 この事業は、玄蕎麦の単価的な限界があり収益が見込まれないため、有機栽培を活かし、需要が年々高まっている国産有機蕎麦粉を自社ブランドとして販売する計画。	農事組合法人ゆふい ん蕎麦農場	—	—	大分県	由布市	平成26年10月31日
305	自ら生産する赤クローバーの花を使用したブレンド茶の加工品製造と販売事業	自らが生産した赤クローバーの花、桑の葉、シモンの茎葉、ブドウを使用したブレンド茶を製造し、宮崎県物産館やJA宮崎中央への卸売、個人客への通信直売を行う。この取組によって経営の多角化・高度化し、経営の安定と売上収益の確保と地域における雇用創出を図り、地域の発展に貢献する。 この事業は、地域の牽引役としての役割を果たすため、どこにもないオンリーワンの商品開発と販売を行い、地域を活性化する計画。	長友 良夫	—	—	宮崎県	宮崎市	平成26年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
306	三股町の特産品プロジェクトと連携した「みまたんごま」の商品化と加工・販売事業	自社で生産するごまを活用して「洗い生ごま」「煎りごま」「すりごま」を製造する。「みまたんごま」の統一ロゴマークをパッケージに利用し差別化を図り、物産館や商工会のアンテナショップでの直売をはじめ、町内食品加工業者・飲食店への卸売に取組むことにより、農業経営の改善を図る。 この事業は、生産者団体を中心に、町・商工会などとプロジェクト委員会を設立し、「ごま」の特産品化を目指す町全体を活性化する計画。	株式会社しも農園	—	—	宮崎県	北諸県郡三股町	平成26年10月31日
307	自社の自然生態系農業で生産した農産物を用いた加工品の製造・販売事業	自社で生産した米・野菜・大豆、大麦を用いて「ピューレ」「焦がれおにぎり」、「惣菜」、「ネギ味噌」を製造し、視察や体験農園で来られた顧客に販売するとともに、インターネット販売、飲食店、スーパーと連携して需要を拡大していく。これらの取組みにより、農業所得の向上と雇用の拡大を図る。 この事業は、「収穫したものを自然の中で楽しみたい。商品をネットで購入したい」という多くの来場者から要望があがっていることに対応するための計画。	有限会社シードカルチャー	—	—	宮崎県	東諸県郡綾町	平成26年10月31日
308	日向地域の特産品であるへべすを使った「生へべす搾り」「へべす果皮ペースト」の加工・販売事業	自ら生産するへべすの特徴を活かし、「生へべす搾り」「へべす果皮ペースト」を商品開発、委託加工し、直売所やインターネット販売、卸売を行う。へべすの良さを全国へ発信し、需要拡大と収益の増大、地域の活性化を目指す。 この事業は、へべすの栽培地域が限られ生産量が少なく、他香酸柑橘類に押され販売量が伸びないことから新商品を開発する計画。	成合 利浩	—	—	宮崎県	日向市	平成26年10月31日
309	『ラーメン専用きくらげ』の生産、加工及び販売事業	自社で生産した生きくらげをスライス加工し、味付けをして真空パックにした『ラーメン専用きくらげ』を製造する。販売については、ラーメン具材等の卸売業者を中心に新たな販売ルートを構築する。これらの取組により、経営の多角化・高度化を計り、経営の改善・向上を目指す。 この事業は、特定の業界に特化して、加工販売を実施することで差別化を図り、収益性の高い商品の販売となると考えての計画。	株式会社南国きのこ苑	—	—	鹿児島県	大島郡和泊町	平成26年10月31日
310	オリーブとハーブの葉を利用した新商品の加工・販売事業	自ら生産したオリーブとハーブの葉を用いて、ハーブエキスを配合オリーブ石鹸・ハーブ蒸留化粧水の開発、ハーブリーフパウダー・ハーブスパイス&ソルト・ハーブアロマオイル・ハーブエキス入りアロマキャンドルの製造を行う。新商品の販売は、自社店舗やインターネットでの販売に加え、連携先への販売や商談会に参加し新たな販路開拓を行う。この取組により、収益の向上と耕作放棄地の利用、雇用拡大を図る。 この事業は、オリーブの苗木植付けから成木出荷までの販売回転率が悪く、実の収穫までには数年掛かり、その間の収益が見込めないため、単年度で収穫・収益が見込めるオリーブとハーブの葉を活用する計画。	ブランツギフト株式会社	—	—	熊本県	熊本市	平成26年12月5日
311	畜産加工販売事業(牛肉)	鹿児島県の和牛肥育農家が、地元生産牛肉としてのブランド化を図り、精肉販売に加え、熟成肉の加工販売を展開することで、原材料の付加価値向上と販路の拡大を目指す事業。	株式会社さつま福永牧場	—	—	鹿児島県	薩摩郡さつま町	平成27年1月14日(ファンド)

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
312	能古島産の純粋で高品質なはちみつと地域の農産物(果樹・野菜類)を活かした加工品等の製造・販売事業	福岡県の養蜂農家が、はちみつ加工品の製造販売を行うとともに、パートナーの販路や営業ノウハウ等を活用し、はちみつ製品の新たな販路を開拓することによって、福岡産はちみつ及び農産物の不可価値向上と販路拡大を目指す事業。	株式会社 ヴァンペールフーズ	—	—	福岡県	福岡市	平成27年2月9日 (ファンド)
313	馬油・馬プラセンタと地元の農産物を使った健康食品・化粧品原料加工・販売	熊本県の農業者が、自ら生産した大豆、馬油、プラセンタエキスを原材料とした健康食品や化粧品原料を製造・販売して原材料の不可価値向上及び販路拡大を目指す事業。	創成株式会社	—	—	熊本県	上益城郡 御船町	平成27年2月9日 (ファンド)
314	佐賀県産アスパラガスの未利用品を活用した商品の加工・販売事業	アスパラガス生産農家組合員が、これまで廃棄していたアスパラガスの未利用品を使い、付加価値を付けた菓子、スープ及び調味料を商品開発し、各商品のコンセプトにより性別・年齢層に応じた販路構築することで農家組合員の所得向上に繋げる。 また、需要・販路開拓については、JAグループの全組織(Aコープ、直売所、JAタウン等)により試験販売を実施するとともに各種商談会及びフードEXPO等へ出展し販路開拓を行う。	佐賀県農業協同組合	—	—	佐賀県	佐賀市	平成27年2月27日
315	福祉農園で収穫したアスパラガスを使用した加工食品の開発製造・販売事業	福祉農園で新たに生産するアスパラガスの規格外を用いてピューレの開発・製造し既存の店舗とグループ企業が構築する通信サイトと自店舗で販売を行っていく。 この事業は、耕作放棄地を復旧し、農業経営に付加価値を取り込み経営の改善を図る計画。	特定非営利活動法人 障害者就労支援センター	—	—	長崎県	長崎市	平成27年2月27日
316	新品種の味美(みよし)を利用した加工・販売事業	自ら生産している香酸柑橘類の味美(みよし)を使用し、味美しぼり(青、じゅく)、味美ポン酢、味美塩レモンの新たな加工食品の開発・製造を進め、卸販売及びインターネットによる直売を行う。 味美(みよし)は新品種であり、他の香酸柑橘類に比べ果皮が薄く滑らかで風味に優れた特性を有することに着目し、生産を開始した。 また、メディア取材や市場関係者への贈答や試食により、消費者や市場での青果の品質が認められたことから、本事業により農業経営の生産性と付加価値を高めて農業経営の改善を図る。	川久保 三好	—	—	長崎県	佐世保市	平成27年2月27日
317	「真ダコ」を利用した商品加工及び販売事業	自ら漁獲した真ダコを使用し、真ダコのボイル洋風味(グリーンオイル)、真ダコのボイル和風味(醤油)、真ダコのボイルタコの商品開発・製造をするとともに、既存の販売先に加え新たな販売ルートを開拓することによって経営の多角化を図る。 既に加工所「めぐみ屋」を開設し、自ら漁獲した魚類に付加価値を付けた商品開発に取組み始めたところであり、本事業に取組むことにより更なる経営安定化を図る。また、平戸市と連携し販路拡大を一層強化する。	田中 良路	—	—	長崎県	平戸市	平成27年2月27日
318	松浦市の特産品である養殖トラフグを活用した加工品の開発と販売事業	自社の養殖トラフグを用いて、身欠き加工品、トラフグセット、刺身、なべセット、唐揚げの新商品を開発し、製造については委託加工先の漁協水産加工工場にて行う。 販売は、卸販売及び自社による飲食店への訪問販売営業による直売を行う。 本事業により加工と販売ルートの開拓を行い、経営の付加価値を高め、経営改善を図る。	内野水産株式会社	—	—	長崎県	松浦市	平成27年2月27日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
319	イチゴを利用した商品の委託加工・販売事業	自ら生産するイチゴの優良品の付加価値を高めるため、B品（下位階級）を用いてイチゴのドライフルーツの新商品を開発する。 加工は委託加工であるが息子と他の生産者と販売先のホテルで設立する加工場で行うことにより、新たな販売ルートを構築し農業経営に付加価値を付け経営の改善を図る。	栗原 二雄	—	—	長崎県	南島原市	平成27年2月27日
320	離島における養殖魚「ブリ・ヒラマサ・クロマグロ」を利用した加工・販売事業	自社で養殖するブリ、ヒラマサ、クロマグロを用いて、ブリ、ヒラマサ「フィーレ」加工品及びクロマグロブロック商品を開発・生産することで、輸出を含む新たな販売ルートを構築するとともに、品質面では「秋ぶり」ブランドによる差別化を行い、相場の影響を受けにくい経営を目指す。 本事業により、本土にHACCP認定工場を建設することで不利要素であった離島からの流通の改善と、高い衛生基準での加工、養殖魚の安全性を担保する。また、輸出部門を中心とする販売会社とのネットワークを構築し輸出による売上の増加を図る。	有限会社橋口水産	—	—	長崎県	南松浦郡新上五島町	平成27年2月27日
321	黒毛和牛を利用した焼肉店及び精肉販売事業	構成員が生産した牛肉や米を使って、焼肉店において新商品の焼肉やライスを提供するとともに、牛肉を精肉加工して直売することで6次産業化による付加価値を付けて経営の多角化による所得の向上と雇用の拡大を図る。 この事業は、市場相場や枝肉相場の価格低迷により不安定な経営状況であることから、市場環境に左右されない経営を行うため、付加価値を付けて経営の多角化を目指す計画。	株式会社グローバルワークス・サイトウ	—	—	熊本県	菊池郡大津町	平成27年2月27日 (ファンド)
322	八代地域で生産されたトマトを利用した新たな商品の加工・販売事業	自社及び連携事業者の生産した完熟トマトを用いてデミグラスソース・トマトケチャップ・トマト鍋の素を商品開発・製造するとともに、新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化及び高度化を図り、農業経営の改善を目指す。 この取組は地域で課題となっている廃棄している流通規格外品の有効利用を図ることと、併せて地元高校の商業関連ホームページに商品を出展し地元の農産物や農産物加工品をPRすることで、地域活性化に繋がる計画である。	株式会社和みフーズ	—	—	熊本県	八代市	平成27年2月27日
323	自家製ブランド豚「錦雲豚」を使ったレストランおよび肉加工品の製造・販売事業	自社で生産するブランド豚「錦雲豚」を利用した料理を提供する直営レストランを開店する。また「錦雲豚」を原料とした「中華まき」「中華まん」「カツサンド」「餃子」「焼売」「ポークジャーキー」「豚角煮」を製造し、レストラン内の直売所で販売を行う。 この事業は、レストランと直売所を「錦雲豚」のアンテナショップとして消費者への認知度アップを図り、高級ブランド「錦雲豚」の販路拡大とブランド力強化を図る計画。	有限会社福田農園	—	—	大分県	中津市	平成27年2月27日
324	自社で生産する大根・高菜を使用した漬物の加工製造と販売事業	自社で生産する大根と高菜を使用し、漬物原料用の塩漬け加工品の製造を行い、漬物メーカーや惣菜メーカーへ販売する。 この事業は、漬物素材の野菜栽培とその加工処理を自ら行うことにより付加価値を付けるとともに、冷凍施設による年間通期での安定出荷により、長期的・計画的な収益確保による経営改善を図る計画。	有限会社九州農園	—	—	大分県	竹田市	平成27年2月27日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
325	自ら生産する米・麦・高菜を原料とした加工食品の製造・販売事業	自ら生産する米・麦・高菜を使用し、米粉・大麦粉を原料とした「米粉麺」「大麦麺」「米粉食パン」「パン粉(米粉原料)」「米粉甘酒」「ロールケーキ」を、また、高菜を原料とした「高菜漬け」をそれぞれ委託製造し、インターネット販売や契約店において販売する。 この事業は、自ら生産する米・麦・高菜を利用した高付加価値商品を開発・製造・販売することにより、農業経営の収益構造改善と経営の安定化を図る計画。	末松 昭次	—	—	大分県	宇佐市	平成27年2月27日
326	自社で生産するトマトを利用した加工品の製造販売事業	自社において、有機資材を使って生産するトマトの規格外品および生産過剰分を利用した「トマトジャム」「トマトケチャップ」を製造し、自社の直売所のほか量販店において販売する。 この事業は、規格外品や生産過剰分を有効利用した加工品を製造・販売することにより、収益の向上と農業経営の安定化を図る計画。	有限会社大分の空634	—	—	大分県	国東市	平成27年2月27日
327	牛ふん堆肥を主原料とした「袋詰め混合堆肥」の製造及び広域販売事業	石山肉牛組合の生産する完熟牛ふん堆肥を主原料として、豚ふん堆肥、鶏ふん堆肥を調達し、「袋詰め混合堆肥」を開発・製造・卸売を行う。卸売先はホームセンターを中心に堆肥販売を行っているが、新たな販売網(関東・関西地域、沖縄離島)を開拓する。このことにより、販売の拡大、所得向上による農家経営の安定化・雇用の拡大を図る。 この事業は、畜産農家が副産物である牛ふんを堆肥として商品化し販売することによって、地域における資源循環型産地形成を図る取組である。	農事組合法人石山肉牛組合	—	—	宮崎県	都城市	平成27年2月27日
328	鉢物及び苗物のフラワーデザイン商品の直接販売	既存のハウスに隣接した直売所を設置する。直売所の一部において、自ら生産した花きを使ってフラワーハンギングバスケット、フラワーリースなどのフラワーデザインの実演を行う。ガーデニング愛好者を確保し、商品の販売促進を行うとともに、集客率の高い近隣の直売所に委託販売を行い、所得の向上と雇用の拡大を図る。 この事業は、新たな販売の方式を導入し、観光地という立地を活用して集客を図るという地域を活性化する取組である。	澁田 信英	—	—	宮崎県	小林市	平成27年2月27日
329	自社山林を使った樹種別の高品質の白炭、黒炭の製造及び販売事業	自社所有の山林から切り出した未活用広葉樹を使って、高品質の白炭、黒炭を開発製造する。また、長期保存可能な商品を製造し他商品との差別化を図り、全国販売を展開している会社へ卸売販売を行う。さらにグループ会社である観光会社と連携し、炭焼き体験ツアーを企画して参加者への直接販売や自社ホームページを活用したインターネット販売を行い、林業経営の多角化と安定化を図る。 この事業は、林業経営の改善を図るとともに、広葉樹を活用し将来に向けその素材生産の為に植林・育林を行うことによって、国産の木炭供給不足を解消するための取組である。	有限会社九州治産	—	—	宮崎県	西都市	平成27年2月27日
330	地域特産品の大根を利用した新商品の開発と販路拡大	自社で生産した大根を素材とした「千切り大根袋詰めパック」を加工施設にて製造する。また、「切り干し大根みそ汁」を商品開発・委託製造し、これらの商品について、卸売、インターネット販売、県内直売所での委託販売を行い、農業所得の向上と地域の雇用拡大を図る。 この事業は、地域の特産品である「千切り大根」を活用して、地域のリーダーとなり地域農業経営の多角化を図り、高齢化の進む地域を活性化させるための取組である。	株式会社三輪	—	—	宮崎県	東諸県郡国富町	平成27年2月27日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
331	自社生産したサンルージュと、有機栽培による茶葉を使用した商品の加工販売事業	自社生産したサンルージュ茶及び有機栽培による蒸しぐり茶、紅茶の商品開発、製造を行い農産物に高付加価値を付け販売する。 販売先は既存の国内外の卸売業者、直売所、自社のホームページを中心に行うが、新たな国内外の販路拡大を目指して農業経営における所得の向上・地域雇用の拡大を図る。 この事業は新しい茶品種の導入や新しい製法でお茶を製品化することによって、緑茶離れが進み消費も低下傾向にあるお茶の市場を活性化するための取組である。	株式会社太地園	—	—	宮崎県	児湯郡川南町	平成27年2月27日
332	イチゴを利用した加工品の製造と観光農園開設による販売事業	自ら生産したイチゴを利用し、イチゴソフトクリーム、イチゴピューレを製造する。イチゴソフトクリームは移動販売車を導入して観光農園や各種イベントでの直接販売を行う。イチゴピューレは取引先であるケーキ店からの要望があり、業務用のほかインターネットでの販売を行う。また、観光農園に対する要望が増えてきていることから、ハウスの一部をイチゴ狩り観光農園として開放し直接販売する。 この事業は、これらの取り組みを行うことにより、経営の多角化と所得の向上、雇用の拡大を図る計画である。	川原 博之	—	—	宮崎県	延岡市	平成27年2月27日
333	世界自然遺産の屋久島近海で獲れたトビウオを利用した加工商品の販売事業	自ら漁獲したトビウオを利用し、トビウオのつきあげ、燻製、漬丼、オイル漬けを商品開発・製造するとともに、島内での自店飲食及び直売、委託販売、ネット販売を行う。 本事業により、トビウオの塩干・すりみの冷凍加工販売を行っている島内の他業者との差別化を図り、経営の多角化、漁業経営の向上を図る。	箕作 秀吉	—	—	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	平成27年2月27日
334	あかね土鶏を使用した鶏すき、鶏水炊き、鶏しゃぶの提供を主体とした飲食店事業	福岡県の養鶏農家が、原材料にこだわる飲食店に対する消費者ニーズが高まる中、自ら生産した鶏卵、鶏肉を活用した外食事業を展開することにより、原材料の不可価値向上と販路拡大を目指す事業。	株式会社 タケノフードサービス	—	—	福岡県	福岡市	平成27年2月27日 (ファンド)
335	自社グループで生産する牛肉・馬肉を提供する焼肉店の経営	熊本県の畜産業者が、地産地消や良質な食材へのニーズの高まりを背景に、自ら生産したブランド牛肉や馬肉を用いた特色ある外食事業に進出することで、ブランド力向上を図り、販売拡大、地元農業の振興を目指す事業。	株式会社 ファームクリエイト	—	—	熊本県	菊池郡菊陽町	平成27年2月27日 (ファンド)
336	五島つばき茶に香りを付けたフレーバータイプの新商品開発と販売事業	自ら生産した茶を原料とする商品「五島つばき茶」にピーチ、ブルーベリーのドライフーズしたものをコーティング加工し、フレーバータイプの新商品開発生産により売上向上を図る。 この事業は、「五島つばき茶」が高機能性を有する発酵茶であることから、女性や中性脂肪を気にする中高年世代をターゲットに販売を展開して行く計画である。 なお、機能性を表示し販売する為に製法特許を持つ関係機関と協議の上、機能性表示申請を行う予定である。	農事組合法人 ごとう茶生産組合	—	—	長崎県	五島市	平成27年5月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
337	自社栽培したブロッコリーを利用した乾燥・粉末及びソースの加工・販売事業	自社で生産した市場に出荷できない生育が不完全なブロッコリーを原料として「乾燥ブロッコリー」「粉末ブロッコリー」「ブロッコリーソース」を熊本県産業技術センターの協力で商品開発のうえ委託製造し、道の駅における直売及び卸売販売を行う。 この事業は、今まで廃棄していたブロッコリーを原料として付加価値の高い商品に変換することで経営の多角化、所得の向上を図り、農業経営の安定化を目指すものである。	宮崎農園有限会社	—	—	熊本県	宇城市	平成27年5月29日
338	養殖トラフグの身欠きと皮・アラ・ヒレを使った加工品及び養殖ワカメの茎・メカブを使った加工品の製造・販売事業	自社で養殖するトラフグ及びワカメを使用して、トラフグ身欠き、トラフグ皮湯引き、トラフグアラ唐揚げ、ヒレ酒用フグひれ及び茎ワカメの佃煮、ボイルメカブを製造する。 なお、ヒレ酒用フグひれ及び茎ワカメの佃煮以外は、より付加価値を高めるため急速冷凍機を導入して製造する。 販売は、地元・観光客をターゲットに直売所での販売を行うとともに、インターネットを活用し販売することで、販路開拓を図り、水産経営の改善を目指す。 この事業は、保存や二次加工に優れているトラフグ身欠き及びボイルメカブに対する加工業者からの需要があったことをきっかけに取り組む事業である。	株式会社マルマサ浜田鮮魚	—	—	熊本県	上天草市	平成27年5月29日
339	自社生産の車えびを利用したキャス冷凍機による冷凍瞬間真空パック車えびの加工・販売および車えび専門店での車えび料理販売事業	自社で養殖した車えびを利用し「冷凍瞬間真空パック車えび」を製造・販売するとともに、スーパーへの卸売りや協力店における委託販売を行う。 また、沖縄県内に車えび専門店を開設し、車えび天丼、車えび定食、車えび海鮮丼を提供するとともに、直売コーナーにおいて観光客や地域住民、飲食業者をターゲットとした販売を行う。 この事業を行うことにより、経営の多角化・高度化を図り、養殖業経営に付加価値を取り組むことで、経営の改善を図る。	株式会社グローリージャパン	—	—	鹿児島県	奄美市	平成27年5月29日
340	自社牧場の黒毛和牛を使用した牛肉の加工・販売事業	自社で飼養する繁殖牛のうち、不妊牛や繁殖に適さない牛に独自にブレンドした飼料を給餌して肥育を行い、食肉用に精肉加工して消費者に直接販売することで、付加価値を高め、所得の向上と雇用の拡大を図る。 この取組により、市場出荷しても安価となる不妊牛や繁殖に適さない牛を繁殖農家自らが肥育し、収益性の高い精肉の加工・販売までを行うことで、畜産経営に付加価値を取り込み、経営の多角化・安定化を目指す。	有限会社ビッグファーム	—	—	宮崎県	児湯郡都農町	平成27年9月30日
341	イチゴの観光農園開設と、イチゴの新商品開発・製造・販売事業	自ら生産するイチゴを用いて観光農園を開設するとともに、イチゴドライフルーツ、イチゴゼリー菓子、イチゴビュレの商品開発・製造を行う。観光農園の一部は車いすの方でも摘み取りができるようにバリアフリー化を行い、新商品は道の駅など既存の販路を活用するほか、新たにインターネット販売も行う。 この取組により、農業経営の多角化を図り、所得を向上させるとともに、観光客の誘致による地域の活性化を目指す。	橋口 昭太郎	—	—	宮崎県	日向市	平成27年9月30日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
342	種子・種苗の加工製造販売事業	福岡県の種苗生産者が、地域の生産者と連携して、野菜の販売種子を国内にて生産し、国産の種子を求める事業者等への販売事業に進出することで、原材料の付加価値向上と地域農業の活性化を目指す事業。	西日本タネセンター株式会社	—	—	福岡県	福岡市	平成27年11月9日 (ファンド)
343	長崎県五島における、クエ・ホシガレイ養殖及び加工事業	長崎県の漁業者団体及びその組合員の漁業者がクエやホシガレイを始めとした五島産水産物の販売、加工品の製造・販売を行うことにより、地域産品のブランド化を図るとともに、水産物の付加価値向上を目指す事業。	株式会社五島ライブカンパニー	—	—	長崎県	五島市	平成27年11月9日 (ファンド)
344	貯蔵技術を活用した日向夏のインターネット販売と日向夏加工品の販売事業	自から生産する日向夏を使用したジュース、グロッセ、マーマレードの商品開発・委託加工を行う。新商品の販売は、港の駅などの直売所やインターネットで販売する。また、日向夏生果は、貯蔵技術を活用し販売時期を遅らせることによって有利な時期に販売を行う。 この取り組みによって、農業経営に付加価値を高め、所得の向上と経営改善を図る。	倉元 陽造	—	—	宮崎県	日南市	平成27年11月30日
345	自社グループ・地域(南九州)畜産農家で生産された牛肉を提供する多様な外食業態の経営	鹿児島県を中心とする南九州の畜産事業者が、パートナーである商社、飼料製造会社、食品製造会社等のノウハウを活用して、エサ作りから繁殖、肥育まで一貫生産した黒毛和牛等を提供する外食事業等を拡大し、牛肉をはじめとした地域の農畜産物の付加価値向上を図りつつ、持続・発展可能な畜産経営の構築を目指す事業。	株式会社 ピースマイルプロジェクト	—	—	鹿児島県	鹿児島市	平成27年12月3日 (ファンド)
346	こんにゃく芋を使用した手作り加工食品の製造、販売事業	自ら及び地域の生産者が生産している「こんにゃく芋」を原料として「手作りこんにゃく」「蒸しこんにゃく」を製造・販売する。製造するこんにゃくについては、柔らかい食感が特徴の「黒木の手作りこんにゃく」として、地元の直売所「よってみゅうか えびねの郷」に加え、周辺地域の直売所でも販売する。 この取組により、地域への来訪者を増加させ地域活性化を図ると共に、自らの農業経営の改善を図る。	栗山 秋義	—	—	長崎県	大村市	平成27年12月28日
347	阿蘇地域の農畜産物を活用するオーベルジュ事業及び通販事業	熊本県の米・野菜生産者が、自らの生産物を活用した高級オーベルジュを運営し、宿泊者に対して地域の農畜産物の料理を提供するとともに、一般消費者に対し加工品等の通信販売をすることで、農畜産物の付加価値向上と地域の活性化を目指す事業。	株式会社プログレア	—	—	熊本県	阿蘇市	平成28年1月14日 (ファンド)
348	イチゴといちじく及び地元農産物を活用したスイーツ・ピザの製造・販売事業	自社生産のイチゴ・いちじく及び地元産の野菜・鶏卵を活用したスイーツ・ピザを製造する。冬期は観光農園にイチゴ狩りに来園されるお客様に対し販売し、夏場の閑散期には、新規顧客開拓と販売で売上の拡大、収益性の向上を目指す。 また、加工用として冬イチゴの他に新たに夏イチゴの栽培にも取り組み周年をとおし加工用イチゴの生産を確保する。	株式会社 ちくしの農園	—	—	福岡県	筑紫野市	平成28年1月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
349	自家配合飼料で飼育する肉豚を、自社ブランド豚肉として商品化する加工製造とその商品の販売事業	自社で生産した「肉豚」を原料として「枝肉」「精肉」「精肉加工品」を委託製造し販売する。製造する商品については、「大村 日岳豚(おおむら ひだけぶた)」のブランド名で販売し、「枝肉」は地元の食品製造業者へ卸売、「精肉」「精肉加工品」については地元のスーパー及び直売所で直売を行う。 この取り組みにより増収増益を図り経営改善を進めるとともに、雇用の拡大を図る。	株式会社 上野養豚	—	—	長崎県	大村市	平成28年1月29日
350	米・もち米・野菜を原材料とした米粉・もち・漬物の製造・販売事業	自ら生産する米、もち米、キュウリ、ダイコンを原材料として「米粉」「もち」「キュウリのぬか漬」「たくあん」の製造を行い、大手スーパーへ販売する。 本事業は、自ら生産する米・もち米・キュウリ・ダイコンを利用した高付加価値商品を開発・製造・販売することにより、農業経営の収益構造改善と経営の安定化を図るとともに、農産物の販売先であるスーパーで手作り加工品の販売が好調であることを踏まえ、消費者のニーズを捉え需要を開拓する計画。	株式会社 安心院米穀店	—	—	大分県	宇佐市	平成28年1月29日
351	ティーバッグ専用茶の開発・加工販売事業	自社及び地域生産農家で生産している茶葉を原料とし、1次加工の段階でティーバッグ専用茶の製造を可能とする新ラインを開発するとともに、契約先に卸す商品を現在の「荒茶」から「ティーバッグ専用茶」にすることで収益性の向上を目指す。 この事業を行うことで、加工施設の整備により加工時間の短縮、コスト削減はもとより、環境へ配慮した衛生的な施設運営が可能となる。	株式会社 濱野製茶	—	—	熊本県	球磨郡 相良村	平成28年2月29日
352	自然循環農法で栽培した野菜、米、小麦、大豆、とうもろこしを使った加工品の製造・直接販売事業	出資者が栽培方法にこだわって生産した野菜、米、小麦、大豆、とうもろこしを活用した米粉、小麦粉、きな粉、とうもろこし粉、味噌および饅頭、漬物を製造し、直売所および宅配により消費者に直接販売を行う。 この事業は、高付加価値商品を製造・販売することにより、売上の拡大、収益性の向上を図る。 また、地域の農家を新たに出資者として参画させることにより、地域農家の所得の向上と地産地消の拡大を目指す計画。	株式会社 むかし野菜の邑	—	—	大分県	大分市	平成28年2月29日
353	自ら養殖したクロマグロの加工・販売事業	自社で養殖するクロマグロのブロック加工を行い、鮮魚卸等に卸売販売する。 この事業は、自社原料、産地加工の強みを生かし、冷凍品ではなく、生鮮状態で流通できる体制を整えることにより、年間を通じた安定供給を行うことで需要開拓と販路確立を図る計画。	西南水産 株式会社	—	—	大分県	佐伯市	平成28年2月29日
354	甘藷、トウモロコシを利用した商品の加工・販売事業	自社で生産した甘藷、トウモロコシを用いて、冷凍焼き芋、冷凍蒸しトウモロコシを開発製造する。製造する商品については、東京のスーパーへの卸売を中心に直売所、道の駅で直売を行う。 この取り組みにより経営の多角化を図るとともに農業生産の拡大、所得の向上、雇用拡大を図る計画。	農事組合法人 芦刈農産	—	—	大分県	豊後大野 市	平成28年2月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
355	自社生産した高糖度トマトのインターネット販売及び加工品の製造委託・販売事業	自ら生産する高糖度トマトを利用しトマトピューレの商品開発・委託製造販売を行うことにより経営の多角化を図るとともに、規模拡大による生産の増加、青果のインターネット販売及び郵便局の「ふるさと小包」の活用により顧客の拡大を図る。 これらの取り組みは、県内外の消費者をターゲットとした高糖度トマトの販売と規格外品の有効活用を通じて、所得の向上と雇用の拡大を図る計画である。	株式会社 新門トマト農園	—	—	宮崎県	東臼杵郡 門川町	平成28年2月29日
356	糸島市及び福岡市の酪農家の生乳を使用した新商品開発・製造・販売及び販路拡大事業	酪農家（出資者）から集乳した生乳を使った新商品（牛乳・ヨーグルト・ジェラート・ソフトミックス・ソフトクリーム）を生乳の車両運搬時間30分圏内（最短5分）の位置に加工施設を整備し、付加価値の高い新商品の開発・製造・直販及び卸売を行う。 この事業により経営の多角化及び商品の高度化を図り、更なる販路の拡大を行うことで、出資酪農家の生乳の消費拡大と新工場施設における地域雇用の拡大及び自社経営の安定化を図る取り組み。	株式会社 糸島みるくぷらんと	—	—	福岡県	福岡市	平成28年3月31日
357	鹿島市の酒蔵通りにて行う佐賀県産米を使った日本酒・米菓の製造・販売事業	佐賀県の米生産者が、地元産の米を原材料とした日本酒の醸造や米菓の製造に組み込み、パートナーの持つ製造ノウハウ、販路を活用して販売拡大することで原材料の付加価値の向上を目指す事業	株式会社 峰松酒造場	—	—	佐賀県	鹿島市	平成28年4月14日 (ファンド)
358	自社で養殖したカンパチ、ブリの加工・販売事業	自ら養殖するカンパチ・ブリを使った加工品（フィレ・ブロック・漬け）の開発・製造・販売を行うことにより、所得の向上と雇用の拡大を図る。 これらの取り組みは、購入者が自ら魚を捌くことなく利用しやすい加工品を提供することにより、鮮魚の消費量を増加させ経営の安定化を目指す計画である。	株式会社 大和海商	—	—	宮崎県	延岡市	平成28年4月28日
359	カーネーションの乾燥・特殊加工によるアクセサリ製造・販売事業	自ら生産したカーネーションを乾燥させ特殊コーティングを施したアクセサリ（髪飾り、ブローチ）の製造・販売によって所得全体の向上を図る。 この事業は、花の一般的利用形態である生花としての利用から、特殊加工を加えることにより長期鑑賞に耐えるアクセサリ商品とすることで、ブライダルやパーティー需要を狙う女性向け商品として販売展開する計画。	株式会社 クラベル・ジャパン	—	—	佐賀県	唐津市	平成28年5月31日
360	大分県中津市産を原料とした小松菜・ほうれん草等の冷凍惣菜製造事業	農業者・営農組合・食品加工会社・スーパーが共同出資して、野菜の食品加工会社を設立し、構成員等が生産する小松菜・ほうれん草・オクラ・ゴーヤを冷凍惣菜に製造し、出資会社等へ卸売を行う。 この取組で、地域の農業者の所得向上と耕作放棄地利用による生産規模拡大を図るとともに、地域の雇用を確保する。	株式会社 中津もぎたてファクトリー	—	—	大分県	中津市	平成28年8月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
361	有機栽培による茶葉を使った抹茶商品の開発・製造・販売事業	新たに有機JAS認定を受けた自社園場で生産する生茶葉を、自社で有機抹茶原料用荒茶と有機抹茶に加工し販売することにより、所得の向上と雇用の創出を図る。 これらの取り組みは、需要の多い有機抹茶を提供することにより、新たな販路拡大及び高付加価値化を行い経営の安定化を目指す計画である。	有限会社豊緑園	—	—	宮崎県	児湯郡新富町	平成28年8月31日
362	鶏卵トレーサビリティシステム導入及び物流の経費削減による販売方式の改善と輸出事業	構成員(マルイ農協組合員)が生産する鶏卵を、新GPセンターにタワー型自動鶏卵洗卵選別包装装置を整備し鶏卵トレーサビリティシステムを導入することにより、品質、衛生管理、販売管理を高め、新たに輸出事業を行う。 更に物流においても経費削減を行うことにより、新消費地への販路拡大が可能となり、構成員(マルイ農協組合員)への利益還元の上と安定した雇用の創出をめざす事業。	マルイ食品株式会社	—	—	鹿児島県	出水市	平成28年8月31日
363	宮崎県産シロチョウザメの魚卵等を有効利用した商品の加工・販売事業	宮崎県のチョウザメ養殖業者が、パートナーの開発・加工ノウハウを活用して、キャビアの加工・製造等を行い、直接販売及び百貨店や空港売店等の小売店舗、ホテルやレストラン等に販売することで、水産物の付加価値向上を目指す事業	ジャパンキャビア株式会社	—	—	宮崎県	宮崎市	平成28年9月8日 (ファンド)
364	構成員が生産した自社ブランド豚を利用した加工・販売事業	構成員が生産した豚の精肉の真空パック(冷凍)及び生ハムの真空パック(冷凍)、味噌漬の真空パック(冷凍)、ウインナーの真空パック(冷凍)を商品開発・委託製造し、ふるさと納税返礼やインターネット、直売所で販売することにより所得の向上と雇用の拡大を図る。 これらの取り組みは、新たな販路拡大及び高付加価値化を行い経営の多角化を目指し、自社ブランド豚「参協味蓄豚」の認知度を高め、構成員の収益を上げるための計画である。	株式会社つぼみ	—	—	宮崎県	児湯郡川南町	平成28年9月30日
365	都農町産ワイン等の果実酒の開発・醸造・販売事業	宮崎県都農町のぶどう生産者が、地元産ぶどう等を原材料としたワイン製造を行い、県内外の消費者への販売を行う事で農産物の付加価値向上を目指す事業	株式会社都農ワイン	—	—	宮崎県	児湯郡都農町	平成28年10月11日 (ファンド)
366	自社農園で栽培したイチゴを使用した観光農園及び加工・販売事業	自社いちご園の一部を観光農園として開放し、持ち帰るいちごを直売する。また、株式会社宮崎青果への出荷や直売所等での委託販売も行う。さらに規格外のいちごを使ってジャムやソフトクリームを商品開発・製造し、移動販売車で販売する。 これらの取り組みは、収穫時だけでなく一年を通しての安定した収入の確保と所得向上、雇用の拡大を図るものである。	株式会社亀の子いちご園	—	—	宮崎県	日向市	平成28年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
367	自社生産の生乳と地域の農産物を利用したアイスクリームの加工・販売事業	自社生産の生乳を主原料として、地域の農業者や食品加工業者と連携し、地域の野菜や果物のソースを散りばめたアイスクリームを商品開発・製造・販売する。ふるさと納税返礼品やインターネット、自社直売所等で販売することにより、経営の多角化を図り、所得の向上と雇用の拡大、地域の活性化を図る計画である。	有限会社 小野田牧場	—	—	宮崎県	西諸県郡 高原町	平成28年11月30日
368	馬油、ハーブ、椿油等を原料とした粹練石鹸、ハンドクリーム等化粧品類の製造・販売事業	熊本県の農業者が、自ら生産する椿油、馬油及びペパーミント等を活用し、粹練石鹸等の化粧品を製造・販売をすることで、原材料の付加価値向上を目指す事業。	さぼんどちの株式会社	—	—	福岡県	大牟田市	平成28年12月9日 (ファンド)
369	自社生産した促成・夏秋ピーマンの新たな販路開拓事業	自社で生産する促成ピーマン・夏秋ピーマンを新たに外資系大手スーパーへ販売を行う。また、インターネット販売、委託販売、飲食店・スーパーへの販売及び市場出荷を行う。 また、新たにJGAPの認証を受けるとともに、ピーマンの成分分析を行い、栽培履歴の情報とともに商品に表示することにより、他の事業者と差別化を図る。 この取組により、所得の向上と雇用の創出を図る計画である。	農家とダイレクト株式会社	—	—	宮崎県	西都市	平成28年12月28日
370	竹を原料とした建築資材の製造販売	熊本県の林業者が地域で伐採した竹を原材料とした住宅用建材を製造し、住宅メーカー等へ販売することで、竹の有効活用と地域の活性化を目指す事業。	バンブーマテリアル株式会社	—	—	熊本県	玉名郡 南関町	平成29年1月17日 (ファンド)
371	一日に1万歩ほどを歩く平飼いの「万歩鶏(まんぽけい)」からとった鶏ガラスープ・出汁の開発、販売事業	自社で生産するブランド卵「つまんでご卵」を産む鶏の鶏ガラを原材料とした、鶏ガラスープ及び出汁を開発・販売することにより収益性の向上を目指す。 鶏は自由に運動できる「平飼い」で、薬剤を使用せず育てていることから安心・安全をPRし、自社直売所および自社ホームページでの販売を行う。	有限会社緑の農園	—	—	福岡県	糸島市	平成29年2月28日
372	機能性成分をより多く含有する桑品種の桑葉を用いた差別化可能な桑の葉茶の開発・販売	自社で生産する桑葉のうち、機能性成分を多く含む桑品種の桑葉を使って、桑茶を開発・販売する。 「機能性成分デオキシノジリマイシン(あるいはポリフェノール)をより多く含む桑茶」のように訴求点を謳った「プレミアム桑茶」を商品化し所得の向上を図る。	株式会社峯樹木園	—	—	熊本県	合志市	平成29年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
373	規格外苗木の個性的な姿を活かし魅力ある寄せ植え作り販売事業	自ら生産する苗木の規格外品を、樹木の特性や姿を活かした「寄せ植え」や「苔玉」として作り上げ、消費者に直接販売を行う。 販売については、イベントや当園HPでのインターネット販売とし、商品購入後の維持管理や、診断等メンテナンスサービスを行う事により、消費者が安心して購入できる体制作りを行う。	久光農園 久光 嘉徳	—	—	福岡県	小郡市	平成29年3月31日
374	地域特産の米・栗・甘藷を利用した洋菓子製造・販売事業	自社で生産する米・栗・甘藷を使って、新たに洋菓子の製造・販売を行う。 同時に既存アイスクリーム事業との融合を図りながら、地域の観光資源ともつながり、食・農・観光連携による新たな里山農業を作り上げる。 また、この事業により地域雇用を創出し、地域循環に貢献していく取組である。	株式会社バストラル	—	—	熊本県	山鹿市	平成29年3月31日
375	地域の特産品である阿蘇高菜の種を利用した商品開発と販売事業	自ら生産する「阿蘇高菜」の種を主原料としたマスタードを製造・販売する。 この取組により、所得の向上と雇用の創出を図り、地元根付いた事業へと発展させる。	阿蘇さとう農園 佐藤 智香	—	—	熊本県	阿蘇市	平成29年3月31日
376	直売所開設および移動販売車による切り花の直売事業	自ら栽培する宿根草の栽培場所を観光農園とし、来園客に宿根草切り花を直売する。また、移動販売車を利用して、宿根草切り花を、湯布院町・別府市の宿泊施設へ直接販売を行う。 この取組により、雇用拡大と収益の増加を図る。	河野 みふね	—	—	大分県	由布市	平成29年3月31日
377	自社牧場で生産した黒毛和牛の精肉直接販売事業	兵庫県芦屋市に牧場直営直販の精肉店舗を整備し、自社牧場で肥育した黒毛和牛を精肉加工し、消費者へ直接販売を行う。 牧場直営・産地直結をテーマに販売することにより、所得の向上と雇用の拡大を図る。	農事組合法人ニード牧場	—	—	大分県	杵築市	平成29年3月31日
378	自ら生産するユーカリの葉から抽出したユーカリエキスの開発・販売事業	ユーカリの栽培・育成を行い、収穫したユーカリ生葉の乾燥・裁断加工を行うとともに、外部委託により抽出するユーカリエキスの開発・販売を行う。 自社商品を持つことにより、新たな事業の柱を構築し、経営の安定化を図る。	株式会社 グリーンエルム	—	—	大分県	速見郡 日出町	平成29年3月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
379	自社直営牧場において独自の飼育方法で育てた肥育牛を利用した加工・販売事業	新たに整備する食肉加工施設・精肉店において、自社で生産した肉用牛の精肉販売を行うとともに、併設したハンバーガーカフェ／BBQレストランで、ハンバーガーやステーキ等の料理提供を行う。そのほか、近隣にオープンする道の駅での委託販売及びギフト用セットのインターネット販売を開始する。 また生産においても、独自の飼育・給餌プログラムを行うことにより、肉質改善に取り組む。この取組により、新規雇用の拡大と所得の拡大を図る。	有限会社 佐賀セントラル牧場	—	—	佐賀県	杵島郡 白石町	平成29年4月28日
380	自ら生産するいちごを活用したジャム・タルトの製造・販売事業	自ら生産するいちごを用いて、新たにいちごジャム・いちごタルトを商品開発・製造・販売する。いちご狩りの摘み残しの小玉いちごや過熟いちご及び規格外いちごをたっぷり使った濃厚ないちご味のするジャムや、朝採れの瑞々しい秀品大粒いちごを使用したタルトなどの、「いちご園ならではの商品」を販売する。 また農園のHPを開設し、いちごの青果を含め新たにインターネット販売を行う。いちご観光園を中心に、販売拡大を図り、所得の向上と雇用の拡大を図る。	日隈いちご園 日隈優太	—	—	大分県	玖珠郡 玖珠町	平成29年5月31日
381	水田裏作で生産したにんにくを活用した黒にんにくの製造・販売事業	自社で生産した2種類のにんにくを用いて、品種の特性を活かした黒にんにくを商品開発・製造・販売する。 黒にんにくは健康によい食品として広く知られており、主に高齢層をターゲットに、スーパーや直売所等で販売する。 この取組により、経営の多角化を図り、所得の向上と雇用の拡大を図る。	合同会社 ながのファーム	—	—	宮崎県	西諸県郡 高原町	平成29年6月30日
382	胡蝶蘭の生花の美しさを特殊なドライ加工で持続させるボトルフラワーの製造・販売事業	自社で生産する胡蝶蘭の規格外品を有効活用して、生花の美しさを持続させる特殊なドライ加工を施したボトルフラワーを製造・販売する。 幅広い年齢層のニーズに対応するために、贈答用として好まれるデザインや、複数のボトルサイズの商品を製造し、自社ホームページで販売を行う。 この取組により、農園経営の多角化を図り、所得の向上と雇用の確保・拡大を目指す。	愛華園芸株式会社	—	—	宮崎県	宮崎市	平成29年7月31日
383	自社牧場の搾りたてジャージー乳を利用した乳製品の製造・販売事業	自社で生産するジャージー乳を原料としたモッツアレラチーズ、ヨーグルト、モッツアレラチーズを使用したトルティーヤを商品開発・製造する。 移動販売車で消費者に直接販売するとともに、JA直売所での委託販売や飲食店・洋菓子店へ卸売を行うことにより、収益の向上と雇用の拡大を図る。	株式会社 加藤牧場	—	—	宮崎県	小林市	平成29年8月31日
384	花苗、野菜苗を活用した園芸商品の販売事業	福岡県の花苗・野菜苗生産者が、自社が有する加工ノウハウや販路を活用した花卉加工品製造・販売、園芸店運営を展開し、生産から販売までのバリューチェーンを形成することで、農産物の付加価値向上、消費拡大を目指す事業。	エコマルシェオニヅカ株式会社	—	—	福岡県	朝倉郡 筑前町	平成29年9月13日 (ファンD)

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
385	新凍結技術を活用した長期保存可能な原木生椎茸及び椎茸粉末の開発、販売	長崎県対馬市の椎茸生産者と地元農業者団体が連携し、自らが生産する原木椎茸を冷凍加工、粉末化することで生産物の付加価値向上、消費拡大を目指す事業。	株式会社 対馬原木しいたけ	—	—	長崎県	対馬市	平成29年9月13日 (ファンド)
386	自家栽培のハバネロを用いて添加物を加えず発酵・熟成させた、香辛料の製造・販売	自ら生産するハバネロを使った香辛料を製造・販売する。百貨店や量販店への卸販売のほか、内場農園のホームページにてインターネット販売を行う。 高付加価値商品を製造・販売することにより、売上の増加、所得の向上を図る。	内場 美幸	—	—	福岡県	糸島市	平成29年10月31日
387	菊芋の需要拡大に対応した新商品の開発・製造・販売事業	自社で生産する菊芋を使い、新たな加工品(焙煎チップ・パウダー・スムージー等)を開発・製造する。 百貨店や生協及び健康食品チェーンへの販売及びネット販売を行うとともに、展示会等を活用し新たな販売ルートの開拓を行う。 菊芋の需要増に伴い、新加工場を整備し、臨時雇用を含め約70名の雇用拡大を図る。	株式会社 阿蘇自然の恵み総本舗	—	—	熊本県	菊池郡 大津町	平成29年10月31日
388	お客様が1年中いちごを楽しむために工夫した、いちご加工品の製造・販売事業	自ら生産するいちごを使用し、「より青果いちごに近く、年齢を問わず楽しめる商品」として、新たにいちご加工品(ドレッシング・コンフィチュール・いちごシュガー)を開発・製造し、青果いちごとともに販路拡大を行う。 いちご農園経営と加工品販売により、所得の向上と雇用の創出を図る。	服部 健治	—	—	大分県	国東市	平成29年10月31日
389	自社で産卵・孵化・飼育したエミューの肉を活用した加工・製造販売事業	自社で産卵・孵化・飼育したエミューの精肉を販売する。また、エミュー肉の加工品(ハム、生ハム、ローストエミュー)を開発・製造し販売する。卸販売のほか、美容や健康を重視した消費者をターゲットに自社ホームページでインターネット販売を行う。 エミューの飼育から商品販売までの体制を確立し、所得の向上と雇用の拡大を図る。	日本エコシステム株式会社	—	—	福岡県	筑紫野市	平成29年11月30日
390	自社生産のいちごを利用した加工品の製造・販売と観光農園開設による一年を通した果樹園経営事業	果樹園経営にハウス栽培のいちごを加え、観光農園を開設する。また、自社栽培の果実を使ったソフトクリームの種類にいちごを追加する。 多角化による経営の安定と、所得の向上及び新たな雇用の創出を図る。	株式会社 田口ファミリーファーム	—	—	宮崎県	延岡市	平成29年11月30日
391	ワイン専用品種のぶどうを利用した高級ワインの製造・販売事業	自ら生産したワイン専用品種のぶどう(ドンフェルダー、レгент、アクセント、メルロー、シャルドネ、ゲヴェルツラミナー)を使い、自社ワイナリーで赤、白のワインを製造・販売する。 醸造するワインは赤、白合わせて4種類であり、独自ブランドを確立することで雇用の拡大と経営の安定化を図る。	合同会社 香月ワインズ	—	—	宮崎県	東諸県郡 綾町	平成29年11月30日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
392	耕作放棄地、製茶機械の有効活用による桑の生産、桑の機能性に着目した商品の製造販売	耕作放棄地に桑を植栽し、桑の機能性に着目した桑荒茶及び粉末タイプの開発・製造を行う。販売は多様な事業者と連携した販路ルートの構築やインターネットの販売に取り組む。 この事業を行うことで、耕作放棄地の活用や、兼用型摘採機・製茶機械等を有効活用するとともに、地元からの雇用を創出し地域活性化に貢献する。	合同会社 まくらざき桑本舗	—	—	鹿児島県	枕崎市	平成29年11月30日
393	自社養殖カンパチを使った簡単手間いらずの中食加工品の製造・販売	自ら養殖するカンパチを使った、カンパチ加工品の開発・製造を行う。 魚離れが進む現代であるため、新たに開発するカンパチ加工品を、中食として簡単手軽に食卓に提供したいと考えている。 この事業は、これまで行ってきた既存の冷凍食品の製造技術を活かし、新冷凍食品を開発することでカンパチの価値を更に高め、経営の安定化を目指す事業である。	株式会社 垂水南	—	—	鹿児島県	垂水市	平成29年11月30日
394	自家農園で栽培した梨の観光農園開設と梨及びぶどうの直接販売並びに梨加工品の製造・販売事業	お客様が収穫を体験できる梨の観光農園を開設するとともに、加工施設を整備し梨の加工品（ドライフルーツ・ジャム）を製造する。新設する直売所で、自家農園栽培の梨とぶどう及び梨加工品を販売する。 この取組により、所得の向上と雇用の創出を図る。	中村 裕	—	—	福岡県	久留米市	平成30年1月31日
395	自家牧場の特徴を活かした乳製品・肉加工品の開発と酪農体験牧場での販売事業	自家牧場の生乳を使用した牛乳の製造とヨーグルトの改良及びヨーグルトのジェラートやスウィーツの商品開発・製造を行う。更に牛肉の加工品開発を行い製造販売する。 新たに加工販売施設を整備し消費者へ直売するほか、現在取引のある百貨店・食品卸への販売やインターネット通販を行う。またジェラートとスウィーツについては、賞味期限の長さの強みを活かして、シンガポール・香港などへの輸出に取り組む。	株式会社 オオヤブデイリー ファーム	—	—	熊本県	合志市	平成30年1月31日
396	農福連携によるにんじん生産と加工品の製造販売事業	新たににんじん生産に取り組むとともに、収穫したにんじんを原料に加工品の開発・製造・販売を行う。 この取組により、障がい者の新たな働く場所の提供を行うだけでなく、農業分野での収益の向上と農業経営の改善を図り、農福連携の発展に寄与する。	社会福祉法人 キャンパスの会	—	—	宮崎県	都城市	平成30年1月31日
397	自社で育種したランタンキュラスのオリジナル品種の花摘み体験と直接販売事業	自社で育種したランタンキュラスのオリジナル品種の魅力を一般消費者に広めるため、お客様がハウス内に咲くお気に入りの花を自ら摘み、購入することが出来る仕組みの直接販売を行う。また、鉢物や球根、ポット苗もハウス内で直接販売を行う。 この取組により、ランタンキュラスの需要の拡大を図り、所得を向上させるとともに、新たな雇用を創出する。	有限会社 綾園芸	—	—	宮崎県	東諸県郡 綾町	平成30年1月31日
398	主原料に自社生産の玉ねぎ、ごまを使用し、原材料にこだわったドレッシングの開発・製造・販売	障がい者就労支援活動の一環として、自社で生産した玉ねぎ、ごまを主原料に、4種類のドレッシングを開発・製造・販売する。 総合化事業の取組により、所得の向上及び障がい者雇用の安定を図る。	一般社団法人 れんこん	—	—	福岡県	久留米市	平成30年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
399	自家生産のブルーベリーとトマトを利用した加工品の製造・販売事業	自ら生産するブルーベリーと高糖度トマトを使用したジャムを開発・製造し、自ら経営する農家レストランや観光地である九重夢大吊り橋直売所天空館及びJA九重町飯田高原ドライブインにて販売を行う。 この取組により、所得の向上と雇用の創出を図る。	鷲頭 将治	—	—	大分県	玖珠郡九重町	平成30年2月28日
400	自らが生産するケール及び明日葉などを用いた乾燥加工品の製造・販売を行う事業	自ら生産したケール、明日葉、ボタンボウフウ、モリンガ、大麦若葉及び茶をHACCP仕様の自社加工場において一次加工し、健康食品会社へ販売する。 この取組により、これらの農産物の付加価値を高め、所得向上、経営の安定化及び新たな雇用の創出する。	株式会社 センリファーム	—	—	鹿児島県	曾於市	平成30年2月28日
401	IQF(個別急速冷凍)による冷凍ほうれんそうを利用した商品の加工・販売事業	生産するほうれんそうをIQFフリーザーで瞬間凍結した冷凍ほうれんそうをベースに、「冷凍ほうれんそうコーンミックス」、「冷凍ほうれんそうペーコンミックス」、「オムレツ用冷凍ミックス」及び「冷凍ほうれんそうの胡麻和え」の商品開発・製造・販売を行う。 総合化事業の取組により、消費者ニーズに応える商品販売を拡大させ、原料生産の増加を図り宮崎の農業を未来に繋げる役割を果たす。	株式会社 ジェイエイフーズみやざき	—	—	宮崎県	西都市	平成30年3月30日
402	健康志向の方を対象に、自社生産の特別栽培米(玄米)を用いた加工品の開発・販売事業	自社生産の特別栽培米(玄米)を原料に、「玄米ぼんせん」「玄米コーヒー」の開発・販売を行う。製造は和洋菓子店等に委託する。 統一したパッケージデザインにすることや、玄米と同一コーナーで販売することで、消費者に「本坊農園」を認知してもらう。 総合化事業の取組により、自社ブランドの確立と経営の安定化を図る。	株式会社 本坊農園	—	—	宮崎県	えびの市	平成30年5月31日
403	こだわりの栽培方法で生産したねぎの食味を活かした手作りドレッシングの製造販売	ねぎの青果出荷品の市場価格の変動に耐えうる経営を行うため、ねぎ加工品の製造販売を強化する。前回の総合化事業計画の認定商品のねぎドレッシングの増産に加え、新商品の開発を行うことにより、売上の増加と財務体質の強化を図る。	朝倉物産株式会社	—	—	福岡県	朝倉市	平成30年6月29日
404	健康を意識した方を対象に、栄養価の高いんにくを熟成発酵させることでおいしさを引き出す有機黒にんにくの製造・販売事業	自社で生産する有機にんにくを使い「有機黒にんにく」の開発製造を行う。 高付加価値の商品を販売することで、所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たな雇用の創出する。	株式会社 農業生産法人健康家族	—	—	宮崎県	小林市	平成30年7月31日
405	自社ブランド「まるみ豚」を使用した熟成肉の開発・製造・販売事業	自社ブランド「まるみ豚」を使い、独自のドライエイジング製法による「熟成肉」を開発・製造し、既存の取引先を活用しながら県外百貨店のギフト用や、こだわりレストランへ販売を行う。 この取組により、経営の安定と新たな雇用の創出を目指す。	有限会社 協同ファーム	—	—	宮崎県	児湯郡川南町	平成30年7月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
406	有機栽培の甘藷を使った加工食品の製造、販売事業	自社で有機栽培する甘藷を使って、ペットフード、かんころ餅、甘藷ペーストの開発及び製造を行う。販売については、ペットフード店や生協への販売の他、道の駅等や自社HPで消費者に販売する。 この取組により、所得の向上を図るとともに、新たな雇用を創出する。	株式会社 アグリ・コーポレーション	—	—	長崎県	五島市	平成30年8月31日
407	組合員が生産したみやざきハーブ牛交雑種の精肉販売事業	組合員が飼養する肉用牛(交雑種)を組合ブランド「みやざきハーブ牛交雑種」として、ネット販売やふるさと納税返礼品として全国の消費者に直接販売を行う。 また、国内インバウンド需要の高まりにより、今後増加が見込まれるムスリム向けハラール認証牛肉の販路拡大を図る。 この取組により「みやざきハーブ牛交雑種」の市場評価を高め、組合員の所得を向上させるとともに、雇用の安定を図る。	宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合	—	—	宮崎県	宮崎市	平成30年8月31日
408	自社生産の生姜を使用し、健康志向や美容に関心のある女性向けの加工商品の製造・販売事業	自社生産の生姜を原料として、砂糖の代わりにデーツ(乾燥なつめやしの実)を使ったジンジャーシロップ商品や、生姜の絞りかすを使ったしょうが糖の製造販売を行う。 総合化事業の取組により、自社加工品の売上げを伸ばし、所得の向上と経営の改善、地域雇用の拡大を図る。	株式会社 西日本農業社	—	—	大分県	臼杵市	平成30年9月28日
409	銘柄豚(観音池ポーク)を使用した高齢者向けタレ付ソフトとハンバーグの開発と冷凍商品の開発製造販売事業	構成員の生産する豚肉を使って、高齢化社会に対応できる柔らかくて食べやすいタレつきのハンバーグと、長期保存可能で調理の手間がかからない冷凍メンチカツや冷凍味付け肉の開発・製造を行い、自社銘柄豚「観音池ポーク」の認知度を高めるとともに、構成員の所得向上と新たな雇用の創出を図る。	有限会社 観音池ポーク	—	—	宮崎県	都城市	平成30年9月28日
410	色落ちした海苔を活用し、海苔に含まれる「ポリフィラン」を原料とした化粧石鹸の開発及び販売	自家養殖した海苔の中で、廃棄処分されている「色落ち海苔」から抽出した「ポリフィラン」を配合した化粧石鹸を開発、販売する。ポリフィランの抽出と石鹸の製造は外部へ委託し、卸販売とインターネット販売を行う。 この取組により、廃棄されている未利用資源の活用につなげるとともに、売上の増加による更なる経営基盤の強化を図る。	坂井 亮太	—	—	福岡県	みやま市	平成30年10月31日
411	自社生産の柑橘類を使った加工品の開発・製造、販売	自社生産の柑橘類を使って、前回の総合化事業計画の認定商品である、じゃばらジュース、じゃばらサイダー、黒酢みかんゼリーの増産を行うと共に、新たにじゃばらゼリー、黒酢みかんの缶詰の開発・製造・販売を行う。また、黒酢みかんゼリーと黒酢みかん缶詰についてはアジア等の海外市場への販売を行う。	有限会社 かねひろ	—	—	佐賀県	藤津郡太良町	平成30年10月31日
412	自ら生産するはちみつを利用した商品の加工・販売事業	自ら大分県内だけで採蜜するはちみつを、採蜜する場所ごとに瓶詰めした商品「海辺のはちみつ」「森のはちみつ」「里山のはちみつ」や100%はちみつだけの飴を開発、製造し、直営販売業者を通じて販売する。 この取組により、経営の多角化と安定を目指す。	株式会社 枝次養蜂園	—	—	大分県	由布市	平成30年10月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
413	組合員が自ら生産した「糸島産ごぼう」のうち規格外品と「糸島産小麦」を活用した風味豊かな「ごぼうかりんとう」の開発及び販売	糸島市の地域、風土を活かした野菜で、組合員自ら生産した「ごぼう」のうち規格外品と、「小麦」を活用した風味豊かな「ごぼうかりんとう」を開発、販売する。「ごぼうかりんとう」の製造については外部へ委託し、糸島農業協同組合の直営販売所である「伊都菜彩」にて直売、及びインターネット販売を行う。 この取組により、糸島産野菜の知名度、認知度を更に高めるとともに、加工品製造・販売の強化による経営基盤の一層の充実を図る。	糸島農業協同組合	—	—	福岡県	糸島市	平成30年11月30日
414	自らが生産する小麦を原料にした「農家のパン屋」によるパンの製造・販売事業	新たにパン屋を開店し、自ら生産する小麦を使って、地域の特産品や野菜をふんだんに使用した調理パンや食パンの製造を行い、消費者へ直接販売を行う。 この取組により、所得の向上と新たな雇用の創出を図る。	黒川 正博	—	—	大分県	宇佐市	平成30年11月30日
415	自然食品志向の方を対象に朝採れきのこの新鮮さを活かし化学調味料等を使用しない商品の開発・販売	自社生産の「えのきたけ」「ぶなしめじ」「エリンギ」「ブラウンえのき」を使って、地元シェフの監修のもと「えのきたけと塩麴のディップソース」「4種類のきのこオイル漬け」「4種類のきのこたつぷりトマトソース」の開発・販売を行う。 総合化事業に取り組むことで、夏場のきのこの付加価値を高め、所得を向上させると共に、年間を通じた雇用の安定を目指す。	有限会社 玉光園	—	—	宮崎県	小林市	平成30年11月30日
416	自社生産の有機ハトムギを利用した加工食品の製造・販売事業	ハトムギの外皮を取り除く技術を確認したため、自社で有機栽培しているハトムギの精麦を使用したお茶や菓子、製粉したはとむぎ粉を使用した商品を開発し、付加価値を高めて幅広い世代に販売する。 この取組により、農業及び関連事業の所得向上、経営の安定と新たな雇用の創出を目指す。	おたに家株式会社	—	—	宮崎県	西臼杵郡 高千穂町	平成30年11月30日
417	長寿の島 奄美の伝統野菜「アマミシマアザミ」の栽培・食品加工・販売	自社及び生産者組合農家と栽培する奄美の伝統野菜「アマミシマアザミ」の葉の乾燥加工商品を開発、販売することにより、農家収入向上、雇用創出、地域活性化を目指す事業。	株式会社 ヘルシーアイランズ	—	—	鹿児島県	大島郡 徳之島町	平成30年12月14日 (ファンド)
418	佐賀県産いちごの商品価値を高め、自家産いちごを使った商品の製造・販売事業	自社で栽培する佐賀県産いちご(さがほのか)を使った加工品(フローズンいちご、ドライいちご、ジャム、シロップ等)を製造し、消費者や洋菓子店へ販売する。 女性をターゲットにした販路拡大に取り組むことで、所得の向上と雇用の安定を図る。	株式会社 香月農園	—	—	佐賀県	神埼市	平成31年1月31日
419	安心・安全を求める消費者を対象に、抗生剤等を使用せずに飼育された自社ブランド豚「延岡よっとな」の未利用部位をを用いた加工品の製造・販売事業	自社ブランド豚「延岡よっとな」の未利用部位肉の有効利用を図るため、「肉肉肉みそ」「肉まん」「ハンバーグ」の3商品を開発・製造し、安心・安全を求める消費者や働く主婦層向けに自社直売所にて販売する。 この総合化事業の取組により、今まで売れ残っていた精肉部位に付加価値をつけて販売することが可能になることから、所得の向上と雇用の安定及び新たな雇用の創出を目指す。	株式会社 吉玉畜産	—	—	宮崎県	延岡市	平成31年1月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
420	地元産野菜を使用した給食の製造・販売事業	地元産露地野菜及び地元産米を使用した給食及び下処理を施した給食用食材の製造・販売を行う。 株主が生産する農産品だけでなく、周辺の地域農家が生産する農産品も活用することにより、地域農家全体の所得増加を図る。	株式会社 福岡県南部給食センター	—	—	福岡県	みやま市	平成31年2月26日 (ファンド)
421	大分県産地鶏「豊のしゃも」を使用した商品の加工・販売事業	組合員が生産する大分県産地鶏「豊のしゃも」と、解体で発生し廃棄していたガラを活用して、「炊き込みご飯の素」、「豊のしゃものスープ」を開発、製造し、販売する。 この取り組みにより、協議会の所得向上及び組合員の経営改善を図る。	農事組合法人 大分県豊のしゃも生産者協議会	—	—	大分県	豊後大野市	平成31年3月29日
422	地域の特産品「さつまいも」の加工品製造及び直接輸出等による販路拡大事業	現在の間接貿易に加え、新たな取引国・地域に対し直接貿易を開始し、事務簡素化と経費削減及び売り上げ増加を図る。 また新たにバーチャルユーチューバーを活用して、商品・調理方法等の情報提供やきめ細やかな顧客対応等に取り組み、ネット販売の拡大と若者層を中心とした顧客確保を図る。 さつまいもペーストについて、現在の委託製造から自社生産に切り替え、品質(品種、味付け等)や容量、価格等、取引相手の要望に応じた提供とコストの削減により収益の向上を図る。 この取組により、農業所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たな雇用を創出する。	株式会社 くしまアオイファーム	—	—	宮崎県	串間市	平成31年3月29日
423	地域の特産品であるきんかんを利用した商品の加工・販売事業	地域特産品のきんかんを使った「金柑ドライフルーツ」を神話の里である高千穂らしい「月読の実(ツクヨミノミ)」に名称を変更し、併せてパッケージと内容量を変更する。更に、大玉の上位等級品のみを使った高級品を追加することによって高級志向の顧客層を開拓し販売の拡大を図る。 また、新たにインターネット販売に取り組むことにより、新たな顧客層の獲得を図る。 この取組により、高千穂産の加工品の知名度と価値を高め、所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たに雇用を創出する。	合同会社 あまてらすの娘たち	—	—	宮崎県	西臼杵郡 高千穂町	平成31年3月29日
424	長期貯蔵の不知火を用いた「不知火ストレートジュース」の開発・販売を行う事業	長期貯蔵した不知火を用いて「不知火ストレートジュース」を開発し、一年を通して販売に取組む。なお、商品についてはOEM事業者へ製造を委託し、商品化する計画である。 この取組により、自ら生産した不知火の付加価値を高め、所得向上、経営の安定化及び新たな雇用を創出する。	有限会社 フレッシュ吹上	—	—	鹿児島県	日置市	平成31年3月29日
425	自社生産の黒毛和牛を用いた小割部分肉と精肉の加工販売	新たに自社の肥育牛生産技術が確立したことから、自社食肉加工場を整備し自社生産の黒毛和牛を用いた、卸売を目的とする小割部分肉、直売やネット販売を目的とする精肉及び加工品製造業者向けの精肉を開発・加工・販売する計画である。 この取組により、自社生産の黒毛和牛の付加価値と経営の一貫性を高め、農業及び関連事業の所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たに雇用を創出する。	村商株式会社	—	—	鹿児島県	肝属郡 肝付町	平成31年3月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
426	自家生産した「いちご(あまおう)」を活用し、大学生とのコラボにより共同開発した「いちごジャム」及び「ミルクいちごジャム」の製造及び販売事業	九州産業大学生命科学部生命科学科の教授及び学生と連携し、大学の食品加工プラントにて減圧加工技術により品質改良した「いちごジャム」と、学生の発想、感性を生かした新商品である「ミルクいちごジャム」の開発、製造、販売を行う計画である。 この取組により、大学の持つ専門スキルやデータ分析力により商品力強化を図るとともに、年間を通じての収益の確保、売上増加に伴う安定した経営基盤を確立させ、所得の向上を目指す。	まっばらベリーファーム	—	—	福岡県	筑後市	令和1年6月28日
427	構成員が生産するカボスを原料にした加工品の製造・販売事業	構成員が生産する大分県特産「カボス」を使用し、原料・製法にこだわった「カボスジンジャーハニー」、「カボスポン酢」を開発、製造し、販売する。	有限会社 オレンジ農園	—	—	大分県	杵築市	令和1年7月31日
428	有機栽培ゆずを使用した食品添加物不使用の加工商品の開発・製造・販売事業	「銀鏡地域」の特産品ゆずの差別化及び付加価値を高めるため、平成30年1月から有機栽培へ転換し、令和3年に有機JAS認証を受ける。 主力品目である「ゆずこしょう」を「有機ゆずこしょう」に切り替えるとともに、「有機ゆず使用甘納糖」及び「有機ゆず使用ジュース」の開発・製造を行う。 販売については、既存取引先に加え、有機栽培等の商品を扱う生協、専門店及び卸売業者等を中心に取引先の確保・拡大を図る。 また、輸出のためEU有機(ユーロリーフ)の取得をめざす。 当事業の取組により、有機栽培ゆずの付加価値を高め、生産農家の所得向上を図るとともに、山村過疎地の雇用促進につなげる。	株式会社 かぐらの里	—	—	宮崎県	西都市	令和1年7月31日
429	穀物JGAP認証を取得したもち米と規格外のイチゴを利用した和菓子の開発・製造・販売	自社生産のイチゴの規格外品ともち米を活用し、「いちご大福」の製造・販売に取り組むとともに、当社の農産物の認知度向上につなげ、売上高及び所得の拡大を図る。	ソウヨウファーム 株式会社	—	—	熊本県	熊本市	令和1年8月30日
430	自らが養殖したブリの鮮度を生かした刺身用フィレの販売事業	自らが養殖したブリを使用し、鮮度にこだわった「刺身用フィレ」を連携事業者と開発、製造し、販売する。	浪井丸天水産	—	—	大分県	佐伯市	令和1年8月30日
431	自社生産米の米粉と副産物である米ぬかを使用したビスコッティの製造・販売事業	精米の販売を縮小し、自社生産米の米粉と甘酒商品を製造する際の副産物「米ぬか」を使用した新たな菓子を製造し販売する。 このことにより、所得の向上、雇用の安定と新たな雇用を創出する。	株式会社 高千穂ムラたび	—	—	宮崎県	高千穂町	令和1年8月30日
432	自社定置網で獲れた魚を消費者に販売する港の直売所運営事業	定置網で漁獲された多種多様の魚を、その日のうちに消費者に販売するため、新たに港に直売所を整備する。 直売所での運営は、新鮮な魚の販売により価値を高め、漁業所得の向上及び新たな雇用を創出する。	有限会社 とべしま丸水産	—	—	宮崎県	日向市	令和1年8月30日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
433	雌子牛の付加価値を上げる肥育及び牛肉の直接販売事業	比較的市場評価が低い黒毛和種の雌子牛を肥育素牛として仕入れ、これまで養った飼養管理技術をベースに21ヶ月間の肥育(未経産雌牛肥育)を行う。 また、生産した和牛雌牛肉を精肉に加工し、直接販売する。 この取組により、雌子牛の価値を高め、農林漁業及び関連事業の所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たに雇用を創出する。	株式会社 B E B U Y A	—	—	宮崎県	えびの市	令和1年9月30日
434	アニマルウェルフェア、Non-GMO飼料による高付加価値鶏卵の生産と販売強化事業	餌、水、環境、アニマルウェルフェアに配慮し、Non-GMO飼料で生産した鶏卵を、求める消費者に直接、定期的に届ける新しい販売方式(定期お届け販売システム)を確立する。 この定期お届け販売システムに加え、オーガニック系商品を取り扱う小売店への直接卸売販売と販売促進のために、SNSなどによるプロモーション活動を行い、商品イメージを強化する販売活動を展開する。	有限会社 東康夫養鶏場	—	—	宮崎県	えびの市	令和1年9月30日
435	自社ブランド「白宝らっきょう」と「極利かぼちゃ」の新商品製造・販売及びかぼちゃの輸出	自社ブランド「白宝らっきょう」、「極利かぼちゃ」を使用した、既存商品の食味・パッケージの改善や新たな需要に応じるための商品ヘリニューアルを行う。 更にらっきょうにおいては常温保存が可能な塩漬け、未利用部分を有効活用した刻み製品を、かぼちゃにおいては、冷凍カット並びに高齢者向け食材を開発・製造・販売する。 また、かぼちゃの青果は、シンガポール、香港への輸出に取り組む計画である。 この取組により、自社ブランドの付加価値を更に高め、農業及び関連事業の所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たに雇用を創出する。	有限会社 エスランドル	—	—	鹿児島県	南九州市	令和1年9月30日
436	減農薬で栽培した温州みかん、不知火、レモンを利用した加工品の製造販売事業	減農薬・無化学肥料で栽培した温州みかん、不知火及びレモンの規格外品を含む未利用果実を搾汁し、冷凍させて保存する。 冷凍果汁は、そのまま飲食料品事業者への卸販売や、直売及びインターネット販売を行う。 さらに冷凍果汁を100%ジュースに再加工し、ふるさと納税としての販売や卸売り、直売を行う。 この取組により、通年の販売形態が可能になるとともに、未利用果実等の有効利用で、所得の向上による経営改善を目標としている。	馬場 亮輔	—	—	長崎県	南島原市	令和1年10月31日
437	自家農産物の米と玉ねぎを活用した加工品の開発・製造・販売事業	米の新たな価値の創造と、規格外米を含めた米の有効活用を図るため、米粉を使用した「肉まん」「惣菜万十」「おかき」を新たに自社加工施設で製造し、販売については、これまでの販路とは別に、新たに商社への販売や、ECサイトによる販売を行い、販路開拓による所得の向上を目指す。 また、商品の原材料の農産物については、米に加えて玉ねぎを新たに生産し、その他の野菜については、連携農家から供給を行い、安定した材料の確保を行う。 この取組により、自家及び連携農家の所得を向上させ、新たな雇用の創出を見込む。	市原農園	—	—	熊本県	阿蘇市	令和1年10月31日
438	自社で飼育した豚肉を使用した「豚ロースの味噌漬け・塩麹漬け」「豚バラ肉の角煮」の開発・製造・販売事業	自社で飼育した豚の中でも上質な肉質を持つ「八女ふくふく豚」の加工品である「豚ロース肉の味噌漬け・塩麹漬け」、「豚バラ肉の角煮」を開発・製造し、産直市場「みづまの駅」内の店舗をはじめとする自社店舗で販売する。 また業務用豚ロースについては、自社サイト、BtoBサイトの活用により、販路の拡大を図る。 今回の取組により、「八女ふくふく豚」の知名度を上げ、豚肉加工品事業を確立し所得の向上を目指す。	有限会社 耳納山ファーム	—	—	福岡県	八女市	令和1年11月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
439	イチゴ新品種「よつぼし」を活用したギフト商品、加工品、および新たな体験プランの開発・販売	自社ブランドを図るため、従来のJA出荷の「ゆうべに」とは別に、種子繁殖型の品種としては2号目に品種登録(H29.2)された「よつぼし」を新たなハウス施設で栽培し、高級品から家庭用まで幅広く対応できる青果を販売、また「よつぼし」の規格外品等を活用したジェラート、もなか、ジャムを観光農園やECサイトで販売することにより、自社ブランドを確立し、知名度を上げるとともに所得向上につなげる。	バックカントリーラボ株式会社	—	—	熊本県	山都町	令和1年11月29日
440	オメガ3を含有する高付加価値鶏卵と鶏肉の加工品の製造販売事業	集客数の増加を図るため、自店舗で登録の会員向け宅配の導入と、地元で知名度が上がってきたオメガ3脂肪酸を取り入れ生産された卵とその卵を活用した加工品のバリエーションの増加及び自店舗のみ販売の加工品を加えることで、自店舗への集客を狙うとともに、所得向上につなげる。	株式会社緒方エッグファーム	—	—	熊本県	合志市	令和1年11月29日
441	地域特産の梅、柚子を利用したあまざけドレッシングの開発・販売	自らが生産する大山町の特産品の農産物である梅・柚子と、自家生産の米から製造したあまざけを取り入れ、健康志向の消費者を対象としたドレッシングの開発・製造・販売に取り組み、所得の向上を目指す。	森 タミ子	—	—	大分県	日田市	令和1年11月29日
442	特別栽培により自ら生産した「いちご(あまおう)」の規格外を活用した「完熟あまおうジェラート」の開発及び販売事業	特別栽培により自ら生産した「いちご(あまおう)」の規格外を活用し、新鮮いちご30%含有の「いちご園だからできる新鮮・贅沢な逸品」として「完熟あまおうジェラート」を開発する。製造は委託し、自観光農園やマルシェ等において直接販売とギフト用としてセット販売を行う。また、自農園ホームページとは別に、青果、観光農園、及びジェラート販売に係るいちご専用のホームページを開設してネット販売も行う。この取り組みにより、多様な販売チャネルを構築し、所得の向上と地域雇用の拡大を図る。	うるう農園	—	—	福岡県	久留米市	令和1年12月27日
443	自社生産の大根を原料とした、業務用加工品の安定製造・販売事業	自社生産の大根を原料として、「冷凍大根おろし」及び「切り干し大根」を新たに製造し、加工品として業務用加工品納入業者と契約取引を行うことにより、不安定な市場相場に依存する取引からの脱却を図る。また、「大根おろし」については、冷凍加工することで、品質の保持による安定供給につなげる。この取組により、通年で安定的な売上が得られることで、所得の向上と経営の安定が図られ、雇用の安定と事業拡大に伴う新たな雇用を創出する。	有限会社ファームヤマト	—	—	宮崎県	都城市	令和1年12月27日
444	自社生産した青ねぎを利用した「カットねぎ」の新商品開発、製造、販売及び販路拡大事業	近年の女性の社会進出、単身世帯の増加等により、中食産業の市場規模が急成長していることから、弁当や総菜等の薬味、彩りとして利用できる「5g～10g」の使い切りサイズの「カットねぎ」を開発、製造、販売し、あらゆる世代へ利用機会を広げ消費を拡大する。また相乗的に既存「カットねぎ」の更なる販路拡大も図る。今回の総合化事業の取り組みにより、市場のニーズを取り込み、より一層の所得向上を目指すとともに、安定した経営基盤を確立させる。	株式会社春口農園	—	—	福岡県	八女市	令和2年1月31日
445	自社生産の柑橘を活用したフルーツソース、及び果実入りゼリーの開発、販売	既存商品に加え、自社産柑橘を原料として、グラニュー糖ではなくミネラル豊富なきび砂糖やてんさい糖を使用したフルーツソースを開発・製造し、ヨーグルト用として販売することで、健康志向の顧客獲得を目指して、乳製品関係の売り場への進出を可能とする。また、既存商品も包装容器の改良を行い商品のリニューアルを図る。これらの商品の特徴を活かし、商談会やSNSで新商品と既存商品の認知度を上げ、加工品全体の売上増加を目指すとともに、経営全体の改善を図る。	株式会社山下果樹園	—	—	熊本県	苓北町	令和2年1月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
446	自ら生産したもち米を使用した米加工品の開発・販売事業	既存の販売先から、賞味期限が長く保存の効く餅加工品の要望があったことから、自ら生産するもち米を原料にしたあられの開発・販売に取り組み、所得の向上を目指す。	厚田 和好	—	—	大分県	国東市	令和2年1月31日
447	自ら生産した「いちご(あまおう)」をまるごと活用した贅沢で可愛い「苺の実アイス」の販路拡大事業	自家栽培した志賀島(福岡市東区)特産の「いちご(あまおう)」を贅沢に一粒まるごと活用した、デザインが可愛い「苺の実アイス」を平成30年に開発。製造は専門事業者に委託し、志賀島内の直売所及び福岡市内百貨店のギフト商品等として販売している。 今後は、新たに業務用商品を販売するとともに、自家ECサイトを開設するなど、新たな販売チャネルの構築、活用によって、販売先の新規開拓に取り組み、志賀島産「いちご」の付加価値、知名度を高めるとともに、収穫シーズン後の端境期の収益確保によって、安定した経営基盤を確立させ、所得の向上を目指す。	いちごのともや	—	—	福岡県	福岡市	令和2年2月28日
448	養殖フグを活用した一次加工品開発と販路開拓事業	これまでの活魚出荷に加え、グループ会社の(株)むらたの協力を得て、一次加工品の「身欠き加工フグ」としてフィレ加工し、ふぐ専門の料理店、ホテル、デパート等へ事業を拡大することで、養殖フグの付加価値が付くとともに、経営力の安定化と雇用の創出を図る。	有限会社 むらた活魚	—	—	熊本県	上天草市	令和2年2月28日
449	自社花園の生花を活用したボックスフラワーとドライフラワーの製造・販売及び、収穫・加工・製作までを体験するコト消費を組み合わせた事業	既存の商品の生産拡大に向けた新たな付加価値づくりとして、ボックスフラワーやドライフラワーの製作体験・販売に取り組むと共に、直売やインターネット販売を実施する。この取り組みにより地域の問題である耕作放棄地対策としてユーカリの栽培を増加し、魅力ある景観に変え同時に利益を生み出せる仕組みを作る。 既存の商品に製作体験を組み合わせ新たなコト商品を作り上げ所得向上と地域の景観を維持しながら、新たな雇用創出と安定雇用を図る計画である。	株式会社 KOMATSU FLOWER	—	—	佐賀県	唐津市	令和2年3月31日
450	自社肥育黒毛和牛の開発と熟成精肉加工及び自社レストラン事業による総合化事業	近年、自社レストラン「ダ・ローブ亭」で去勢雄牛より市場価格が安い経産牛の仕入肉を提供したところ、脂肪分が少なく柔らかく、特にヒレ肉が必要が高かったことから、今後は、自社肥育した経産牛のヒレ肉を自社レストランで提供し、他の部位についても餃子として活用することで、利幅が増えるとともに自社生産の経産牛の付加価値が付き、所得の向上と経営の改善を図ることができる。	有限会社 綱田牧場	—	—	熊本県	芦北町	令和2年3月31日
451	自社栽培にんにくを活用した業務用「剥きにんにく真空パック」の開発及び販売事業	これまで、にんにくの販売は、青果を地元スーパーを中心に行ってきたが、人手不足等に悩む外食産業向けの需要が高まっていることから、一次加工した「剥きにんにく真空パック」を開発・製造・販売に取り組み、所得の向上を目指すとともに、経営の改善を図る。	日田アグリ株式会社	—	—	大分県	日田市	令和2年3月31日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
452	温州みかん発祥の地で育む「島みかん」を活用した飲料（サイダー）の開発・販売を行う事業	自社生産した「島みかん」を活用し、試作販売している「島みかんサイダー」を、内容量の減少や製造方法の変更により、子供から大人まで幅広い年齢層に受け入れられる飲料に改良する。これにより「島みかんサイダー」の知名度向上及び購買層の拡大と島みかんの付加価値を高め所得の向上とともに、経営の安定化と新たな雇用を創出する。 また、新たにインターネット販売を導入し島外でのB to C 販売及びイベント等出展を推進しながら新たな顧客獲得を図ることにより、販路拡大・販売促進に努める。	有限会社 レガーレ・ワキタ	—	—	鹿児島県	長島町	令和2年3月31日
453	自家農園産の有機栽培米を使用した「米粉菓子及び餅菓子」の製造・加工・販売を行う事業	自家有機JAS認証のもち米を活用した「おかき」と、同認証のうるち米を活用した「ビスコッティ」の製造・販売を行う。 この取組により、自ら生産した有機栽培うるち・もち米の付加価値を高め、所得の向上とともに経営の安定化と新たな雇用を創出する。	澤田農園	—	—	鹿児島県	出水市	令和2年3月31日
454	海面養殖場を活用したアジ・サバ・ヤズの活魚販売及び養殖魚販売の拡大による収益性改善事業	昭和37年6月に設立し、まき網漁による鮮魚の市場出荷を行っていたが、今般、海面利用権を取得したことから新たに海面養殖業を実施し活魚の販売を行う。 親会社である株式会社三陽の販路を活用し、売上・収益の向上を図るとともに、地域の雇用を創出する。	海興水産株式会社	—	—	長崎県	五島市	令和2年4月10日 (ファンド)
455	独自技術で栽培した機能性発芽大豆を活用した植物肉原料の製造・販売事業	今般、落合式ハイプレッシャー法（特許保有）で生産された発芽大豆を加工した発芽大豆タンパク基材（植物肉）を開発、従来の植物性タンパクに比べ青臭さ、油臭さの除去が可能となり、植物性タンパク代替肉原料として製造が可能となった。 大手冷凍食品メーカー等のパートナー企業から出資を受けるとともに業務提携により、植物肉の生産・販売体制を確立し、売上・収益の向上を図る。また、国産大豆の付加価値を高め、大豆生産者の所得向上と地域の雇用創出をめざす。	DAIZ株式会社	—	—	熊本県	熊本市	令和2年4月10日 (ファンド)
456	JGAP認証取得を機会に、リニューアルした甘藷加工品の販路拡大を行う事業	JGAP認証農場（令和元年9月取得）で生産した甘藷を使った加工品（干し芋、冷凍焼き芋）について、金属検出機及び水分活性測定装置などを使用した製造工程に変更するとともに、破損の少ない材質の包装容器に改良し、より安全性が向上した商品として販路拡大を行う。 販路拡大に伴い原料確保のため、耕作放棄地及び遊休地を活用して作付面積を増やし、地域の農地を守り雇用の拡大につなげる。	株式会社 下巢畑農産	—	—	熊本県	小国町	令和2年5月29日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
457	福岡県ブランドの柿「秋王」及びいちじく「とよみつひめ」の高付加価値化商品の加工・販売及び自社ECサイトによる新たな販路拡大事業	自社生産した柿「秋王」の冷蔵、冷凍による保管技術を開発し、冷蔵柿は贈答品や輸出用、冷凍柿は一次加工しBtoBとして販売することや、柿及びいちじく加工品の包装・内容量を規格変更してセット販売を行うとともにネット販売に取り組む。 この事業により、ブランド品種の知名度向上、販路拡大を推進し、所得の向上と収益性の確保を図る。	株式会社 農業都市デザインシステム研究所	—	—	福岡県	久留米市	令和2年7月31日
458	中山間地域の新たな地域振興作物としての赤紫蘇による一次加工品の生産・販売事業	耕作放棄地の拡大が深刻な中山間地域において、農地の有効活用と新たな地域特産品の確立を目指して鳥獣被害が少ない赤紫蘇を栽培し、「ふりかけ」原料の塩蔵品に一次加工する。製造依頼のあった食品メーカーと契約取引を行うことで安定的な売上を確保し、所得向上と地域の雇用促進に繋げる。 また、自社だけでは原料が不足する分は、地域の農家へ栽培を委託することで地域生産農家の所得向上及び農村維持に寄与する。	みやざき乾燥野菜合同会社	—	—	宮崎県	都城市	令和2年11月30日
459	構成員が生産、水揚げした農産物・畜産物・水産物を使用した市場レストラン事業	構成員が生産した農林水産物を使った料理メニューを開発し、直売所に併設するレストランを開設して市内消費者及び観光客へ提供する。 この取り組みにより、直売所とレストランの集客力を向上させて売上増につなげることで、構成員及び当法人の所得向上、雇用の拡大とともに観光業へも貢献し、地域の活性化を図る。	株式会社 ひらど新鮮市場	—	—	長崎県	平戸市	令和3年1月29日
460	自社生産の花苗を使った「フラワーギフト」、「寄せ植えキット」の製造販売事業	自社生産の花苗を使った「フラワーギフト」、「寄せ植えキット」の製造販売により、花苗の多様性や普及啓発を図る。 この取組を通じて、女性従業員が安心して働き続けられる職場環境や雇用の安定を図り、女性の活躍が地域農業の活性化に繋がる職場モデルを構築するとともに、更なる所得向上、経営発展を目指す。	株式会社 百姓屋	—	—	佐賀県	伊万里市	令和3年2月26日
461	日田市大山産梅干しの新商品開発・販売事業	独自に品種改良し、熟しても長く木から落ちない梅から作った梅干しをプレミアム商品「招福梅」として販売する。また、熟成梅干しを企業向けの進物用として商品開発し販売する。 この取組で話題性と知名度向上を図り、新商品のみならず商品全体の売り上げを伸ばし、所得の向上と経営を発展させる。	森梅園・農園 森 文彦	—	—	大分県	日田市	令和3年2月26日
462	自社独特の飼育方法で育てた「沖田黒豚」（かごしま黒豚）を用いたレトルト食品の開発・販売	自社で育てた「沖田黒豚」の精肉のなかで、売上が伸びない「かた、もも、軟骨」の部位を主原料としたレトルト食品を開発・販売する。 この取組により、沖田黒豚の知名度と付加価値を高め、所得を向上させるとともに、雇用の安定と新たな雇用を創出する。	株式会社 沖田黒豚牧場	—	—	鹿児島県	伊佐市	令和3年2月26日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
463	中津市三光産の米（もち・うるち）を活用した新商品開発・販売事業	自社生産もち米を原料とする「五目おこわ」、同うるち米を原料とする「米粉シフォンケーキ」、「米粉シフォンサンド」の商品開発・販売を行って所得向上を図り、新たな雇用創出に繋げる取組。	廣池農園 廣池 俊英	—	—	大分県	中津市	令和3年3月31日
464	「やぎミルク」を活用した新商品の開発および販路拡大事業	自社生産のやぎミルクを原料とし、福岡県産あまおうを使った「いちご味」及び福岡県八女産のお茶を使用した「お茶味」の「ソフトクリーム」を開発・販売する。また、カップアイス「産み愛す」を新たにギフトセットとして販売を行う。 この取組により、地域の特産品として「やぎミルク」の知名度を高め、収益性の向上により安定した経営基盤を構築するとともに地域の活性化、地域振興に寄与する。	KOYASU FARM 小林 孝昭	—	—	福岡県	宇美町	令和3年5月31日
465	高級感のあるボックスフラワーの新商品開発及び販売事業	自農園で生産したバラを使って、花瓶等の容器が不要でアレンジしたボックスフラワーを開発・製造し、宿泊施設や消費者向けに販売する。 この取組により、バラの活用拡大や新規顧客と会員の増加に繋げ、バラ全体の販売拡大を図るとともに、地域の活性化と新たな雇用を生み出す。	本田バラ香園 本田 幸夫	—	—	大分県	杵築市	令和4年2月28日
466	簡単便利なレトルトむらさきもち麦の開発・販売事業	自社生産したむらさきもち麦を加工し、長期保存が可能なレトルト食品の開発を行う。レトルト食品にすることで、食材として調理に活用できる幅が広がり、新たな顧客の獲得と販路拡大を行う。 事業規模及び生産面積の拡大を行って経営の改善を図るとともに、むらさきもち麦の地域ブランド化を目指し、雇用の創出、地域活性化につなげる。	株式会社 らいむ工房	—	—	大分県	国東市	令和4年3月31日
467	伊佐米と伊佐もち米をブレンドした新食感の食べるあまざけの開発、販売	自社生産した「伊佐米」「伊佐もち米」を使用した乳酸菌入り甘酒のフリーズドライ商品の開発に取り組み、販売先に対応したパッケージ、容量等を設定した商品開発を行う。 事業の取り組みにより、「伊佐米」ブランドの価値をさらに高め、農業及び新商品販売を含めた関連事業の所得を向上させるとともに雇用の安定と新たな雇用を創出する。	猩々農園 株式会社	—	—	鹿児島県	伊佐市	令和4年6月30日
468	イチゴの生産及び販売、観光農園事業及び農福連携の取組み	高品質な農作物に関心の高い消費者をターゲットに、化学農薬を削減した栽培方法を導入する。市場出荷のほか、ふるさと納税返礼品やオンラインショップの販路を拡大する。観光農園を開設し、収穫体験に加えて各種イベントの開催や料理体験等の食育活動を行い、他の観光農園との差別化を図る。農作業の一部を地元の社会福祉法人に委託し農福連携に取り組み、地域の雇用創出に貢献する。	アグリ・クリエイティブ・シード株式会社	—	—	福岡県	小郡市	令和5年2月28日

六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧

九州農政局

令和6年6月26日 現在

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村	認定年月日
			申請者	共同申請者	促進事業者			
469	褐毛和種（あか牛）ブランド化による「延寿牛」の開発と熟成加工及び自社直販事業	熊本県の地域資源に指定されている褐毛和種（あか牛）の一貫生産技術を確認し、地域循環型農業による自社ブランド牛となる「延寿牛」を開発し、さらに熟成肉及び加工食品の開発、販売に取り組む。 自社生産、自社加工、自社販売の事業を一体的に改革推進し、将来的には自社ブランド牛を戦略商品に位置づけ、「食」と「農」と「地域観光」を事業の柱とする総合化事業を創出する。	株式会社原田畜産	—	—	熊本県	菊池市	令和5年3月31日
470	来園者が果物類の生産から加工・流通販売、さらに飲食まで一体的に体験できることにより、食や農業の大切さや働く魅力・やりがい等、食農教育につながる農業の交流拠点整備事業	現在、青果の販売並びに加工品の製造・販売事業、観光農園事業を展開している。新たに品質判定室、加工室、直売所の一体的な整備を行うことで、業務の効率化を図る。 また、自社で生産する果実を使用した新商品「カッサートタルト」を製造し、一次加工品とともに、併設するレストランや新たに整備する直売所で販売する。 更に、施設を来園者が品質管理の風景を見学しながら商品を購入できるよう整備し、一連の工程を体験可能にすることにより、食と農の大切さや働く魅力・やりがいを伝える教育的な機能も有するものとする。	株式会社田口ファミリーファーム	—	—	宮崎県	延岡市	令和6年3月29日
471	自社農場で生産したさとうきびを原料として「HACCPの考え方を取り入れた」自社黒糖工場の蒸気釜（間接加熱式釜）による黒糖商品の製造・販売	さとうきび経営では台風被害等の自然災害の影響を大きく受け生産が不安定である。その不安定な経営を解消することを目的に、栽培面積の拡大と6次産業化に取組むことにより、経営の安定化を目指す。 総合化事業の取組により、自社農場で生産したさとうきびを原料とした黒糖商品開発を行い、農業部門及び関連事業の所得向上を図るとともに、雇用の安定と地域雇用を新たに創出する。	株式会社ファームテック喜界	—	—	鹿児島県	喜界町	令和6年6月26日